

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/1(金)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森)安定化センターが発足した。今日以降情報をまとめ、私のほうでお伝えする。

(1F 所長)天候は晴れである。気温は 30℃を上回る状況なので熱中症には注意をお願いしたい。

今朝、循環注水を一旦停止し、7時からろ過水タンクからの注水にした。理由はバッファータンクの設置工事をするため、その工事期間、ろ過水タンクからの注水に切替える必要があるためである。

3号機 SFP の代替冷却装置が昨日起動し19:47に定格流量に達した。現在は 80%流量で運転している。起動したあと、熱交換機入口温度は62℃から今朝 58℃になった。流量は定格で80m³/h である。2000m³のプール水なので、1日程度で1巡する。

仮設タンクからメガフロートへの移送は、滲みのあったチューブ取替えを実施次第移送する。(今朝取替済?)

(1F 発電班)

1号機は流量 3.6m³/h で炉注水をしており、RPV 底部ヘッド上部温度は 102℃である。

2号機は流量 3.5 m³/h で炉注水をしており、RPV 底部ヘッド上部温度は 128℃である。D/W へ N₂ 封入しており、D/W 圧力は 29.5KPa から現在ゆっくり上がって 31KPa となっている。

3号は流量 9 m³/h で炉注水しており、RPV 底部ヘッド上部温度は 130℃である。

3号機の SFP 代替冷却装置についてインサービスしており、昨日 20時に62℃を示していたが、今朝 8時には 56.7℃となっている。継続監視していく。

5, 6号機はともに冷温停止中であり、パラメータの変動なし。

(1F 復旧班) 2, 3号機は移送継続中。RO は停止中。

2号機 T/B 水位は 18mm 下降、トレンチ水位は 21mm 下降、OP3566mm である。

3号機 T/B 水位は 9mm 下降、トレンチ水位は 4mm 下降、OP3848mm である。

4号機 T/B 水位は 3mm 下降、OP3790mm である。

プロセス建屋水位は 17mm 上昇、OP4805mm である。

HTI 建屋水位は 11mm 上昇、OP3196mm である。

バッファータンク設置のための系統切替が7:27に実施した。7月8日まで停止している。

3号機の SFP 温度は1時間に 0.8~0.9℃ずつ下がっている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

3号機 R/B 南西1階の除染清掃を 10:30 から実施する。

5, 6号機Fタンクからメガフロートへの移送を 10時から流量 25t/h で実施する。

6号機の移送も継続しており、7月3日までの継続する予定。

6号機オペフロの除湿機の T/R を実施する。

(1F 土木)プロセス建屋前のガラ撤去の準備作業を実施する。5, 6号機カーテンウォール撤去は継続で実施する。

(1F 建築)1号機カバーリング準備として鉄板ヨウテツ(溶接?)を実施する。3号機ではガラ撤去を実施する。4号機カバーリング準備として700tクレーンの組立を実施する。4号機 SFP の下部補強として型枠作成を継続で実施する。プロセス建屋では型枠の解体を実施する。HTI建屋1階のコア抜きを実施する。

(1F 滞留水移送チーム)2, 3号機の移送と処理量が一定と思っている。監視して安定化センターと相談してシミュレーションを作成したい。

(安定化センター) (書画で説明) 昨日凝集沈殿装置が自動停止した件について、処理水タンクのレベル低低警報が発生して自動停止しました。昨晚タンク水位制御がうまくできていなかった。装置全体を起動し水位制御性を確認した。実際にはポンプを起動してセシウム吸着装置、アレバ装置を通して水処理を実施して SPT に戻しながら水位制御性を確認した。18:50 起動したタンクの水位制御が開始するまで 30~40 分くらいかかるということで 19:40 にはタンクのレベルが一定に制御して、昨晚は支障なく運転できている。水位設定に合わせてタンク下流にある水位調節弁の開度を制御するものです。事象発生時の聞き取りを実施したところ、警報発生時に水位設定値が 3.0%であったことを確認した。設定を変えようとしたが警報が発生してシステムが停止した。通常は設定値は 30%であるが、3.0と30%を見誤った可能性がある。この設定値の違いは、システム停止後の状態はしばらく処理水が流れ込んでくるので水位が上昇する。そのため、水位設定を低い値に変更している。今回はシステム停止時に実施した設定値変更をもとに戻さなかったものと考えられる。水位計のデジタル表示値とインジケータを両方確認するよう運転手順を見直す。ベント装置警報の件は100%容量のものが2台設置されております。過去試運転をしたところ、100%運転したもう1台の方に逆流して循環流を発生させてしまった。そのため逆止弁を追設した。逆止弁設置により抵抗が増加し、空気の流れが悪くなった(流量が減った)ことで、フィルタ装置にヒータ(ヨウ素フィルターを乾かす目的)が過負荷状態になって警報が発生した。そこで今回は逆止弁を撤去し元に戻して運転を継続しております。なお、ダンパで流量を絞って循環流による過負荷とならないことを1系統で安定運転が可能であることを確認できている。

3点目定格流量は 50m³/h で水を流しているが、だんだん流量落ち気味 46~42m³/h まで落ちてきている。系統圧損が大きくなってきている可能性がある。細

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

かなスラッジがバルブや配管に付着して流量が低下しているものと思われる。今後水質確認など流量が出なくなった原因を調査していく。

(小森)安定化センターで対応していく。

(本店復旧班)(資料で説明)2号機 N₂ 封入に伴う漏えい率を推定した。2号機では1.3日かけてD/W圧力が20KPa上昇した。1号機は3.5日かけてD/W圧力が40KPa上昇した。1号機にて算出した漏えい率と同じ手法で実施したところ、2号機の漏えい率は160~190%/dayとなる。

(本店広報班)マスコミは1295人の未確認の方がいることについて関心を持っている。本日は水処理システムの状況をフォローする。

(本店保安班)被ばくの件について厚生労働省から指示文書もらった。指示文書では内部被ばくの報告期日が定められている。

(海江田大臣)原子力担当大臣が細野氏となった。園田政務官がこの会議に参加しているが、私も統合本部対策室の副本部長となっているため引続き収束に向けてよろしく願いたい。安定化センターが起動するので事故の収束に向けて心から願いたい。

~全体会議終了~

~全体会議~

19:00

(安定化センター小森)水処理関係については昨日の19:42から運転を継続しており順調に運転している。流量が減っている件については別途検討している。明日10時にベッセルを4塔交換する。

浸透膜の装置については、濃縮された海水が入っているタンクが一杯になったので、切替えてROの再起動をかけている。

バッファータンクの水張り試験を実施しているため、ろ過水から炉注水をしている。

3号機大物搬入口の除染について、ロボットを使い実施した。

3号機 SFP の冷却を開始しているが、現在プール水温度は40℃程度となっており、温度が順調に下がってきている。

4号機 SFP 代替冷却関係でサイフォン効果を防ぐための弁について、昨日1弁については確認できたが、残り1弁の確認ができなかった。本日、その弁についても確認ができたため、常設のラインを使って出来そうである。

土木関係は取水のための角落としを実施した。また、汚染水の漏出防止対策としてコンクリートピットの埋立をしたが、本日現地の検査官に確認を頂いた。

(1F 所長)天候は晴れである。気温は高かったが熱中症やケガはなかった。5、6号機S/Bに医者が来てくれて運用を開始している。

(1F 発電班)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

1号機は流量 $3.5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水をしており、流量が一時下がってきたので流量調整を実施した。RPV底部ヘッド上部温度は 103°C である。

2号機は流量 $3.5\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水をしており、RPV底部ヘッド上部温度は 126°C である。D/Wへ N_2 封入しており、D/W圧力は 31.7KPa であり、ゆっくり上がっている。

3号は流量 $9\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水している。

3号機のSFP代替冷却装置についてインサースしており、現在は 44.7°C となっている。

5, 6号機はともに冷温停止中であり、パラメータの変動なし。

(1F復旧班)2, 3号機は移送継続中。17時現在の水位については、2号機は $\text{OP}3552\text{mm}$ である。3号機は $\text{OP}3845\text{mm}$ である。プロセス建屋水位は $\text{OP}4807\text{mm}$ である。

ろ過水からバッファータンクを経由した炉注水は7月4日まで継続する予定。

1号機 N_2 供給について $23\text{m}^3/\text{h}$ となり下がったため、流量調整をし $28\text{m}^3/\text{h}$ にした。

メガフロートへの移送は10時から流量 $25\text{t}/\text{h}$ で実施しており、現在も運用している。7月3日まで継続する予定。

(1F土木)ガラ撤去について準備作業を実施した。5, 6号機カーテンウォール撤去については継続で実施している。5, 6号機テトラポット据付けは継続している。

(1F建築)1号機カバーリング準備として、クレーン操作室及び休憩所の設置を完了し、午後から運用している。4号機カバーリング準備として、明日3回目のコンクリ打設を実施した。他作業は継続。

(1F放射線環境改善グループ)3号機R/B南西についてロボットによる清掃を実施した。(動画参照)原子炉建屋の1/3ほどに入域して清掃した。砂塵を吸い込んでおり、 1cm くらいの石は取れたと認識している。

(1F放射線環境改善グループ)回収したものについて、ドラム缶に入れ、そのドラム缶を収納したコンテナ表面の線量測定をしたところ、 $35\text{mSv}/\text{h}$ であった。また、ホースの一部であるが $12\text{mSv}/\text{h}$ であった。作業に伴う被ばくは計画 5mSv であったが、社員 4.15mSv 、作業員で 4.26mSv であった。

(1F外部冷却循環グループ)3号機SFP冷却は当初の温度 62°C から下がってきて、崩壊熱が 0.5MW なので今後も順調に下がると思う。

昨日4号機の5階に上がって、燃料プールの二重弁を確認したが、A側がガレキがいっぱいあって確認できなかった。本日ガレキを撤去し確認したところ、ジグが必要であることが分かった。

4号機5階のダスト濃度を測定した。環境影響評価チームで今後評価する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(武黒)3号機のゴミが取れたが、コンテナ表面が10mSv/h以上とのことで、取扱いには注意すること。

(安定化センター小森)本日発足したが、仕事の面ではなかなか大変だった。日勤の状況で運営していくので、来週から本格的に人が出入りする。今日の段階では支障はなかった。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/2(土)の時系列メモ []>

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森)本日は、雨は降っていないが、曇空である。昨日から特に変化はないが、作業関係のポイントを絞って報告する。水処理については今朝も継続して運転しているが、本日10時半よりフラッシングのため2～3時間停止する予定。ベッセルを4塔、順次交換する予定。炉注関係、現在濾過水からの注水に変更しているが、バッファタンクについては切り替えが終わっているので、水は濾過水の水だが、バッファタンクを經由した注水のシステム変更になっている。再生水側をバッファタンクにつなぐということで、本日繋ぎ込みとリークチェックを行うが、順調に進めば再生水を使うことについてはそう遠くない時期に実施できると思う。昨日3号機にクリーナーで大物搬入口の清掃をおこなったが、その効果の確認として本日はパックボットで線量の測定を行う。

(1F所長)天候は曇り。一日を通じて雨の確率は低い。気温は30℃まで行かず26～27℃程度だが、湿度が高いので、熱中症には継続して気をつけないといけない状況である。

(発電班)1号機は3.5m³/hで注水継続中。パラメータは安定していて、RPV底部で102℃。2号機も3.5m³/hで注水していて、こちらも安定していて、RPV底部で123℃。SFP温度も34℃で安定。N2封入しているD/W圧力は、昨日報告した31.7kPaからほとんど変化無く31.9kPaで安定している。3号機は9m³/hで注水していて、RPV底部で130.5℃である。6/30からSFPの冷却を開始しているが、冷却開始の62℃から低下しており、本日8時現在で38.7℃で低下傾向。

5号機は電源を仮設電源から本設電源に切り替えを実施中。6号機については引き続き、建屋内からの屋外仮設タンクへの連続移送、また屋外仮設タンクからメガフロートへの連続移送を行っている。建屋内から仮設タンクへの連続移送については現在10m³/hだが本日25m³/hに変更する予定。

(1～4号復旧班)機電の作業から。水移送は継続しているので、低下傾向は継続している。2号縦坑水位は昨日17時から14mm低下して3538mm、3号縦坑は6mm低下して3839mmである。プロセスは4mm低下してOP+4803、HTIは9mm上昇してOP+3216mmである。炉注は濾過水からバッファタンクを通じて炉注ポンプにて注水しているが、本日ROからバッファタンク内の水張りL/Tを炉注チームのほうで実施しまして、これが上手くいけば、本日、安定化センターおよび日立さんと、処理水の注水開始の前倒しについて検討したい。

(土木)タンク関係およびガラ関係は継続。ガラについては高濃度のラインの構築準備として、プロセス建屋周辺のガラ撤去を、線量が低いため、有人で行う。カーテンウォールの撤去は56号でH鋼の引き抜きを継続で行う。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(建築)4号機のSFP下の補強、本日3回目のコンクリート打設を行う。1号機のカバーリングの準備工事については、本日750tクレーンの2台目の組み立て工事を行う。その他コンクリート打設、鉄板布設を行う。3号機のガラ撤去および滞留水処理関係の集中ラドの関係工事は継続。

(1F吉田)1点だけ。バフファタンの運用を開始すると炉注水の安定化が高まるが、濾過水と処理水がバフファタンで混ざってしまうので、炉注に処理水がどの程度混ざっているか分からなくなる。濾過水の補給水量で推定して確認する方法しかないが、その辺を整理しておかないと、現在処理水がどの程度炉に注水されているかという単純な質問に答えられなくなってしまうので、安定化センターと整理、相談しながら進めたい。

(安定化センター小森)了解。濾過水からバフファタンの流量はあるか？

(本店武黒)積算計があるといいのでは？

(小森)その通りと思う。流量計というよりは積算計のようなものがあって、累積が分かることも重要と思うが、まだ設備的にはそこまで行っていないので、計画を早めに作って、出来ることをやっていくことかと思う。ただ、隔離のやり方など、システムや現場の状況を見ていく必要もあるので、センターのほうで検討したい。

(本店広報班)本日の報道の状況。基本的には、節電に関するものが主。炉注の切り替え工事、3号機の原子炉建屋の清掃が記事化されている。朝日新聞が、仮設防潮堤について、石で急造といった、意図を持った記事の書き方をされている。本日の広報の予定としては大きなものはない。

(1F吉田)本部と安定化センターに係る話として、最近来客者が増えてきていて、発電所では保安要員に絞って対応していることもあり、なかなか、週一くらいであれば対応できるが、ロジも含めて、人が足りない。また、工程調整をどこかでして頂かないと、案内する側もなかなか対応できない。検討方お願いしたい。

(本店武黒)本店側は業務部が窓口と思うが、毎日の来訪予定を確認すると、発電所と相談して、対応についてどういう工夫ができるか、本店側で検討することとしたい。

(安定化センター小森)安定化センターも2Fに事務所があり、Jビレッジが拠点になって、APDや防護服の貸し出しも含めて、本店と連携して、Jビレッジが対応を行っている。7月中には安定化センターの中にもJビレッジの運用部ができるが、まずは本店とJビレッジの関係を図って頂いて、来客が多ければ安定化センター側からも人員を出す等の対応をしたい。

(本店武黒)本日も湿度が高いということで、熱中症も含め、安全に対応して下さい。ご安全に。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化センター小森)今日のトピックス、水処理設備では、再生水を使ってバツファタンクに溜めていて、L/T、試運転を開始して、18:00から、バツファタンクに濾過水が入っているの再生水と言う訳ではないが、そこに再生水を注入して、循環運転を開始させることができた。何tが濾過水で何tが再生水かは、タンクに初期のろ過水が500tくらい入っていて、厳密には言えないが、23t/hで処理できていて、今16T/Hくらいで注水しているので、再生水が7t位で積み上がっていく。このまま800tになったらポンプを止めるので、500～800tくらいでバツファタンクの運用を行っていくので、正確な注水量はそれぞれでは分からないものの、バックアップできる状態になり多重性は増した状態でシステムとして確立した。また水の処理側としてはキュリオンが10時30に予定通り停止して、フラッシングをして、13:13予定通り起動している。運転中で4ベッセルの交換を行っている。また3号機 R/B では昨日の清掃の効果を確認して線量を測定している。今後の環境改善の見通しとして2点ほどお話ししたい。

(1F 吉田)本日は雨は降らなかった、また熱中症はなかったが赤チン災害が2件起きている。明日も天気は雨ではなさそうな曇り気。

(発電班)1号機は3.5m³/hで注水継続、RPV底部で102℃。2号機も3.5m³/hで注水継続中。RPV底部で125℃、安定している。D/W圧力は昨日から32kPa近辺を推移していて、32.3kPa。3号機については、9m³/Hで注水継続中、RPV底部で130℃くらい。SFP温度は本日17時現在で36.7℃でゆっくり低下傾向である。

6号機の建屋内滞留水屋外仮設タンクへの移送、および仮設タンクからメガフロートへの移送を継続、建屋内から仮設タンクへの移送量については10:00に10→25m³/hに変更している。

(1～4号復旧班)水移送および水処理の継続により、Tb/B関係の推移は低下を継続している。2号機はTb/Bとトレンチの推移が丁度同じになって、OP3524、3号機ではトレンチがOP3836、4号機はOP3770で低下が継続している。バツファタンクやロボット作業は小森所長の説明があり割愛。6号機の仮設タンクからメガフロートへの移送は明日16時まで移送予定。

(土木)タンク関係、本日も継続。ガラ撤去については有人作業により本日11箱、本日コンテナの処理を行っている。カーテンウォールのH鋼、本日引き抜き実施している。赤チン災害、タンクのHエリアにて金具を踏む事象発生。夕方確認してご本人特に問題ないということであった。

(建築)4号機プール下補強、本日コンクリ打設3回目無事終了している。1号機カバーリング準備工事については、クレーン組み立てを継続していて、明日トレ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ンチ等の鉄骨補強を行う。3号機のガラ撤去は継続。滞留水関係では明日はスラッジ関係施設での掘削等を行うのみである。

(小森)まずは水処置設備の状況について。

() 本日の18時から運用開始した処理水の炉注入大循環のラインについて説明する。処理水の一次貯層からバッファタンクに1000t程水をためて、これから炉内に注水する。16t/hの炉内への注入量があるので、それを上回る処理量の設定を行っている。バッファタンクの水位が回復しているところにある。基本的には濾過水タンクのほうは補給用にはラインを引いているが、こちらについてはバックアップの運用として弁は閉止している。処理水の移送量についてご質問があったが、ROの処理時間と移送流量、23.5m³/hに設定しているので、その運転時間で積算量を算出したい。今後、積算の流量計を調達して、設置したいと考えている。本日の19時の状況では11120m³の汚染水が処理された。本日の朝8時の状況では淡水がそこから3399m³生成された。これが一時処理層にたまり、炉内に注水されている状況になる。

(小森)3号機環境改善の状況について。

(冷却PJ) 本日3号機のR/Bにおいて、昨日床清掃作業が行われ、その後の線量測定状況について調査しているので報告する。(書面参照)総じて線量としては下がっているが、一番下がったところでも3割程度で、他はだいたい1割程度で、それなりに効果は出ているが、それほど大きくは下がっていない。今後の予定は、明日から遮蔽として鉄板を布設する工事を計画している。大物搬入口から建屋に向かって、幅が1.5m、長さが3m、厚さ20mmのを二枚重ねにして敷く。N2を封入する所まで鉄板を敷きたかったが、フォークリフトとCUW配管遮蔽が干渉する場所があり、ギリギリまで敷くが、3mくらいは難しい。その後の作業は、リフターを用いて、N2を入れる箇所、ペネトレーションの確認、また予備ペネの確認、キャップの箇所がシール溶接がされていると厳しいので、その確認、さらにはガンマカメラで見て近くの線量をとることを計画している。3日に広野にフォークリフトが到着し、無人化で遠隔で操作することの改造をして、4日に訓練をして、5日にガンマカメラとロボットのウオーリアを搭載して、6日にガンマカメラでの撮影、7日に画像処理、という予定で考えている。

(小森)ここ1週間程度でN2を供給するアクセスルートを確保するというところなど、鋭意がんばっているところ。安定化センターからは、以上。

(本店武黒)3号機のN2封入のための準備作業、明日以降の進捗で変わってくる可能性があると思いますので逐次報告をお願いします。本日は熱中症がなかったということで、現場は大変ご苦労さまです。引き続き、安全に留意して作業を実施してください。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/3(日)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森所長)本日のトピックスですが、水処理システムについては昨日 13:13 に起動しております。大循環注水冷却では昨日 18 時から処理済み淡水を注水しております。また、本日水処理システムを 10:30 頃に一時停止し、弁切替後 H スキッド交換のためフラッシングを行います。

3 号機 R/B 大物搬入口の環境改善関係では、鉄板敷きにより床からの放射線を遮へいします。作業関係は以上。

それから、本日 15 時～18 時に亀井総理補佐官他 15 名が 1F に来所するので、JV、1F 対応をお願いします。私(小森所長)も同行します。

(1F 吉田所長)天候ですが、予報では曇りですが現在晴れております。本日も熱中症対策に力を入れて参ります。5 号機仮設 RHRS ポンプのホースからの水漏れですが、カナフレックス継ぎ手部からリークしていることを確認しました。漏えい箇所の関係から、2 台ポンプ停止が必要なもので先ほど通報した。部品はあるのでそれほど時間はかからずに修理対応可能である。

(発電班)1号機は 3.5～3.7m³/h で注水継続中。本日朝方までに流量は低下(3.3m³/h)したので流量調整を実施しております。RPV 底部で 102℃で安定しております。2号機も 3.5m³/h で注水していて、RPV 底部で 121℃。SFP 温度は 34～34.5℃で安定。D/W 圧力は、一昨日から 32kPa で安定して推移している。現在は 31.7kPa である。3号機は 9m³/h で注水していて、RPV 底部で 130℃で安定している。SFP の冷却により SFP 水温度は 34.8℃で、まだゆっくり下降している。

56 号機(書面の説明:5 号機仮設 RHRS ポンプホースから噴水のように漏えい)水漏れによる周囲機器への影響はない。水漏れはパトロールで発見した。修理に伴いポンプ 2 台停止するが炉水温度が 100℃まで上昇するまで約 22 時間の余裕がある。

6 号機滞留水移送関係ですが、T/B から仮設タンクへの移送、仮設タンクからメガフロートへの移送を作業の関係で夕方一旦停止する予定です。

(1F 復旧班)1～4 号機では、水処理・水移送とも順調に進んでおり、建屋水位は順調に低下しております。各建屋水位(昨日 17 時からの変化量)ですが、2 号機では T/B・立坑とも 16mm 低下、ともに OP3508 です。3 号機では T/B・立坑とも 8mm 低下しており、高い立坑水位の方は OP3828 です。プロセス建屋は 5mm 上昇で OP4834 です。

水処理装置は 10:30 に停止し H スキッド 4 基を交換いたします。3 号機 R/B1F 南西では鉄板敷きを実施します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

56号機(書面で説明)リーク箇所は仮設ポンプとチェッキ弁の間の曲がり部の継ぎ目でおきていて、ジョイントの交換が必要。そのためにはポンプを引き上げなければなりません。2台の仮設RHRSポンプは1つのケージに入っており、ポンプ2台停止しないと修理ができない状況です。修理にあたっては停止時間をできるだけ短縮する工夫をしております。また、ポンプの設置場所、ホースの配置について、2台停止しなくてもすむような改善を検討を行う。

6号機では16時にT/Bから仮設タンク、仮設タンクからメガフロートへの移送を停止します。

(1F 土木班)タンク設置、ガラ撤去は継続して実施します。カーテンウォール撤去関係作業については測量器故障のため待機。

(1F 建築班)3号機のガラ撤去は継続実施します。3号機R/B大物搬入口の鉄板敷きを行います。1号機カバーリング工事では750トクレーン組立、トレンチ両面の鉄骨補強を実施します。

(1F 吉田所長)1Fでは動脈が全部カナフレックスチューブである。カナフレックスの信頼性向上に向けた検討を必要で安定化センターに相談します。今後ともよろしく願います。

(安定化センター小森所長)了解しました。

(武黒フェロー)長期間使用するのでスチール製配管の活用についても検討が必要と考える。活用する期間も含めて信頼性向上に向けた検討が必要である。

(安定化センター小森所長)その通りです。長期間使用の他、施工方法についても検討していく。

(本店 広報班)昨日は循環注水冷却の再開が各紙で取り上げ、ろ過水から処理水への切替注水により、「完全な」という形容詞がつけられて報道されています。

本日の予定ですが、5号機仮設RHRSの件は福島事務所で9時、本店では11時から会見で紹介します。なお、先行してメールにて各記者には伝わっている。3号機R/B1Fの鉄板敷きについては記者の関心も高いので、詳しくに報告すると4号機使用済み燃料プールが遅れ気味という報道があるようですので、そちらの対処をやりたいと思っております。各記者へのメールについては後10分後くらいに発信いたします。

(本店 情報班)亀井総理補佐官他が1F来所します。大勢の方の対応で大変ですが、1F、JV、安定化センター関係者の方よろしく願います。

(武黒フェロー)本日も熱中症対策に力を入れて業務に当たってください。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化センター [REDACTED])小森所長は亀井補佐官対応の都合で、JVから

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

全体会議に参加しております。本日は継続している作業に加え、3号機 R/B 大物搬入口で一昨日の除染、本日は遮へい鉄板を敷く作業を実施した。また、滞留水処理装置ではセシウム吸着用のベッセル 4 塔の交換を実施した。

(1F 吉田所長)天候は晴れ/曇りで、気温は高かった。そんな中、トラック運転手が運転中に意識を失い、トラックが横転する事象が発生した。命に別状はなかったのですが、トラックのエアコンが故障していたことと、運転手の方がクールベストを着用していなかったこととなるべくしてなった事象であった。EM で再発防止を徹底するようお願いした。5号機仮設 RHRS のカナフレックスの件ですが、使用しているうちに移動し、ジョイント部に引っ張り応力が集中し外れてしまったものと考えられる。今後、ホースなので移動することを考慮した点検方法、状態管理をどうするか検討する必要がある。

(発電班)1号機はFDW系で3.5~3.7m³/hで注水継続中。パラメータは安定しており、PRV底部ヘッド上部温度は102℃、SRV排気温度は110℃で安定。2号機も3.5m³/hで注水していて、RPV底部ヘッド温度が122℃で安定。SFP温度は34℃で安定。D/W圧力は、一昨日から32kPaで安定して推移している。3号機は9m³/hで注水していて、RPV底部ヘッド上部温度は130℃で安定している。SFP水温度は17時現在で33.9℃、まだゆっくり下降している。

56号機では、5号機仮設RHRSポンプチューブ修理は、3時間30ほど停止して、13時40頃RHR起動しました。3時間30分停止したがSFP温度上昇は4.4℃でした。その後の運転に異常は見られない。6号機ではT/Bから屋外仮設タンクへの移送、屋外移送タンクからメガフロートへの移送は16時に停止しております。

(1F 機電)1~4号機では水処理は順調で2,3号建屋滞留水水位も順調に低下している。2号機T/B、立坑でOP3496、3号機高いは立坑でOP3823という状況です。プロセス建屋では19mm上昇しOP4853。HTI/BではOP3244という状況です。

また、3号機では[]からもありましたが、3号機R/Bで鉄板敷きは本日終了予定でしたが、一部作業が残っておりますので、明日も継続して実施します。

4号機では原子炉ウェル、DSPの水張りを明日実施する。

5号機RHRSホースの件ですが、補足いたします。(書面で説明)

5/30に2重化した時点からホースに余長はあり地面を這わせるように布設した。その後振動や潮位の変動などでホースが移動し、ホースが溝に落ちてジョイント部に引っ張り応力が加わり、今回の事象発生に至った。今回も余長を残したレイアウトとしているが何カ所かホースの固縛を実施した。ちなみに6号機RHRSのラインは大きなRがとられて、5号機のような状況にはないことを確認した。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

6号機は T/B から屋外仮設タンクへの移送を 10 時～16 時で実施する予定。また、屋外仮設タンクからメガフロートへの移送を 13 時～17 時で実施する予定です。何れも 25t/h で移送する予定です。

(1F 土木班)タンク・ガラ撤去関係は継続で実施しました。カーテンウォール撤去では深淺測量を予定しておりましたが、測量器の調整に一日かかってしまい、明日 1～4 号機側の取水路の・・・、56 号機の取水路の・・・を実施予定です。

(1F 建築班)1 号機 R/B カバーリング工事では、2 台目クローラクレーン組立と走行路の整備を明日も継続して実施します。また、3 号機を含め周辺ガラ撤去を継続して実施します。熱中症の概要について報告します。R/B カバーリング工事に従事する方が(本人聞き取り)正門を通過したあたりから気分が悪くなり、免震棟手前のテイケツ倉庫の側溝に脱輪したことを確認した。外傷はなく、点滴治療で体調が回復し帰宅されました。トラックのエアコンが故障していた件ですが、本日元々使おうとしていたトラックの事前確認時に不具合が確認された。そのため、急遽準備したトラックが今回のエアコンが故障していたトラックということでした。今後この辺の状況も踏まえて再発防止対策を検討します。

(1F 保安班)モニタリング関係ですが、明日 10 時から MP の測定点を正門から従来の西門に変更いたします。理由は 6 月初旬から正門の可搬型 MP が故障しており、線量率はモニタリングカー測定で代替しておりましたが、復旧しましたので従来の西門に戻すというもの。

(1F 吉田所長)本日熱中症患者の治療は、56 号機医療室(24 時間対応)で初めての患者です。(医療室を)用意していただき助かりました。

また、亀井総理補佐官、細野大臣計 17 名の方が、1F 現場視察、免震棟でご訓辞をいただきました。

(安定化センター 水処理チーム)10:30～12:50 でシステムを停止し、4 塔のベッセル交換を実施しました。ベッセル交換について明日は予定ありません。これから約 46 時間連続運転となり、明後日午前 10 時 30～11 時頃に停止する予定。処理水(淡水)のバッファタンク水位は満水で水位が 7.3m です。現在 6.7m ですので 20 時ぐらいに水位調整のためポンプを停止します。今後その水位を確認しながら注水していく予定。

滞留水の処理状況については、本日 19 時の時点で 12060 トンの水処理を実施しています。また、淡水生成量ですが本日 8 時で 3860 トンとなっております。

(武黒フェロー)気になる点が 2 点あります。

一つめは海水ホースで問題が見つかったが、高レベル汚染水のホースでは問題ないと考えてよいか？

(1F 吉田所長)高汚染水に使用するホースについては、かなりの頻度で使用前に点検(リークチェック)を実施しているため、同様な事象は発生していない。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(武黒フェロー)もう一点は滞留水のベッセル交換は習熟されていると思われま
すは、定格流量50m³/hが確保できていないことを聞いている。この状況は改善
されていないと思いますは、その後の状況はどうか？

(1F)今現在も43m³/hで処理を実施しております。現在、流路抵抗の増加、ポ
ンプ性能の低下、エアーの混入などの影響があるのか確認していく。

(武黒フェロー)ぜひシステム的な評価をお願いします。

(本店復旧班)5号機RHRSの件は2度目のトラブルということで、しっかりトラブ
ルを完治するようにと野口主席総括より[REDACTED]にご指示を頂いておりま
す。この件についてフォローしたと思います。

(保安院)信頼性向上に向けた検討をお願いします。

(JV 小森)視察に関し、1Fの方で対応していただきありがとうございました。亀
井総理補佐官は早めに帰られましたが、細野大臣はJVスタジアムに建設中の
当社フレハブの寮を10程度視察されました。

(武黒フェロー)熱中症がありました。事前点検などの活用もさらに工夫するな
どよろしくお願いします。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/4(月)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森所長)特記事項は、炉注水の件で、1号機の流量不安定事象が発生している。安定化センター、発電所で原因究明を進める。

3号機では大物搬入口の鉄板敷きを昨日から実施している。順調に進めば本日完了する予定である。滞留水処理は昨日から運転を継続している。

(1F 吉田所長)本日は曇りです。午後から小雨が降る可能性がある。気温は28℃、湿度が高いので、引き続き熱中症対策に力を入れて参ります。

(1F 発電班)1号機は3.7m³/hで注水継続していたが、昨晚(深夜)から流量が低下して8:14(公表時刻は8:13なので注意)に警報が発生した。7.5m³/hでフラッシング後に流量調整を実施し現在は3.8m³/hとなっております。RPV 底部ヘッド温度は103℃で安定しております。SRV 排気温度は110℃で安定しております。2号機は3.5m³/hで注水していて、RPV 底部で124℃。SFP 温度は34℃で安定。D/W 圧力は、32kPa で安定して推移している。3号機は9m³/hで注水していて、RPV 底部ヘッド上部温度は129℃で安定している。SFP 水温度は33.0℃(下げ止まり)。

6号機では滞留水移送を再開します。

(1F 機電)1号機の炉注水量に関して、丘の上の流量計及び丘の下の流量計両方とも3.0m³/h近くを示していることから、実流量が低下しているものと考えている。これについては安定化センター・日立さんと調整対応していく。滞留水移送に関しては、2号機では昨晚から14、15mm 低下しており、高い T/B で OP3482、3号機では6～8mm 低下しており、高い立坑で OP3817 です。プロセス建屋では6mm 上昇して OP4859、HTI/B では11mm 上昇して OP3255 です。移送量が処理量を若干上回っているため水位が上昇している。滞留水処理装置が定格流量で処理できればバランスしてくるものとする。4号機では原子炉ウェルと DSP の水張り(約200t)を9時から開始を予定している。6号機滞留水は、T/B から仮設タンクへの移送を本日10時～16時、仮設タンクからメガフロートへの移送を本日13時～17時とともに流量25t/hで移送します。また、5号機仮設 RHRS での水漏れの関係で、1～4号機の炉注水関係、滞留水の移送関係、SFP 循環冷却関係、水処理装置関係の曲率の小さいところや不自然な力がかかってそうな所の現場調査を本日より予定しています。

(1F 土木班)1号機 T/B 海側、集中 RW のガラ撤去を実施します。カーテンウォール撤去では取水路の深淺測量を実施します。その他、タンクの設置等継続作業を実施いたします。

(1F 建築班)1号機 R/B カバーリング工事では、走行路の整備と2台目のクロ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ーラクレーン組立を実施する予定です。3号機ガレキ撤去は西側道路周辺を実施します。また、大物搬入口内の鉄板敷きを継続で実施します。4号機カバーリング準備工事で R/B 周辺の路盤整備、SFP 下部補強工事では型枠工事、スラッジ貯蔵関係ではスラッジ貯蔵施設の掘削を実施します。

(1F 保安班) モニタリンカーでの測定は本日 10 時に正門から西門に測定ポイントを変更する。

(1F 吉田所長) 滞留水移送量に関して補足します。

現在 40 数トン/h の流量で処理している。プロセス建屋では 1 日あたり約 10mm 上昇している。この状況からプロセス建屋への移送量が、滞留水処理装置の流量を若干上回っている。今後プロセス建屋水位 OP4950 を管理値として、この水位に到達しないように移送量と処理水量のバランスを検討していく。

(本店 広報班) 本日は 5 号機仮設 RHRS ホースからの水漏れによる冷却停止の件、3 号機 R/B 大物搬入口での鉄板敷き、熱中症発生の件について各紙でまんべんなく掲載されている。本日特に大きなトピックスはなし。

(武黒フェロー) 1 号機の炉注水流量が不安定の件は？

(本店 広報班) その件は午前中の会見で事象の説明をいたします。

(武黒フェロー) 1 号機炉注水量不安定の件は、幅広く、慎重に調査して検討していくのが大事である。

(細野大臣) 昨日は大変お世話になりました。ありがとうございました。現場は随分環境が良くなって、現場の士気の高さを確認でき、何うことができて良かったと思います。ありがとうございました。今後も海江田大臣の指示のもと、全員で政府一丸となって現場をサポートしていきたい。何でも気が付いたことがあれば私にお伝えください。1F、JV、安定化センター、OFC の方々大変お世話になりました。

(武黒フェロー) 本日も熱中症に注意して、作業に当たってください。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化センター小森所長) 本日は、1号機炉注水量変動の件で調査を実施しているが、現在流量は安定している。原因は特定できていない。その辺の状況を後ほど報告する。

作業では、3号機大物搬入口での鉄板敷きが完了しました。明日はガンマ線測定及び雰囲気線量低減の効果を確認する調査を行う。

(1F ████████) 本日も軽度の熱中症が発生した。本人は朝から風邪気味で頭痛があった。現場に出向いて 30 程度で体調が悪くなったので免震棟に戻ってきたことで、軽症で済んだ。熱中症は昨日の件(ダンプの運転手)もあるが、そ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

れなりの原因がある。このような原因の一つ一つをみんなで情報共有しながら、潰していくよう努める。

1 号機では炉注水量の変動が発生したことから、原因対策を検討中である。現在は 3.9m³/h で安定している。現在メーカを含め原因対策を検討中である。

2 号機は N2 封入中で、D/W 圧力が 32kPa で安定していたが、少し低下してきて 17 時で 31kPa である。今後注視していく。

3 号機 SFP では 6/30 から外部冷却装置の稼働で徐々に温度が下がって、現在 32.9℃でほぼこの温度でサチってきたものと考えられる。これで外部冷却による SFP 冷却が達成できたと一歩前進できた。

(1F 発電班) 1 号機炉注水関係では 8:50 に流量調整後は流量は 3.9m³/h で安定している。RPV 底部ヘッド上部温度は 103℃、SRV 排気温度は 110℃で安定している。

2 号機は 3.5m³/h で注水しており、RPV 底部ヘッド上部温度は 123℃、SFP 温度は 35℃で安定している。3 号機は 9m³/h で注水しており、RPV 底部ヘッド上部温度で 129℃、SFP 温度は 33℃で安定しております。56 号機ですが、6 号機 T/B から屋外仮設タンクへの移送、屋外仮設タンクからメガフロートへの移送を予定通り実施しております。

(1F 機電) 2,3 号機からプロセス建屋への滞留水移送を継続実施中です。滞留水処理装置は順調に運転しております。それに伴い、2,3 号機建屋、プロセス建屋の水位は順調に低下しております。2 号機では T/B で OP3473、3 号機では立坑で OP3814 です。プロセス建屋では 1mm 低下して OP4858、HTI/B の方は 8mm 上昇して OP3263 となっております。4 号機では原子炉ウエル、DSP、SFP の水張りを 9:13~18:18 で実施しました。56 号機では 6 号機 T/B から仮設タンクへの移送、仮設タンクからメガフロートへの移送を実施しました。明日も引き続き実施します。炉注水の件は安定化センターと様子見中です。

(1F 土木班) 1 号機 T/B 海側、集中 RW のガラ撤去を実施しました。コンテナ 4 個分撤去しました。カーテンウォール撤去では取水路の 1~4 号機取水路の測量を実施しました。明日は 56 号機取水路の測量を行います。タンク設置等々継続作業は予定通り実施しております。

(1F 建築班) 1 号機 R/B カバーリング工事では、走行路の整備を実施しました。3 号機ガレキ撤去は西側道路周辺を実施しました。4 号機カバーリング準備工事で R/B 周辺の路盤整備、SFP 下部補強工事では型枠工事を実施しました。

熱中症については先ほど説明いただいた通りです。今後作業員の健康管理、熱中症対策を指導していきます。

(1F ██████████) NHK 天気予報では浜通り地方で、大雨・洪水・強風・波浪・雷・濃霧注意報が出ています。今晩は天候の急激な変化に注意したい。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化センター小森所長) 炉注水変動の件で、ニュースでは配管詰まりと報道されているが、その可能性は低いものとする。万が一の場合もあるので対応を考えておく必要がある

(安定化センター) (書面で説明) 現在はバフファタンク以降に問題があると考えており、絞り込んだところ、流量計、流量調整弁、バフファタンク、配管の詰まりが考えられる。しかし、流量調整弁で流量調整が可能であることから、配管詰まりの可能性は低いものとする。しかし、万が一のことを考えて、他にも注入するライン(B系につながっている)でも注水可能か確認しておく必要がある。しかし、このラインは今までに使ったことがないため、発電所と調整のうへ、流せるかどうか検討してまいります。

(安定化センター小森所長) 違ったことをやる場合は、段取りを踏んで現場と連携して慎重に対応すること。

(武黒フェロー) 注水量の一時的な変動を実際の運転状態を常時よくモニターするのが難しいものとする。ぜひ、どうすれば一時的な変動をキャッチできるのかを検討してほしい。

(武黒フェロー) 明日は天候が大荒れのようなので、現場では熱中症に加えて作業管理上、天候に関わる作業について考慮する必要があります。大変ご苦労ですが、作業前の TBM、事前確認も含めて、実際に作業に当たられる方への注意をお願いします。

～会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/5(火)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00 (安定化センター小森所長)本日 7:50 頃タンク設置のための砕石運搬用ダンプトラックがパトカーと出会い頭に衝突したとの交通事故の情報が入りました。作業に関しては、3号機環境改善では本日周辺環境測定を行う予定(後ほど訂正)。水処理装置は連続運転している。本日 10:30 頃システムを計画的に停止し、フラッシング後ベッセル4基交換を予定している。また、定格流量がとれない件で、システム停止の際にタンクのサンプリング等を実施します。

(1F [REDACTED]) 砕石運搬用ダンプトラックとパトカーが構外で衝突しました。詳細は後ほど報告いたします。プラント状況は、炉注水量は 3.8m³/h でほぼ安定、プラントパラメータは安定しております。滞留水のプロセス建屋への移送は順調です。本日、水処理装置ではセシウム吸着塔のベッセル交換を予定しております。現在プロセス建屋への移送量と処理水量はほぼ同等のため、プロセス建屋の水位に大きな変化はない。

(1F 発電班)1号機炉注水量は 3.8m³/h で、RPV 底部ヘッド上部温度は 102°C、SRV 排気温度は 110°Cです。2号機では 3.5m³/h 注水して、RPV 底部ヘッド上部温度は 122°C、SFP 温度は 35°Cで安定しております。N₂封入中の D/W 圧力は緩やかに下降し 30kPa をきりました。先行機である 1号機も緩やかな低下傾向を示していることから様子見を継続する。3号機は 9m³/h で注水し、RPV 底部ヘッド上部温度は 129°C、SFP 温度は若干低下して 32.6°Cとなっております。

56号機ですが、6号機では T/B 滞留水の屋外仮設タンクへの移送、並びに屋外仮設タンクからメガフロートへの移送を実施します。

(1F 復旧班)1号機では本日 SFP に 90ト注水する予定です。15時から開始予定です。建屋水位ですが、2号機では T/B・立坑とも 14mm 低下、3号機では T/B・立坑とも 8mm 低下しました。4号機では T/B で 5mm 低下となっております。本日滞留水関係で、セシウム吸着塔4基の交換のために 10:30 に停止して交換作業を開始する予定です。

56号機ですが、仮設タンクから 10:00～17:00 に 25m³/h でメガフロートに移送を予定しています。また、6号機 T/B から仮設タンクへは 10:30～16:30 で 25m³/h で移送します。

(1F 土木班)ガラ撤去は 1号機 T/B 海側周辺と集中 RW 周辺で実施する予定です。カーテンウォール撤去関係ですが、56号機取水口で深淺測量を実施する予定です。タンクの設置等々継続作業は引き続き実施します。

(1F 建築班)R/B カバーリング工事は、1号機は走行路の整備、34号機については R/B 路盤の整備、4号機 SFP 下部補強工事では型枠工事、スラッジ貯蔵施設では掘削工事を実施しております。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F)本日午後から保安院審査課の山田課長他7名が1F視察に見える。

(安定化センター)N2の件ですが、ガンマカメラ搬入は明日の予定です。本日は東芝さん事務所の近くの広場でリフターとロボットの相性を確認します。(積載状態に問題が無いかなど)本日は3号機R/B大物搬入口に入る作業は予定していません。

(安定化センター小森所長)3号機N2封入関係の作業については、今説明したとおり訂正いたします。

(武黒フェロー)カメラで見るといつもより現場が暗く見えますが、天候はどうでしょうか？

(1F [REDACTED])雨が少し降っている程度で、それほどひどい雨ではありません。

(武黒フェロー)昨晩はいろいろ注意報が出ておりましたが・・・

(1F)30～40分程度激しい雨が降りましたが、すぐに回復しました。本日は午前午後とも降水確率が50%、気温は30℃とのことです。

(武黒フェロー)屋外作業は十分注意して作業に当たってください。

(本部 広報班)本日の報道状況ですが、3号機R/B大物搬入口の鉄板敷きが報道されております。日経新聞では水処理装置が軌道に乗ったと前向きな記載になっております。本日の予定としては特に大きなトピックスの広報案件はありません。

(武黒フェロー)天候はあまり良くないですが、熱中症対策、安全第一で確実な作業をお願いいたします。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(高橋フェロー)これから2回目の全体会議を開始します。

(安定化センター小森所長)本日10:30に滞留水処理システムを停止し、フラッシング後12:55に再起動しております。4ベッセルを交換のため切り替えを行いました。明日は水処理システムの停止予定はなく、連続運転を実施します。定格流量は取れていないが、安定的な状態です。原因調査を実施していく。3号機環境改善では大物搬入口での作業はありませんでした。高所での作業ということで、高所作業車を使用したモックアップを実施しているところです。明日取り付け箇所を確認する予定です。明日の全体会議で本日のモックアップ状況を説明できればと考えています。

(4号機)SFP冷却システムで熱交換器をつけるわけですが、サイフォン防止のため弁(20A/B)を閉めるということが必要となります。そのために治具を製作しましたので明日現場の方で弁の隔離を行う予定です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F [REDACTED]) 1号機炉注水量は 3.8m³/h で安定しております。滞留水移送では T/B 水位は順調に下降しておりますが、水処理システムを停止した影響と考えられるがプロセス建屋は 24mm 上昇しております。

(1F 発電班) 1号機炉注水量は 3.8m³/h で、昨日朝方に流量調整してから低下していません。RPV 底部ヘッド上部温度は 102℃、D/W 内 SRV 排気温度は 110℃です。2号機では 3.5m³/h 注水して、RPV 底部ヘッド上部温度は 120℃、SFP 温度は 35℃で安定しております。N₂ 封入中の D/W 圧力は朝方約 30kPa でしたが、緩やかに下降し現在 29kPa で推移しております。3号機は 9m³/h で注水し、RPV 底部ヘッド上部温度は 129℃、SFP 温度は朝方 32.6℃でりましたが、現在は 32.3℃に低下、ほぼ下げ止まりとなっております。

56号機は特にありません。

(1F 復旧班) 1号機では SFP 注水を 15:10~17:30 で実施し、75ト注水しました。朝 7:00 からの建屋水位の変化量ですが、2号機では T/B で 10mm 下降、立坑で 12mm の下降となっております。3号機では T/B で 8mm 下降、立坑 4mm 下降となっております。4号機では T/B で 6? mm (2mm) 下降しております。また、プロセス建屋は 24mm 上昇し、HTI/B は 8mm 上昇しております。

滞留水処理関係では、水処理システムを 10:30 に停止しております。フラッシング実施後切り替えを実施し、ベッセル 4 基を交換中です。

56号機では、10:00~17:00 で仮設タンクからメガフロートへの移送を終了しております。また、10:30~16:30 で 6号機 T/B から仮設タンクへの移送を終了しております。明日も移送を予定しております。

(1F 土木班) ガラ撤去は 1号機 T/B 海側道路を実施しました。コンテナ 4 個分撤去しました。カーテンウォール撤去関係ですが、56号機取水路で深淺測量を実施しました。タンクの設置等々継続作業は予定通り終了しました。明日も引き続き実施いたします。

(1F 建築班) R/B カバーリング工事は、1号機は走行路の碎石敷き、明日は小名浜港から基礎 PC 盤? の搬入を行います。7:30 に 1F 入港を予定しております。3号機ガラ撤去は継続作業です。3号機カバーリング準備工事では 2,3号機間道路整備、4号機カバーリング準備工事では 4号機 R/B 周り道路整備を行います。滞留水関係ではスラッジ貯蔵施設で掘削作業を実施します。4号機 SFP 下部補強工事では型枠工事を継続で実施します。

(1F [REDACTED]) 本日午前中に雨が降りまして、午後非常に蒸し暑い一日だったのですが、熱中症患者はおりませんでした。交通事故が 1 件あったということで、EM で交通安全の徹底をしたところでございます。

また、保安院の方メンバーが変わりましたが、企画調整課の都築室長他見え、無事 1F 視察を終えました。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化センター小森所長)4号機SFPの近くにある弁の作業をするというので、簡単に書画で説明してください。

(安定化センター)(書画での説明)4号機SFP循環冷却システムの概要図を用いて説明。SFPで溢れた水がスキマーサージタンクに流れ込み、この水が集中RWに仮設の熱交換器を設置し、水を冷やしてSFPに注水するようになります。4号機では戻す循環ラインは2ライン(FPC-8ラインとFPC-68ライン)あるが、どちらも現場調査の結果、損傷の可能性がある。どちらを使用するかを決めた後、配管を切断修理する必要がある。その際に逆止弁がシートパスしているとサイフォン効果でプールの水が溢れ出す可能性があるため、弁20A/Bの隔離が必要となります。この20A/Bの弁はR/B5Fにあります。弁シャフトを回す治具が届き次第、早ければ明日の午前中に弁の隔離操作を行います。

(本部 [REDACTED])JVスタジアムに仮設宿舎を建設しておりますが、現在280戸の入居が可能となりました。1F・2Fの方を中心に入居することになりますが、当面は併設しますシャワールームが7月中旬まで使えない状況です。これから7月下旬にかけ1000戸を建て、最終的には1600戸を建てることとなります。情報共有として紹介させていただきました。

(高橋フェロー)これで2回目の全体会議を終了します。それでは、ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/6(水)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森所長)本日のトピックスですが、1号機建屋カバー関係では支柱の基礎板を搬入するというので、深夜小名浜港を出港して、1F に着いています。現在、荷上げの段取りを行っています。3号機窒素封入に向けた作業として、本日、ロボットにガンマカメラを取り付けて、作業現場近辺の状況と線量の測定をする。昨日、モックアップを実施しており、本日の測定等を実施致します。本件については、後ほど安定化センターの方から報告を行いたいと思います。水処理関係については、連続運転中。トピックスとしては、以上。福島第一の方から、発電所の状況について説明をお願い致します。

(1F)炉注、プラントパラメータについては、特に問題ありません。滞留水関係ですが、2、3号機からプロセス建屋への移送については継続移送中です。本日、水処理設備のベッセル交換は、予定ありません。したがって、本日、水処理設備は停止することなく運転中になります。先ほど、安定化センターからもありました通り、原子炉建屋カバーの資材荷上げを行っている関係で、6号機滞留水のメガフロートへの移送は実施せず、監視となりますので中止となります。明日、移送再開予定。また、新規の作業として、3号機 N₂封入のため接続箇所の確認を本日行う予定です。後の作業は、継続となっています。また、本日の予想最高気温が30℃ということで、きめ細かい管理をして、熱中症対策等を行っていきたいと思います。

(1F 発電班)1号機炉注水量は3.8m³/hで、RPV 底部ヘッド上部温度は102℃、SRV 排気温度は110℃です。

2号機では3.5m³/h注水して、RPV 底部ヘッド上部温度は122℃、SFP 温度は34℃で安定しております。

N₂封入中の D/W 圧力は緩やかに28.2kPa まで下降しています。

3号機は9m³/hで注水し、RPV 底部ヘッド上部温度は130℃、SFP 温度は若干低下して31.6℃となっております。

56号機ですが、6号機では T/B 滞留水の屋外仮設タンクへの移送こちらの作業のみを継続して実施致します。

(1F 復旧班)2号機では T/B 16mm 下降、立坑14mm 下降です。3号機では T/B 8mm 下降、立坑7mm 下降です。4号機では T/B で10mm 低下となっております。これに伴って、プロセス建屋は19mm 上昇、HTI 建屋は9mm 上昇となっています。これについては、後ほど安定化センターから説明があります。あと、滞留水関係では、今朝6:53 にバッフアタンクが満杯になったということで、バッフアタンクへの移送は停止しています。最後に、本日の SFP への注水予定はありません。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

5,6号機については、先ほど説明しましたとおりメガフロートへの移送はありません。6号機滞留水の仮設タンクへの移送は、10:00～17:00で実施致します。

(1F 土木班)ガレキ撤去ですが、本日1号機タービン建屋海側を予定しております。水処理のためのタンク据付工事は、継続致します。

(1F 建築班)原子炉建屋カバー関係ですが、8:30に接岸しまして、資材の荷卸し中です。ガレキ撤去関係では、3号機原子炉建屋カバー作業に伴い、2,3号機間の道路部分、4号機関係ではコンクリート打設の準備。プロセス建屋関係では、鉄筋の組立作業、HTI建屋関係では、外壁の穴開けを予定しています。

(安定化センター小森所長)3号機建屋環境改善の補足説明を行います。

(冷却プロジェクト)。本日、3号機原子炉建屋にて高所作業車による作業を行いますので、概要を補足説明致します。

まず、目的についてですが、3号機N₂封入については、格納容器の予備ペネから実施しようと考えているが、本設ハシゴが壊れている状況であるため、予備ペネが健全であるか否かが確認できていない。そのため、今回高所作業車とロボットを使用して、遠隔操作で線量、ペネ健全性、キャップシール溶接の有無等の情報を事前に入手する。また、この情報を入手して、窒素封入配管接続の作業計画を立案し、高線量下で人がアクセスする回数、時間を最小化して被ばく低減を図る。本日は、カメラによる窒素封入接続箇所状況把握、1階高所のガンマカメラによる線量測定、接続箇所近傍の線量測定を行う予定。作業内容は、操作者が遮へい車内で操作を行い、高所作業車の上に warrior(ロボット)、その先端にカメラを取り付け、リフターを5m上げて作業を行う。調査スケジュールについては、明日ガンマカメラ画像の解析を実施し、7月8日に5号機で配管設置のモックアップを行う予定。本日のタイムスケジュールは、午前中に一連の操作を完了し、午後片付け。今後のスケジュールについては、保安院への報告徴収も含めて調整を行っていく。

(安定化センター小森所長)滞留水関係について、プロセス建屋の水位が上がっている件で補足説明を行います。

(安定化センター滞留水処理チーム)

プロセス建屋の水位については、昨日17:00から本日7:00にかけて19mm上昇している。通常は、5mmの上昇なので、上昇率が上がっています。管理基準は、OP+4950mmとなっておりますが、現在、OP+4903mmとなっていて、明日昼過ぎには管理基準に到達すると推測。そのため、本日の水位上昇率をみて、2号もしくは3号の移送を中止して、プロセス建屋の水位を監視したいと考えている。安定化センターからは、以上。

(本店広報担当)本日の報道の状況、アレバの副社長が各社のインタビューを受けていて、東電に提案したこと、当社と合意したことを答えているため事実確

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

認を行う。毎日新聞一面に循環冷却のコンパクトな方法を来年夏までに実現したいと掲載されている件ですが、水処理設備の貸与年数が一年であるため、将来的な話をした内容が掲載されたこととなっています。また、毎週水曜日に、一週間の水処理実績と今週の予定を報告しています。稼働率等が記者の方の課題。

(本店武黒)以上で、本日の朝の会議を終了します。3号機現場調査については、今後の工程の鍵になりますので、今日の夕方に結果を報告下さい。

～全体会議～

19:00

(本店武黒)これから2回目の全体会議を開始します。安定化センターからお願いいたします。

(安定化センター小森所長)何点かトピックスがあります。3号機原子炉建屋の調査結果をご説明したい。4号機の SFP に熱交換器をつける作業の1ステップとしてサイフォン効果を抑制するための作業として、FPC の弁を閉操作して隔離しました。水処理については、本日は順調に運転しています。明日11:00に水処理装置を停止して、フラッシングして、ベッセルを交換する予定です。後ほど、昨日のサンプリング結果と流量が下がってきていることに対する工夫点を説明したいと思います。昨日の朝程に、プロセス建屋に移送していて、水処理もしていて、プロセス建屋の水位が上がったことについて、今後の水運用について、まずは現状を報告したいと思います。もう一つは、1号機原子炉建屋カバーの基礎板の搬入については、第1隻が小名浜港に到着して、資材の荷上げを終了しています。まずは、福島第一の作業状況とプラント状況を説明願います。

(1F [REDACTED])今日は熱中症の方が2名でている。クールベストを着用しているが、作業を始めてから早い時間に発生している。協力企業各社には、作業前の体調管理に気をつけるようお願いしている。階段を踏み外して、軽い打撲と擦り傷を負われた方が1名いました。今後とも熱中症・けが等に注意して作業を進めていきたい。1～3号機の炉注水量・パラメータは安定して推移している。先ほど説明がありましたプロセス建屋の水位上昇については、2号機、3号機から移送を行っていますが、本日7:00から17:00までは数ミリ上昇となっていて、昨日の水位上昇は収まっています。

(1F 発電班)1号機炉注水量は 3.8m³/h で、昨日朝方に流量調整してから低下しておりません。RPV 底部ヘッド上部温度は 102℃、D/W 内 SRV 排気温度は 110℃です。2号機では 3.5m³/h 注水して、RPV 底部ヘッド上部温度は 120℃、SFP 温度は 34℃で安定しております。N₂封入中の D/W 圧力は緩やかに下降し現在 28.09kPa です。3号機は 9m³/h で注水し、RPV 底部ヘッド上部温度は

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

129℃、SFP温度は朝方31.4℃でゆるやかに下がっている。

56号機は特にありません。

(1F復旧班)2号機ではT/Bで11mm下降、立坑で13mmの下降となっております。3号機ではT/Bで8mm下降、立坑6mm下降となっております。4号機ではT/Bで4mm下降しております。また、プロセス建屋は5mm上昇し、HTI建屋は9mm上昇しております。

明日の予定は滞留水処理関係では、スキッド4基交換。11:00にシステムを一旦停止する予定となっております。

仮設タンクからメガプロットへの移送は本日中止しております。6号機T/B建屋地下階から仮設タンクへの移送ですが、本日も10:00～17:00で予定通り行われました。

(1F土木班)ガラ撤去は1号機T/B海側道路を実施しました。コンテナ5個分撤去しました。明日は、1・2号機T/B海側を実施。タンクの設置等々継続作業は予定通り終了しました。明日も引き続き実施致します。

(1F建築班)1号機R/Bカバーリング工事は、基礎板の海上輸送により実施。8:30着岸、荷下ろしをして9:30離岸、17:50小名浜港に戻っている。

3号機R/B周辺のガラ撤去ですが、明日は遠隔操作機器の移設作業を行います。

3号機原子炉建屋カバーリング準備工事では、2,3号機間道路整備、4号機カバーリング準備工事では、4号機R/B周り道路整備を行います。

4号機SFP下部補強工事ですが、コンクリート打設の準備が完了しまして、明日は8分の4節のコンクリート打設を予定しています。

滞留水関係ではアレバ関係では、プロセス建屋の仮設開口塞ぎの型枠解体作業、HTI建屋では外壁の開口部の穴あけ作業が、本日完了して明日から2階の間仕切り撤去作業に入ります。スラッジ貯蔵施設では、掘削作業を明日も継続で実施します。

(1F [REDACTED])発電所からは、以上。

(安定化センター小森所長)冷却プロジェクト部からは、3号機窒素封入関係の現場調査結果と4号機SFP冷却作業状況について説明します。

(冷却プロジェクト部 [REDACTED]) (書画での説明)4号機SFP循環冷却システムの概要図を用いて説明。作業時間は、15:10～17:20。当初は、午前中の作業を予定していましたが、ガレキ撤去作業と干渉したため、午後に変更しました。

調査項目は3点あり、カメラによる窒素封入接続箇所状況把握、1階高所のガンマカメラによる線量測定、接続箇所近傍の線量測定です。調査結果は、1つ目は、高所作業者のプラットフォームが1階天井の空調ダクトと干渉したため、ロボットアームがPCVの予備ペネ付近まで届かなかったということで、カメラでシール

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

溶接があるかを確認できませんでした。ただし、計装配管は健全であることを確認できていますので、予備ペネが破損しているということはありません。線量については、1階床から5mの高さで測定しているのですが、5mSv でした。床の線量については、測定点が4カ所ありまして、予備ペネ付近で前回 50mSv だった箇所が 38mSv、大物搬入口付近が前回 70mSv だった箇所が 24.8mSv というように、約3分の1に線量低減していて、鉄板の効果があつたものと考えられます。今回の作業に伴う被曝線量については、免震棟に戻ってきた作業員の線量結果が、2.5mSv でした。今回、カメラによる窒素封入接続箇所が見えなかったことについて、実際に作業を行った[]さんに話を聞いてみたいと思います。

(冷却プロジェクト部[]) 本日、たまたまグレーチングが開いているところがあつて、そこからロボットアームでカメラによる確認、線量測定を行いました。これ以上、ロボットアームを使用して、窒素封入接続箇所を確認するのは難しいと思われれます。

(冷却プロジェクト部[]) 肝心のシール溶接がされている箇所を確認できなかったのも、高所作業者に人が直接アクセスして見ることを検討したいと思う。

(安定化センター小森所長) 続いて、4号機SFP冷却関連作業について説明をお願い致します。

(冷却プロジェクト部[]) 4号機FPCバルブの閉止操作について、御報告致します。サイフォンを防止するためのバルブが、4号機原子炉建屋5階に2つあります。前回現場を確認した時に、バルブを回すジグがなかったため、今回はハンドルを取り付けて、バルブを閉操作し、閉状態を確認しました。引き続き、既設配管の通水試験を実施し、既設配管の健全性を確認する予定。

(安定化センター小森所長) 続いて、水処理関係、滞留水の状況について説明をお願い致します。

(水処理プロジェクト部[]) 水処理装置について、明日ベッセルを交換する予定ですが、その前に流量が低下傾向にあることについて調査を行いたいと考えています。これまでもシステムについては説明していますが、プロセス建屋にある滞留水については、移送ポンプからセシウム吸着装置を経て、凝集沈殿装置からSPTタンクに移送され、貯蔵タンクに貯められるのですが、この凝集沈殿装置の出口流量が低下していることが確認されています。原因は、スラッジ類が凝集沈殿装置の下流側に流れて、流量抵抗が大きくなっていることが考えられ、もう一つは、凝集沈殿装置の下流側の処理タンクレベルが低いことが挙げられます。前者については、スラッジタンクの下流側を確認した結果、圧損を高くする要因ではないことを分析してわかりました。後者については、明日水処理装置を停止する前に、これまでの水位30%から60%に上げて、流量変化を確認したいと思います。明日11:00に装置を停止して、フラッシングを行う予定ですが、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

その前に流量変化を確認する予定です。

(滞留水処理チーム)滞留水の水バランスについて説明します。

[書画によりグラフにある各項目を説明]

プロセス建屋の水位については、段階的に上昇しているのは、滞留水処理装置と関連しているためです。本日 17:00 の段階で、OP+4917mm で、明日昼には、管理目安値 OP+4950mm に到達しない予想です。今後の予定としては、7月9日9時に2号滞留水移送ポンプを停止し、7月10日に3号滞留水移送ポンプを停止する予定です。それまでは、2、3号機ともに1台で移送を行う予定です。

(安定化センター小森所長)管理目安値について、より明確な説明をお願いします。どこまでが許容されていて、どこまでが実績で、管理目安値 OP+4950mm が設定されているのか？

(滞留水処理チーム)管理目安値は、OP+4950mm で、報告徴収では OP+5600mm まで移送することを報告している。これまでの実績では、OP+5010mm まで移送を行っている。これまでの実績を踏まえて、OP+4950mm を管理目安値として設定しています。

(安定化センター小森所長)目安値の中で管理できそうなので、現在の状況を見ながら、滞留水の移送を継続するということです。何かあったら、立ち止まって考えることとします。無理はしない。安定化センターは、以上です。

(環境影響評価チーム)

連絡事項が2点あります。1点目は、各建屋のサンプリングを行っていますが、原子炉建屋の上層階で、ロボット(クインス)によるダスト濃度測定を実施致します。8日からの予定です。3号機原子炉建屋大物搬入口での線量測定を明日予定しています。今後は、T-WARK やシマウマを使用したサンプリング行う予定です。敷地内の環境モニタリングということで、7日から予定していますが、1~4号機は7箇所、あと敷地内で(環境管理棟前など)6箇所です。計13箇所を予定しています。

(本店武黒)これにて、本日2回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/7(木)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター) 本日も現場では様々な作業が予定されている。

4号機に関しては、SFP循環冷却をするために、昨日サイフォン効果を防止するための弁の閉止操作が行われた。また、3号機では、窒素封入ラインの現場確認を行われましたが、確実を期すためにフォローアップの作業が行われました。1号機原子炉建屋カバー工事の準備工事等が進んでおります。安定化センターでは、これらの検討を支えるために、エンジニアリングや技術検討が約300人で検討を進めている。それでは、福島第一から作業状況、プラント状況について説明をお願い致します。

(1F) 炉注の傾向に若干変更がありますが、プラントパラメータに変化はありません。今後経過を見ていきたいと思えます。滞留水の関係ですが、プロセス建屋の移送は継続して実施しています。プロセス建屋の水位は、やはり上昇傾向にあります。昨日中止致しました、5、6号滞留水のメガフロートへの移送は、作業干渉がないため、本日実施予定です。

(1F 発電班) 炉注については、1号機では、炉注水量が $0.2 \text{ m}^3/\text{h}$ 低い $3.6 \text{ m}^3/\text{h}$ となっています。本日 4:00 から $3.6 \text{ m}^3/\text{h}$ となっていますが、その他のプラントパラメータについては変化ありませんので、傾向を監視しています。RPV 底部ヘッド上部温度は 102°C 、SRV 排気温度は 110°C です。

2号機では、 $3.5 \text{ m}^3/\text{h}$ 注水して、RPV 底部ヘッド上部温度は 119°C 、SFP 温度は 34°C で安定しております。

N_2 封入中の D/W 圧力は、緩やかに 27.9 kPa まで下降しています。

3号機は、若干低めなような気がしますが、 $8.7 \text{ m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッド上部温度は 130°C 、SFP 温度は若干低下して 30.8°C となっております。

56号機ですが、特にありません。

(1F 復旧班) 水移送関係ですが、2号機では T/B 15mm 下降、立坑 15mm 下降です。3号機では T/B 9mm 下降、立坑 5mm 下降です。4号機では T/B で 9mm 下降となっております。伴って、プロセス建屋は 8mm 上昇して OP+4917mm となっています。滞留水関係ですが、4:52 にパuffアタンの管理下限 4m に近づきましたので移送を開始しています。また、11:00 からセシウム吸着塔交換のため、停止する予定です。

5,6号機については、先ほど説明しましたとおりメガフロートへの移送は 10:00～17:00 で実施します。6号機滞留水の仮設タンクへの移送は、10:30～16:30 で実施致します。

(1F 土木班) 汚染水水処理タンクの設置については、Gエリア、Hエリア作業継続です。ガレキ撤去ですが、本日1号機タービン建屋海側ヤードを予定しており

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ます。カーテンフォールの撤去については、本日予定なしです。

(1F 建築班)原子炉建屋カバー関係ですが、走行路、鉄板溶接継続作業です。3号機原子炉建屋周辺ガレキ撤去継続です。3号機原子炉建屋カバー準備工事では、2・3号機間の砂利・路盤整備、4号機原子炉建屋カバー準備工事では、4号機南側の砂利・路盤整備を実施致します。4号機SFP下補強工事については、本日は、8分の4段目のコンクリート打設を行います。スラッジ貯槽施設については、継続作業となっています。

(1F [REDACTED]) 本日は、現地対策本部長の田島政務官がPMに視察に来られる予定です。

(安定化センター [REDACTED]) 安定化センター各部から若干の報告をしたいと思えます。

(放射線抑制プロジェクト部) 原子炉建屋カバーについて、昨日NHKで報道された内容について説明致します。昨日、NHKの朝のTVで報道されてしまいました内容で、現在、小名浜港でカバーの仮組みを行っています。本日、11:00に広報班から参考配布される予定です。簡単に仮組みの状況を説明します。

[以降、書画にて仮組みの構造を説明]

当初は、あまりうまく組み立てができなかったが、大分完成形に近づいてきている。本格的な組み立ては、7月末を予定している。

(冷却プロジェクト部 [REDACTED]) 3号機窒素封入の現場調査について、昨日のロボットの調査では、窒素を封入する貫通部の確認が難しいことがわかりました。そこで、明日に人による目視で確認する予定。5号に高所作業者を移動しているので、実際に目視で確認する人で実地訓練を行い、明日準備ができれば3号機で調査を実施する予定。

(安定化センター [REDACTED]) 十分に作業計画を練って、作業を行っていただきたい。

(冷却プロジェクト部 [REDACTED]) 4号機SFP循環冷却システムの工事、本日から既設配管の通水試験に着手しますので、書画で概略を説明します。

本日から残留熱除去系非常時熱負荷モードのライン(FPC系の68ライン)ラインの健全性を確認する作業に入る。配管の引き回しについては、FPC系の8ラインと68ラインを候補に考えていましたが、配管の損傷度合いを考えるとFPC系の68ラインの方が健全であろうと考え、計画を進めている。

[以降、書画にて通水試験のラインを説明]

通水箇所は、原子炉建屋2階で1mSv。通水試験が終了した後は、FPCの68ラインを一部修理する予定。工程は、今日から二日間配管の健全性を確認。その後、作業のできる環境を整えて7月17日に修理作業を行う予定。

(滞留水移送チーム) プロセス建屋の水位について、昨日昼間の上昇率から管理目安としているOP+4950mmには到達しないことを夜の会議で説明しましたが、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

本日7:00の段階で、OP+4917mmとなっていて、昨日17:00から8mm上昇し、本日の水処理で30mm上昇することを想定すると、本日昼過ぎには、OP+4950mmに到達します。よって、プロセス建屋の水位を監視しつつ、タイミングをみて2号機T/B地下階からの移送を停止致します。

(安定化センター) 昨日は、移送継続と説明しましたが、水位上昇により移送を停止する予定です。安定化センターは、以上です。

(本店広報班) 本日の報道の状況ですが、ほとんどが昨日の経産省で報道したストレステストの内容となっています。また、昨日の夕方の会見で、水処理の稼働状況について説明しています。読売新聞と日経新聞が比較的前向きで、今後汚染水の増加を食い止める、といった内容になっています。一部、産経新聞が、稼働率75%に止まっていることから、計画の見直しを迫られているといった内容になっていますが、毎日新聞と朝日新聞は中立な内容となっています。その他安定化センターから説明がありました原子炉建屋カバーの仮組みの紹介を今日の午前中に会見で説明します。

(OFC田嶋) 今日、福島第一に視察に行きますので、よろしく願い致します。

(本店武黒) 以上で、本日の朝の会議を終了します。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(本店武黒) これから2回目の全体会議を開始します。最初は、安定化センターからお願い致します。

(安定化センター) 7月7日19時、安定化センターから報告致します。本日は様々な作業が行われています。水処理施設については、計画通り運転を行っております。N₂封入作業、ダストサンプリング作業のために、本日は訓練を行っております。本日のプラント状況、作業状況について、福島第一から報告願います。

(1F吉田所長) 天候は、曇り。夕刻からは、小雨が降る予報となっています。本日は、熱中症、ケガ等はありませんでした。昨日熱中症になられた方は、無事帰宅致しました。プラントの状況について、各自報告をお願い致します。

(1F発電班) 1号機炉注水量は3.7m³/hで、パラメーターは安定しております。RPV底部ヘッド上部温度は102℃です。2号機では3.5m³/h注水して、RPV底部ヘッド上部温度は119℃、SFP温度は34℃で安定しております。N₂封入中のD/W圧力は27.8kPaで安定しております。3号機は8.9m³/hで注水し、RPV底部ヘッド上部温度は129℃で安定しております。SFP温度は、現在30.7℃で、ほぼ下げ止まりとなっております。56号機はパラメータ変化なし。

(1F復旧班) 水移送関係ですが、15:10に2号機T/Bからの移送を停止して

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

います。これは、プロセス建屋の水位が、OP+4950mm に近づいていることに対する処置です。2号機では T/B で 5mm 下降、立坑で 8mm の下降となっております。3号機では T/B で 7mm 下降、立坑 6mm 下降となっております。4号機では T/B で 5mm 下降しております。また、プロセス建屋は 12mm 上昇し、HTI/B は 8mm 上昇しております。プロセス建屋については、17:00 で OP+4929mm ですが、その後、OP+4920mm で水位下降していることを確認しています。

滞留水処理関係では、セシウム吸着塔でベッセル交換のために、水処理システムを 11:00 に停止しております。本日は、ベッセル 3 基を交換しております。明日は、ベッセル 4 基を交換する予定です。明日、3号機で、SFP 代替注水設備設置工事のためにケーブルが干渉するというので、3号機 SFP 循環を 5 時間程停止する予定です。朝 6 時～11 時停止予定です。4号機では、8:30 から 200t 移送予定です。

56号機では、10:09～17:00 で仮設タンクからメガフロートへの移送を終了しております。また、10:30～16:30 で 6号機 T/B から仮設タンクへの移送を終了しております。7月11日月曜日に、5号機 RHR S ポンプのホースの曲げ半径を大きくするために、ホースの敷き直しを行います。

(1F 土木班)タンク設置工事ですが、G、H エリア 継続実施中です。無人によるガラ撤去ですが、1/2号機間 T/B 海側ヤードを実施致します。カーテンウォール撤去関係ですが、1～4、56号機ともに設備点検です。テトラポットの据付工事については、明日午後実施致します。

(1F 建築班)R/B カバーリング工事は、1、3、4号機について周辺整理。1号機については、タービン屋上ガラ撤去、昨日メガフロートから荷上げた資材を移動しています。4号機 SFP 下部補強工事については、本日 8 分の 4 節の工事が終了しました。滞留水関係ですが、プロセス建屋、HTI 建屋の開口部関係の業務、スラッジ貯蔵施設で掘削作業を継続して実施しています。サブドレン関係では、3号機の仮設ポンプ設置が完了しています。

(1F 吉田所長)福島第一の報告は、以上です。

(安定化センター) それでは、安定化センターの報告を行います。

(土木建築グループ) 今後の作業予定について説明致します。南側透過防止堤については、津波によって壊れてしましまして、工事を実施致します。1～4号機のカーテンウォール撤去は終了しています。あと、取り付けていましたシルトフェンスの開閉が必要になりますので、本日、水産庁に行き、了解をいただいています。明日以降、福島県漁連、茨城県漁連、福島県の原対課、水産課で立地地域部と行って、了解をいただいでくる予定です。

(水処理部) 本日、セシウム吸着塔について、4塔を予定しておりましたが、1塔がそれほど線量が高くないということで、本日は 3塔交換を実施致しました。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

明日は、4塔の切り換えを10:00から予定しております。朝の全体会議で説明しました系統全体の流量が低下している件については、凝集沈殿装置の後にある処理タンクの水位を高くしてあげて、ポンプの吸込圧力を高くすることによって流量が上がるかどうかを確認しました。水位は、通常35%で、停止前は50%でしたが、さらに上げてあげて、60%にしましたが、流量は変わらず39.1m³/hでした。そのため、SPTタンク(A)～タンク(B)ラインのエア溜まり等、検討調査を続けていきたいと考えています。もう1件、淡水化装置の件ですが、昨日7月6日の8時から19時まで淡水化装置を停止しています。停止理由は、バッファタンクレベルが下限値となったためです。処理水貯槽には、水が貯まっているため、循環ラインの方は、処理を進められます。また、濃縮水貯槽が一杯になってきているので、今晚タンク切り替えを行う必要があります。新しいタンクを増設しています。しかし、夜間作業となるため、濃縮水の移送については、場合によっては、明日切り替えとなり、淡水化装置を停止することになります。

(1F吉田所長) 今晚は、雨が降る予報になっているので、作業は明日にできますか？

(水処理部) 明日の作業ということで、調整致します。

(施設基盤部) 3点報告があります。1件目は、ケーブル移設です。①仮設3/4号M/C(A)～P/C4D、②【高圧】仮設3/4号M/C(A)～仮設3/4号M/C(B)の2つのケーブルを移設致します。仮設3/4号M/C(A)、P/C4Dへの接続(停電作業)については、7月20日、22日の大熊線3L停止のための電源切替(停電作業)に併せて実施予定です。ただし、ケーブル移設に伴って、横断部道路掘削を行う箇所に、「3号SFP代替電源ケーブル」「滞留水移送ラインフラッシングライン」が干渉します。高圧ケーブルは、移設にあたり、電源停止が必要となるため、「3号SFP代替設備電源」を7月8日9時～14時の間、停止致します。

[書画にてケーブル移設内容を説明]

2件目は、夜の森線2回線復旧工事に伴う5/6号機外部電源停止についてですが、夜の森線2L～双葉線2L接続工事に伴い、5/6号機の外部電源を停止します。7月11日(5時～13時)、7月16日(5時～11時)の夜ノ森線2L停止の際は、D/G4台が起動します。全工程終了は、17日です。

3件目は、5/6号電源の夜の森線2回線化の復旧工事に伴い、7/21に大熊線3Lを停止することから、7/20(水)、22(金)に所内電源の切替を行う予定です。所内電源切替の際、仮設3/4号M/C(A)の停止に伴い、共用プールP/C、P/C4D、3号SFP代替冷却装置が停止致します。以上、停電作業の報告でした。ご協力よろしくお願い致します。

(安定化センター) 私から1件あります。日経新聞の夕刊に、3号機窒素封入のための現場調査が失敗し、配管接続作業が延期という記事がでています

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

が、これは事実ではありません。昨日も報告しましたように、様々な機器等を使用し、慎重にデータを集め、プレビューを行い、11日に作業を行う予定でいます。

(本店武黒)電源関係については、D/G4台起動ということで、慎重な対応をお願いしたい。

(環境影響評価チーム)3号機大物搬入口で、風速を測定させていただきました。風速毎秒2.4mと評価しています。後で、きちんと纏めて報告致しますが、これまで1号機では、風速毎秒3.1m、2号機では、風速毎秒1.9mで評価してきました。3号機は、1号機と2号機間の値が得られています。作業環境は、50～80mSv/hで、作業員は3分間で作業を終了しております。作業員の線量は、一人1.3mSv/hで終了しております。ご協力ありがとうございました。

(2F)1号機の電源盤の調査を行っていましたが、M/C HPCS電源盤の受電部分で火花が発生しているのを確認しました。そこで、供給元の共通系電源を停止して点検を行うことになりました。そのため、RHRポンプを停止することになりました。作業時間は2時間程度で、作業を開始したところです。

原因は、1号機は空調がしっかり生きてないので、湿度が高く、結露が発生したためと考えられます。対策としては、不要な電源は切ることと、点検を行うことで今後対応したいと思います。

(本店武黒)これで2回目の全体会議を終了します。それでは、ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/8(金)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00 (安定化センター) 早朝、かなり強い雨あったが、今は上がっている。
3:50頃、震度4地震あったが、異常なし。本日も多くの作業あり。水処理については、ベッセル4機交換。ロボットによる2号機ダストサンプリング、3号機のN2封入の前作業など予定されている。

(1F吉田) 天気は小雨。午後には上がる予報。暑くなり、湿度上がるので、熱中症等作業管理に気をつけたい。気づいたことを先に申し上げたい。今朝方地震があった。水処理設備など、追加で作っている装置について、耐震・地震時について、なにを調整するか、なにを確認するか、なにを報告するか、まだ不十分なので、これを手順に起こすなど、安定化センターと相談しながら行っていきたい。今後、震度5、もしくは福島県沖等々、大きい地震津波などを想定した形でのマニュアルが整理出来ていないことが気になっていて、特に人的に免震重要等に昨日で当社120人程度で居るので震度4程度であれば確認ができるが、超えていた場合にどのようなするのか、バックアップを2Fや安定化センターから支援がこられるか、土日の手薄な時にどうするのかといった、事故モードを考えた対応体制について考えていく必要があると感じている。安定化センターと考えていきたい。それと、お詫びでございます。田島政務官がいらっしゃった時に私は1Fのほうに居りませんで、この辺の情報が事務レベルで伝わっていませんでした。申し訳ないと思っている。今後事務レベル、私どもの総務班(総務G)で一括管理致しますので、こまめにこういった情報の連絡をさせて頂きたいと思う。

(発電班) 3:35に福島県沖で地震発生。6号機のマットで水平で11.2gal、垂直で12.5gal、パラメータ等に異常はなかった。
1号機は3.6m³/hで注水中継続中。RPV底部で102℃。2号機は3.4m³/hで注水継続。RPV底部で119℃。SFPは34℃で安定している。またD/W圧力27.7℃で安定。3号機は9.0m³/hで注水継続中。RPV底部が129℃変化なし。SFP温度は本今朝時点で30.9℃。さきほど電源停止のため5時間程度の停止に入っている。5、6号機パラメータ変化なし。

(復旧班) 水の移送関係。2号機T/Bとトレンチで23mm、26mmの上昇。3号機は7mmと8mmの下降。4号機は15mmの下降。これにともない、受け入れの集中ラドのプロセス建屋が57mm下降で、2号機の移送を停止したことで下降となっている。OP4872mmまで下がっている。滞留水関係では、昨日の23時半ころに、バッファタンクへの移送中に、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

上流側の処理水の一時的貯槽タンクが、レベルが低下したのでバッファタンクへの移送を停止している。2:45に再起動したが、貯水の下がり方が少し早いので、バッファタンクへの移送を停止している。炉注の方には特に問題はないのだが、運用で改善の余地はあると思うので、安定化センターと調整をしたいと考えている。それと、本日、3号機SFP関係の電源の移設に伴い、8:20に3号機SFPを停止している。また4号機のウェルの注水も、8:20に開始。200tの予定。滞留水のスキット交換を予定。5,6号機は、仮設タンクからメガフロート移送は10:00~17:00を予定。6号機TVB地下から仮設タンクへの移送は10:30~16:30実施予定。

(土木) 汚染水の処理タンク設置工事はG、Hエリア継続実施中。無人ガラ撤去は昨日はコンテナ9個。本日は1,2号機間の海側ヤードを実施予定。カーテンウォール、取水路関係の工事は本日なし。

(建築) カバーリング関係工事。1,3,4号とも、作業エリアの周辺地盤の整備を本日も実施する。それにあわせて、1~3号機廻りのがれき撤去。4号機のプール下補強については昨日4/8段目の打設完了したので、本日5/8段目の作業に入る。滞留水関係、継続でプロセス建屋、HTI、スラッジ貯蔵施設の掘削、土砂の運搬を継続する。

(滞留水移送T) 3号機のN2工事の環境改善のために、2号機縦坑からプロセス建屋への滞留水移送ラインのフラッシングを本日10:00~午前中一杯で実施。3号機の松の廊下の環境改善のため。

(1F吉田) 水処理関係の[]さんの話をフォローアップすると、安定化センターと発電所で責任分界点を決めているが、安定化センターの設備で運用の難しいところとか、夜間の起動停止等があるところがあるので、そういったところを何とかしたいというところ。あと潮位計が壊れているので、発電所で潮位が分からない。自然現象に関する計測機器ですので、潮位計を早く直すことについて問題提起として出ささせていただきたい。

(安定化センター[]) 地震時等の対応、マンパワーについて、中越沖の対応を参考に検討していきたい。水処理、処理水タンクの運用について、早急に検討したい。

[] RO関係の処理水タンクは30~40tのタンクを何基も繋げていて、水位制御という観点では時定数が少し動きが重くて水位が変わったりしているので、物理的な改善方法が無いか等について改善点を検討していきたい。

(冷却PJ) 本日の工事について補足。AMに4号機のSFP冷却のため、既設の配管の健全性確認で水張りL/Tを実施する。また、3号機のN

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

2 封入に係る追加の調査として、予備ベネのシール溶接部について、今回は人による確認を午後から行う。先日使った高所作業車に鉛の遮蔽シートを巻いて近づいて、確認しながら安全に進めたい。

(本店武黒) 既に電源、冷却関係、付随した設備がかなり整備されてきたので、これを安定的に運転するために、一種のテックスペックのようなものや、対応マニュアルなど、実際の訓練も含め実行能力を付けることが必要ですので、安定化センターと発電所で関係をとって、早急に進めて欲しい。また状況について適宜この場でも紹介して欲しい。

(本店広報) 本日の報道状況。250 mSv 越えについて3名確定した件、3号機のN2封入、2F1でRHRが一時的に停止した件が報道されている。本日の予定は、トピックスはNISA指示の津波の影響評価を行うことについて、本日夕方に予定。1Fと2Fの差について、が主眼。また国の支援を受けるメンタルヘルスサポートの強化を図る点を本日公表する。

(システム復旧班) 原子力で使っているサーバーについて新しいサーバーに変更する。10日(日)の0:00から30分間停止する。読み書きが出来なくなる。その後は読むことだけ出来る。仮のサーバーを用意するのでご承知おき方。詳しくは全社員へのお知らせ、または対策室の報告の様式に記載しているのでご参照方。

(環境影響評価 T) 昨日、建屋の高放射能放出量評価として、5号機において、クインセのダストサンプラーのモックアップを実施。良好だったので、本日2号機原子炉建屋の実際のデータ採取を行う予定。

(本店武黒) 本日も色々作業があると思うが、熱中症に気を付けて作業を行うように。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00 (安定化センター) 本日も様々な作業が実施された。水処理設備の運転、N2封入のための準備作業。SFP冷却の準備作業、建屋内の濃度測定、幾つかの重要な進捗が見られた。

(1F吉田) 朝早く雨が降ったがあとは曇り。幸いにも熱中症、事故等はなかった。

(発電班) 1号機、給水系3.5 m³/h、RPV底部で102℃。2号機は3.4 m³/h RPV底部で119℃で安定している。D/W圧力は、27.2 kPaで一定もしくはゆっくり低下の傾向。3号機は9 m³/hで給水継続していて、RPV底部で130℃、変化なし。SFPについて、8:20～14:20 電源工事に伴い冷却系の停止。プール水温度は30.9℃→32℃程度まで上昇しているが、これからゆっくり元に戻ると思われる。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

5 6 号機については冷温停止でパラメータに変化はなし。

(復旧班) 水移送関係。2 号機、昨日移送停止により、本日 Tb、トレンチで 17 mm の上昇。3 号機は 7 mm および 5 mm の下降。その結果、集中ラドのプロセス建屋で 23 mm の下降で、OP 4 8 4 9。滞留水関係、13:51 ~ 一時貯槽からバッファタンクに移送開始。バッファタンクの水位上昇中。また本日 4 号機のウェル注水を実施して、165 t の注水完了。

5 6 号機については、滞留水→メガフロートへの移送を 10:00 ~ 17:00 で予定通り実施。また 6 号機の地下水滞留水については、仮設タンクに 10:30 ~ 16:30 予定通り実施した。

(土木) タンク設置工事 G エリア、H エリア継続実施中。本日無人ガラ撤去、1 2 号機 Tb/B 海側 Y/D で本日実績は 6 個。明日も引き続き実施。カーテンウォールは、明日は 5、6 号機関係の撤去を実施。北護岸テトラポット据え付けを実施する。

(建築) 本日明日と継続作業になるが、滞留水・水処理関係は、プロセス主建屋の開口処理、スラッジ貯蔵作業の掘削工事関連、3 号機 R/B 周辺のがれき撤去、カバーリング準備関係の工事。1 号機カバーリング工事は明日は休工となる。

(滞留水移送 T) 明日 15 時 ~ 明後日 14 時に掛けて、3 号機の Tb/B からプロセス建屋への移送を停止する。HTI からプロセス建屋の移送ラインの L/T の実施、いままで 1 号機の縦坑からフラッシングや L/T の水を使っていたが、今度 SPT 建屋からの堰の水をフラッシング水やリークチェック用の水に使うので、その移送ラインの設置工事。また 3 号機の移送ポンプの電源変更工事等あり、明日 3 号機の移送を停止する。

(冷却 JP 部) 2 件。4 号機 S F P 関係の布設配管の健全性確認。また、N2 封入点の現地調査について。

まず 3 号機の N2 封入の調査結果について。一昨日ロボットを入れて当該の配管貫通部を確認したが、封入箇所が確認できなかったため、本日人がグレーチング上まで上がり改めて確認作業を実施。13:35 ~ 13:39 に機器ハッチ前まで高所作業車をアクセスさせた。高所作業車に人が乗る部分に鉛毛マットを巻いて遮蔽して、2 名体制で実施した。13:43 に現場確認が完了している。4 分間で実施。鉛マットの囲った中の線量を測定しており、1/3 程度の線量であった。ただグレーチング作業の場所は 55 mSv/h であった。作業内容は、格納容器 L/T の予備座が壊れていないか、キャップのシール溶接の有無を確認をした。予備座のシール溶接はされてなかったためキャップを取り外し、仮設ホースのカプラーが填るかの確認をしたが、ネジがはまる状況であった。線量は当社 6 名、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

企業さん3名で最大で5.31mSvで計画線量内であった。カプラーを取り付けたので、11日にホースを繋ぎ込む作業を行いたい。4号機のSFPの通水試験について。(FPC系の立体図を用いて)代替冷却について既設の配管を使いたいので、既設の配管の健全性を確認したもの。既設のラインに静水頭の確認として、配管の満水と、仮設の圧力計で静水頭を確認して20m程度であるので0.2MPaであり結果は良。仮設コンプレッサーで加圧した結果も、プールから空気が出てくるのを確認することが出来たので配管の損傷がないと考えている。最後、通水試験として消防ポンプで注水を実施して、問題ないことを確認した。

(水処理PJ部) 水処理システムを10時に停止して、4塔ベッセル交換のためのバルブの切り替え操作を実施している。フラッシング後に切り替え操作を行い、12:04に起動して、凝集沈殿槽側の水位の安定を確認出来たのが12:15。システムの流量はやはり減少傾向があり、31.5t/h。流量低下については原因の分析を継続していて、対応策を反映して行きたいと思っている。淡水化装置については、廃液(濃い塩水)については、タンク切り替えが必要なので、今朝7時に停止し11時に再起動をしている。在る程度廃液が溜まってからタンクを切り替えることが必要なので、13:30にタンクを切り替えて、漏えい確認を行い問題無いことを確認している。明日はベッセル交換の予定はなく、一定運転で水処理を行う予定。

(保安環境部) 本日、クインスによる原子炉建屋においてダストサンプリングを2箇所実施している。

(本店) 2号機のR/Bの環境影響評価としてダストのサンプリングを実施。大物搬入口非常扉から10:34に原子炉建屋にロボットが入り、北東の階段から2階に上がっている。RCW熱交から北西側階段を上がって、3階の階段を上ったところまで行き、ダストをサンプリングした。2箇所採取していて、1箇所は2階を移動中、もう一つは3階上がったところ。13:49に戻ってきた。結果は別途後ほど報告する。がれき等はなかったが、高い湿度により床面が滑るといった状況であったとのこと。

(本店復旧班) 6/26、27で3号機のSFPにホウ酸を注入したのでその結果について。

5月にSFPの水分析をした際に、PHが11.2とかなりアルカリが強かったため、中和を兼ねて、ホウ酸を注入した。その後7/1に循環冷却がインサースされ安定化したことから、昨日サンプリングした。その結果、PHは昨日9であったので、高アルカリ環境については十分中和されたと考えられる。ただしSFPにはコンクリートがれきが入っているので、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

そこからCaが溶け出しPHが戻ってしまうことも考えられるので、継続してサンプリングを実施していく。併せてガンマ分析でCsのデータも取っているが、14~15万Bqで濃度としては少ないデータとなっている。134と137の比は同じくらいなので、あまり燃料の変化は考えにくいですが、少し値が想定より低くなって来ていた。循環冷却ができたことでのボリュウムや環境の変化が考えられるが、今後検討していきたい。

(本店■■■■) 評価が出来たらまたこの場で報告して頂きたい。

(厚生班) 本日16:30プレスで公表しているが、防衛大のメンタルヘルスの専門家が複数名のチームを作り、問診票にて必要に応じてカウンセリングを実施する。第1回は7/10~12まで。今後は月一回来て頂いて、3~4日。まずは社員が中心だが、今後は作業員の方々にも拡大していく。細野大臣のご尽力・防衛庁殿への調整により実現いたしましたもの。感謝申し上げます。

(システム復旧班) 今朝報告したが、何点か質問を受けたので再度説明する10日の0:30から移動させていただく。0:00~30分間は読み取りも書き取りもできない。その後は読んで更新して、別のファイル(10G)を用意するのでそちらに書き込んで頂きたい。なお、原子力情報班で今晚事前の作業を行うことから、今晚一旦、作業が終わった際にはファイルを閉じて(読み取り専用状態になるので)頂きたい。開いている際には、個別に対応させていただくので、よろしくお願ひしたい。

(OFC 田島本部長) 昨日、1FとJビレッジで大変お世話になった。御礼申し上げます。

(2F) 本日、保安院の原子力防災課核物質防護対策室の立ち入り検査を受検。防護管理(出入り管理状況、津波被害を受けた防護設備)に関して立ち入りに関して確認頂いた。特に指摘等無かったと考えているが、結果については後日文書を受け取る。文書を受け取ったらまた報告する。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/9(土)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(本部 高橋フェロー)本日1回目の全体会議を開始します。

(安定化センター)本日は継続作業となります。こちら 2F 免震棟は普段の半分のメンバーで、エンジニアリング業務の方は休暇となっております。また、本日特殊なオペはありません。

(1F吉田所長)天候は曇りです。本日も気温、湿度が高いので、熱中症に注意してまいります。

(1F発電班)1号機は3.5m³/hで注水中継続中。パラメータは安定しております。RPV 底部ヘッド上部温度が103℃。D/W 内 SRV 排気温度が110℃で安定しています。2号機は3.4m³/hで注水継続。パラメータは安定しております。RPV 底部ヘッド上部温度が119℃。SFPが34℃で安定しています。また D/W 圧力は26.7kPaで緩やかに低下しています。3号機は9m³/hで注水継続中。パラメータは安定しております。RPV 底部ヘッド上部温度が130℃、SFP温度は32.3℃となっております。

5,6号機はともに冷温停止でパラメータに変化はありません。

(1F復旧班)2号機からプロセス建屋への移送は停止しております。3号機からプロセス建屋への移送は継続しておりますが、本日停止を予定しております。

各建屋の昨日17時からの水位変化ですが、1号機は変化なし。2号機はT/B、立坑とも21mm上昇、3号機はT/Bで9mm低下、立坑で6mm低下しております。4号機は11mm低下となっております。

また、バッファタンクへの処理水移送を停止しております。水位を監視しながら再移送を行います。

3号機では、N2封入用ホースの布設及びリークチェックを行います。

6号機滞留水移送関係ですが、屋外仮設タンクからメガフロートへの移送は10時～17時で予定しております。また、6号機T/Bから屋外仮設タンクへの移送は10:30～16:30で予定しております。

(1F土木班)汚染水タンクの設置をG,Hエリアで実施予定です。1,2号機ガラ撤去ではT/B海側ヤードを実施予定です。5,6号機ではカーテンウォール撤去を行います。また、テトラポットの設置を行います。

(1F建築班)4号機SFP下部補強で型枠工事、3,4号機路盤整備を実施します。プロセス主建屋の開口塞ぎ、スラッジ貯蔵施設では掘削工事を実施します。

(滞留水移送チーム)本日15時頃、3号機からプロセス建屋への滞留水移送を停止します。そのため、3号機T/Bの水位が15～16mm上昇の見込みです。

3号機T/B水位より立坑水位が高いので、移送停止による挙動を確認する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F吉田所長) 建築班、3号機 T/B の穴塞ぎは 7/18 でよいか？

キープすること。

(1F建築班) 7/18 に予定しております。

(1F吉田所長) 建屋穴塞ぎなどの雨対策について、状況を纏めて報告すること。

(安定化センター) 1号機カバーリングは本日休暇です。今朝の新聞で『7/7朝に SPT から淡水化装置に移送するポンプ 2 台のうち、1 台の調子が悪くなり、もう 1 台のポンプに切替を行ったことが報告されていない。』と掲載されていた。この全体会議でもシステムとして影響がないと判断し報告していない。この件について情報共有のあり方についてどうするか考えていく。なお、水処理システムにはポンプが多数設置され、ポンプの適切なタイミングで切り替えを行って処理工程を進めている。システム全体としては、安定した循環注水をできているが、それぞれのポンプではいろいろな動きがある。ここ 1,2 日のうちにどのようなオペレーションがあったのか、紹介を さんからお願いします。

(安定化センター) (書面で説明) 本日はセシウム吸着塔のベッセル交換の予定はありません。システムは連続運転となります。9 時前で 37m³/h です。

《システム全体の概要・ポンプの制御について説明》それぞれのタンク水位を監視・調整するために、移送ポンプの起動・停止を制御信号に基づいて実施している。タンク水位異常停になればシステムは停止するが、その前段で水位を調整するためポンプ起動停止を繰り返している。

(冷却...) 3号機 N2 封入関係で、昨日 22:30 に保安院から報告徴収指示文書を受けました。簡単に内容を報告します。報告期日は 7/11 です。

報告事項は 4 点あり、N2 封入作業の実施手順と N2 封入による期待される水素... 防止する効果が 1 点、N2 封入により PCV から押し出されることによる放射性物質の周辺環境に与える影響が 2 点目、3 点目は仮に PCV 内で水素の急激な燃焼が発生した場合、想定される放射性物質が周辺環境に与える影響、4 点目は工事による作業員被ばく管理？についてである。遅滞なく対処していく。

(安定化センター) N2 復旧の配管接続は 7/11、報告徴収が受領された後に開始します。N2 封入は 7/13 に行う予定です。

(本部広報班) 本日の報道関係ですが、細野大臣インタビュー関係の報道、道筋の見直しについては 7/19 に公表することが決定している。また、津波の評価結果が 1F・2F の違いが報道されています。本日が、3号機 N2 封入ラインの写真、4号機 SFP 循環冷却装置の写真等を公開する予定です。

(本部 高橋フェロー) 公表のルールはないのか？

(本部広報班) 今のところルールは決まっていない。記者の関心による。滲みなど軽度な不適合は公表していない。

(本部 高橋フェロー) ルールを作るべきではないか？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本部広報班) 作った方がよいが、いろいろなケースがあるので一概にルール化するの難しい。

(JV) 9:05 JV 駐車場を警備している方が体調不良(熱中症と思われる症状)でメディカルセンターで治療を受けています。本人は鹿島建設に所属している方です。JVでも熱中症対策を徹底してまいりたい。

(本部 高橋フェロー) 1回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化センター ■■■) 本日は特別なオペレーションはなく継続作業となっております。残念なことに作業の中で6人の熱中症患者ができました。

(1F吉田所長) 本日熱中症患者(疑わしい方も含め)が6名発生しており、発電所で4名、JVで1名、発電所では症状はなかったがJVに移動してから体調を崩された方が1名おりました。重篤な患者はおりませんでしたが、2名が点滴治療を実施しております。今日は午前中から暑く、ヤードでは炎天下での作業となりました。マスク着用時間を短くすること、また水分のこまめな補給についてEMで企業さんに熱中症対策の徹底をお願いしております。また、クールベストは準備できているのに着用が徹底されていないことも確認された(1名のみ着用)。準備されているので装備装着をお願いします。体調管理は作業班毎に実施し、作業班長レベルでのチェック重要ですので徹底をお願いします。

(1F発電班) 1号機は3.5m³/hで注水中継続中。パラメータは安定しております。RPV 底部ヘッド上部温度が103℃となっております。2号機は3.4m³/hで注水継続。パラメータは安定しております。RPV 底部ヘッド上部温度が121℃となっております。3号機は9m³/hで注水継続中。パラメータは安定しております。RPV 底部ヘッド上部温度が129.4℃、SFP温度は32℃となっております。

5,6号機はともに冷温停止でパラメータに変化はありません。

(1F復旧班) 滞留水移送は2,3号機とも停止しております。3号機については本日14:49から停止しております。56号機については仮設タンクからメガフロートへの移送を実施しました。

各建屋の昨日7時からの水位変化ですが、1号機は変化なし。2号機はT/Bで16mm上昇、立坑で14mm上昇となっております。3号機はT/Bで3mm低下、立坑で4mm低下しております。4号機は2mm低下となっております。またプロセス建屋は62mm低下してOP4739となっております。また、バッファタンクへの移送については、本日7:39に停止して、15:59に再開しております。明日の作業は1～4号機のSFP循環冷却装置設置工事を継続で実施します。

(1F土木班) 汚染水処理タンクの設置を実施しました。ガレキ撤去工事は1-2

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

号機 T/B 海側道路を実施し、コンテナ 6 個分撤去しました。明日は 2 号機 T/B 海側ヤードを実施します。56 号機カーテンウォールの撤去工事、テトラポット据付を実施します。本日は汚染水処理タンク設置工事で熱中症患者が 3 名発生しました。作業時間の短縮等対策を徹底してまいります。

(1F建築班)明日は 1 号機 R/B カバーリング工事でクレーンの組立、走行路の整備を実施します。4 号機 R/B カバーリング準備工事では R/B 周りの路盤整備を実施します。また、スラッジ貯蔵施設の作業に従事していた方は発電所では症状はでなかったが、JV に到着してから体調を崩されました。体調管理等注意するよう指導してまいります。

(滞留水移送チーム)3 号機からプロセス建屋への滞留水移送は停止しておりますが、明日電源復旧後 15 時頃移送を再開します。

(安定化センター 水処理プロジェクト)本日はベッセル交換作業がなかったので連続運転となっております。37.4t/h で採取処理しております。また淡水化装置を 13:20 に起動しており、15:59 にパuffアタンクへの移送を再開しております。淡水化装置、パuffアタンクへの移送はバッチ処理で行うので、ポンプの起動・停止が何回か入っていくような運転モードとなります。明日はベッセル 3 基の交換を予定しており、フラッシング後、バルブ切り替えを実施します。予定では 10:30 にシステムを停止します。

(安定化センター)熱中症につきましては、センターとしても暑さ・放射能との戦いを最重要課題として取り組んでまいります。

(本部)本日 17:25、保安院より山形原子力安全基準統括管理課より注意喚起を受けている。内容は厚生省より熱中症防止に関する指示文書が出ている。『協力会社も含め指導文書の内容を徹底し熱中症対策に万全を期すこと。』ということです。できることはすぐにしてほしい旨付け加えられておりますが、発電所、安定化センター含め対応して頂いているということで今後も宜しくお願いします。

(保安院)これから暑い日が続きますので、ぜひ熱中症対策に万全を期してください。

(本部 武黒フェロー)熱中症対策の徹底は重要ですので、大変ご苦勞ですが対策の定着化をお願いします。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/10(日)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森)今朝、アレバの凝縮沈殿装置の薬注ラインのティーズ箇所から漏えいがあったため、水処理装置を停止している。汚染水の漏えいはない。現在、対処に向けて手順を検討している。場所と概要について書面で説明する。

(安定化センター水処理プロジェクト)(書面で説明)キュリオンの装置からセシウムを減らした水が、凝集沈殿装置というアレバの装置へ流れているが、その2段目の凝集沈殿装置へ凝集剤、つまり塩化第二鉄(後談でポリ鉄と修正)の薬液を流しているが、その繋ぎこんでいる部分から薬液が漏えいしている。薬液のほうがメイン装置に比べ圧力が高いため、放射性物質が漏れている状態ではない。点検するためには、その圧力を下げる必要があるので、中の圧力を下げるため、薬液タンクの水位を下げる。

(1F)塩化第二鉄は間違いでポリ鉄というもの。スラッジを凝集するための薬液である。修理をするためには、タンクの取り出し口よりも水位を下げる必要がある。ねじ込み部になっているのでそこを修理する。

(武黒)漏れているティーズ部分について、外部へ説明が必要になると思われるので写真等があれば手配をお願いしたい。

(安定化センター小森)周辺のサーベイなど、現場の状況を確認しながら進めていく。

本日は天気が良く、暑い。熱中症対策をやらないといけない。

明日、安定化センター及び1Fへ労働基準監督署、福島県の労働局長と富岡労基の所長が立入調査を実施する。安定化センターの組織や業務に対して、また今後の作業等について調査すること。1Fへは、250mSv 超えと作業状況について調査すること。また現場の視察をするようである。

(1F吉田所長)朝7時で外気温が29℃である。朝作業するのは涼しくて良いという認識は誤っている。そこから入らないと熱中症の対策がうてない。再度徹底する。昨日は午前中に熱中症が発生している。

(1F発電班)1号機は 3.5m³/h で注水を継続している。パラメータは安定している。RPV 底部ヘッド温度が 103℃である。2号機は 3.4m³/h で注水を継続している。パラメータは安定している。RPV 底部ヘッド上部温度が 120℃、SFP温度が 35℃である。3号機は 9.0m³/h で注水を継続している。RPV 底部ヘッド上部温度が 128.8℃、SFP温度は 31.7℃である。

5,6号機は冷温停止中でパラメータは安定している。

(1F復旧班)2,3号機 T/B からの移送は停止中である。5,6号機は継続で仮設タンクからメガフロートへの移送を10時～17時に実施する予定。各建屋の水

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

位について、2号機はT/Bが20mm上昇、立坑が23mm上昇、3号機はT/Bが18mm上昇、立坑が12mm上昇している。4号機は2mm上昇している。プロセス建屋については134mm減少しており、OP4605mmである。

1, 4号機のSFP冷却装置の設置は継続している。

(1F土木班)タンク関係は継続である。ガラ撤去は1, 2号機T/Bオペフロで実施する。5, 6号機カーテンウォールのH鋼撤去を実施する。防波堤関係でテトラポットの沈みを実施する。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1号機走行路の整備及びクレーン組立を実施し、4号機側では周辺路の整地を実施する。スラッジ貯槽施設ではボーリング探査を実施する。

(1F滞留水移送チーム)HTI建屋及びプロセス建屋への移送ラインについてL/Tを実施する。また、SPT建屋の堰の水をフラッシングに使うことを考えているため、そちら側のL/Tもする。本日午後15時頃に3号機T/Bからプロセス建屋への移送を実施する予定。

(広報班)本日の報道状況について説明する。新聞各紙では廃炉に関する工程表が報じられている。当社スタンスとしてはステップ1, 2に全力で取り組み、(廃炉については)今後関係機関と相談の上進めていく。

東京新聞及び朝日新聞で特集しているが、特段新しい事実はない。

水処理施設の薬液漏えいについて、7:21にメールでマスコミへお知らせしている。本日11時の会見で説明する。

(1F)ベッセル3棟の交換のため切替操作を行う。水処理全体のバランスについては、RO淡水装置は継続で実施しており、ROで処理した水のタンクもまだ十分レベルがあるので、バッファータンクの水を移送している。バッファータンクのレベルを見て、まだ循環注水に使えると考えている。今後、タンクレベルを確認しながら検討する。

(武黒)循環注水が途切れてしまうのは当面無いのか？

(1F)1日程度は持つと考えている。

(武黒)朝から高気温のため、熱中症対策を取り組んでいくことが重要である。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化センター小森)アレバの水処理装置が停止した件について、後ほど詳細に説明をする。漏えいの原因として、金属製ではないコネクタ部分が破損していたのが確認された。16時に単体試験を実施し、17:06に再起動した。現在運転している。なお、キュリオン側も運転している。ベッセル交換はオンラインで実施している。今週末にサリーの吸着棟設置の工事が入ってくる。また、濃縮し

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

た海水をさらに蒸発濃縮する装置も設置する。

三陸沖を震源とする地震が発生した。浜通りで震度3であった。津波警報があったため、暫く護岸関係の作業は中断した。11:45くらいに津波警報が解除されている。津波は相馬地区で10cm程度であった。津波による被害はなかった。

(1F吉田所長)晴れで暑かったが、熱中症は発生しなかった。

津波で怖いのは、バージ船が横付けになっていることと、港湾のくい打ちをしているので船がいることである。本日、津波警報のため海の作業を全部中断した。11:45に津波警報が終了したので、12:20くらいから作業を再開した。

(1F発電班)地震の大きさは、6号機で10ガル程度であった。地震による設備異常はなかった。

1号機は3.4m³/hで注水を継続している。パラメータは安定している。RPV底部ヘッド温度が103℃である。

2号機は3.3m³/hで注水を継続している。パラメータは安定している。RPV底部ヘッド上部温度が120℃、SFP温度が33.7℃である。

3号機は9.0m³/hで注水を継続している。RPV底部ヘッド上部温度が128.8℃、SFP温度は31.7℃である。

5,6号機は冷温停止中でパラメータは安定している。明朝、5時～13時まで双葉線の工事のため、世の森線1号が停止する。D/G4台で所内電源を確保する。

(1F復旧班)2号機立て坑から集中R/Wへの移送は停止中である。3号機の移送は再開している。仮設タンクからメガフロートへの移送は津波注意報が発報されたため中止した。明日、再度実施する予定。

各建屋の水位について、2号機はT/Bが15mm上昇、立坑が15mm上昇、3号機はT/Bが3mm上昇、立坑が7mm上昇している。4号機は3mm上昇している。プロセス建屋については15mm上昇しており、OP4620mmである。

1,4号機のSFP冷却装置の設置は継続している。

明日朝から午前中一杯で、5号機RHRSポンプ吐出ホースの手直しのため、1台ずつ停止する作業を実施する予定。全停はしない。

(1F土木班)タンク関係、ガラ撤去は継続で実施している。5,6号機カーテンウォールのH鋼撤去、防波堤関係でテトラポットの沈みは予定どおり実施した。

(1F建築班)地震の影響はなかった。明日は1号機R/Bカバーリング関係で、クレーン組立等を実施する。4号機SFP下部補強については型枠を実施する。スラッジ貯槽施設では掘削を予定している。

(1F) (書画で説明)凝集沈殿装置の不具合について説明する。放射性物質に対して薬液を注入して凝集沈殿させる装置であるが、第二段の注入の繋ぎ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

目から漏えいが発生していた。構造は、ねじ込み式でホースを繋ぐようになっており、塩ビ製ホースをナットで閉めつけている。配管にはネジが切られているが割れてしまって漏えいにいたってしまった。復旧に際しては、金属製コネクタをねじ込んでいる。運転圧による漏えい確認を実施し、システムを再起動した。17:40に安定的な水位に達し、流量については下がってきているが、現在36.2 t/hである。

追加設備について説明する。プロセス建屋の汚染水をセシウム吸着装置⇒凝集沈殿装置⇒淡水装置という流れで処理しているが、セシウム吸着装置の後ろにもう一段サリーのセシウム吸着装置を付ける予定である(システム構成を書面で説明)。発電所へは順次搬送している。本装置はHTI建屋に設置しており、8月上旬からインサービスにもっていきたい。

明日は、セシウム吸着装置のベッセル交換は予定していない。

(安定化センター小森)3号機N₂注入装置の設置作業をしてきたが、保安院から報告徴収を受けているので、本日以降その説明をしていて現場作業は特にしていない。

(本店保安班)2号機R/B空气中放射性濃度を計測した。一昨日金曜日に2号機R/Bへロボットを使って、ダスト濃度の測定を行った。目標としてはなるべく上の階を目指していたが、結果的には3階の階段までであった(ルートを書面で説明)。2階のRCWHxの線量率は50mSv/hという高い値であった。カメラで見るときれいだいが、北東階の床面は茶色くなっていた。ダスト濃度は2階の東から西に移動中、それから3階に上がって階段前の2箇所で採取した。2階北西の計装ラック前に比べて北側RCWHx周りは1桁以上高い値となっており、セシウムでいうと10⁻¹Bq/cm³程度であった。3階についても同様な値であった。今回の測定の目的はR/B放出量を評価するためである。フロアや場所により違いがあるので、今後の評価にあたっては濃度の代表性に注意をしていく。各フロアについて可能な限り測定をしていく。上の階で格納容器からの漏えいが採取できると考えられるため、今後上の階での測定をしていきたい。

(2F)9:57の地震だが、2Fでは異常はなかった。午前中作業をストップしたが、午後から作業を再開した。

発電所にはMPが7つあり、南側のMPが3月11日の津波により流されていたが、7月6日から使用を開始した。今後、MP1~6の掃除をする。

(2F保安班)1~5()は1~6と言っていたが、担当は1~5と言っている)の5器について掃除を予定している。1週間かけて、コンクリートの基礎部や架台周り、内部の清掃を予定している。指示値が数%低下する可能性があるのので事前にお知らせするもの。

(1F吉田)うちのMP7についても1ヶ月半位前に掃除して線量が少し下がった

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

が、それ以外のMPをどうするか何の方針も打ち出されていないが、どうするか？検討して欲しい。

(本店復旧班)了解した。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

< 7/11(月)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化 C:小森所長)本日、福島労働局の立入り等があり、1Fは、現場の視察も含めて午後に予定しています。安定化センターでは、センターの体制について、2F にて立入りとなります。13:30頃～16:00頃を予定しています。

(1F:吉田所長)本日も晴れ。午前中から暑く、熱中症対策に気をつけたいと思います。本日は、地震発生から4ヶ月となりますので、朝、現場で津波の犠牲となった人も含めて黙祷を行いました。

作業について。午前中、電源の切替で、5・6号の D/G を起動して、切替を終了しています。D/G5A に地絡があり、調査をしており、D/G5A は切り離しています。

5・6号の医療室の電源が昨夜落ちました。調べたところ、水が漏れて、電源が落ちた模様。復旧したいが、負荷の関係で、D/G にぶらさがっているため、午後1時に通常の電源に切り替わるため、その時点から復旧したいと思います。従って、午前中は、5・6号機の医療室が使えないため、免震重要棟の医療室で代替をしていくことで対策を考えています。

(1F:発電班)プラント状況について。1号機、原子炉へは3.4m³/hで注水中。パラメータは安定しており、RPV 底部で102℃。2号機についても、3.4m³/hで原子炉へ注水しており、パラメータは安定中。炉底部で118℃。使用済燃料プールも35℃で安定している。3号機については、9.0m³/hで原子炉注水しており、プラントは安定中。RPV の底部で128.6℃、使用済燃料プールも31.9℃で安定している。4号まで以上。

(1F:発電班)5号機、双葉線の66kV 工事のため、夜ノ森線1号を本日、5:01に停止しました。これに先立ち、5・6号の所内負荷の電源を供給するために、D/G の5A、5B、6A、6B の4台の D/G を起動しています。そのうちの D/G5A については、今朝方、地絡警報が発生し、一度はリセットできましたが、再度発生したとのことで、D/G5A にぶらさがっている負荷を順次切り離し、D/G5A を停止する予定です。

5・6号 S/B での停電について、S/B 建物用分電盤の近くに S/B 受水槽がありますが、水のレベルのコントロールが上手くいかずに、オーバーフローした結果、分電盤の電源ユニットに水がかかってしまい、S/B が停電した模様です。S/B 全体ではなく、医療室、休憩所といった一部であるが、入室禁止としています。5・6号は以上。

(1F:復旧班)滞留水関係について。2号については、立坑から集中 RW への移送は停止中。3号については、昨日再開し、T/B から集中 RW へ移送している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

各建屋水位は、2号 T/B は19mm上昇、トレンチが22mm上昇。3号 T/B は、1.5mm減少、立坑が6mm減少。4号 T/B は、3mm減少。集中 RW は、17時から65mm減って、OP+4555mm。

5・6号の仮設タンクからメガフロートへの移送、昨日は実施できませんでしたが、本日は10時から17時で継続実施を予定しています。

1号と4号で、使用済燃料プールの循環冷却装置の設置工事を継続で実施しています。

昨日、5号の RHRS ポンプのホースの手直しを実施すると伝えましたが、先ほどからある、D/G の負荷を考慮して、延期することとしました。19日以降に実施する予定です。復旧班からは以上。

(1F:土木)タンク関係は、各ヤードで継続。ガレキ撤去は、本日、1・2号タービン海側を継続実施。海工事は、5・6号側で H 鋼の引き抜きと、テトラポットの据付を海上作業で実施。以上。

(1F:建築)R/B カバーリング工事は、継続実施で、1号、3号、4号とも同じ。4号の燃料プール下部の補強については、型枠工事を実施。スラッジ貯蔵施設関係では、掘削工事を継続実施。5・6号の S/B 停電については、復旧作業を実施中。以上。

(1F:吉田所長)1点。[]からご指摘がありましたが、昨日の水処理での漏えい、カプラーのところの漏えいがあり修理をしたということで、その漏えい水の放射能濃度について、こちらのほうで把握をしていなかったため、汚染水であったということが後でわかりました。十分に情報が回っていないのではという指摘を []技術者からうけており、全くその通りで、安定化センターと1F とのコミュニケーション、責任分担も関係してくることもあり、これからの注意事項だと思います。情報を常に共有することで対応していきたいと考えています。1Fからは以上。

(安定化 C:小森所長)今の吉田所長のお話については、安定化 C 側でも多々反省する部分があったと思います。発電所側としっかりと情報共有をする事が1点と、あとは、全体で情報共有をすることが、重要だと思います。水処理関係は、前に話をしたとおり、ポンプの起動停止、レベルの監視、いろいろなことが計画的に行われていて、あるときに、いわゆる故障のようなことが入ってきて、その辺の判断で、どう情報をお伝えするかについても、まだ、十分になれていません。したがって、異常時の通報ならびに情報共有については、特に水処理関係は、新しい装置なので、早めに詰めたいと思います。

(地震発生。浜通りで、M4. 1。)

(安定化 C:水処理)昨日の漏えいについて、漏れた水の測定結果を情報共有できませんで、申し訳ありませんでした。関係者というところをよく考えて、いろい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ろ、今後情報共有していきたいと思えます。

本日の予定は、セシウム吸着塔のベッセル交換は予定ありません。このまま、継続運転となります。流量は、やはり低下しており、36.5t/hとなっています。

(安定化C:小森所長)流量についての対策等については、また検討をしていると思えますが、過去やってきた話も含めて、まとめて、今後のアクションについては、ご説明をする準備をお願いします。

(安定化C:水処理)承知しました。

(本店:武黒フェロー)流量の件については、よろしくお願います。だいが、処理量が落ちてきているため、全体としての機能に影響を及ぼしていないものの、注視をして、迅速に対処していただきたいと思えます。

(安定化C:小森所長)安定化Cからは、以上。

(本店:武黒フェロー)いくつか、課題があったと思えますが、情報の共有については、また、設備が定常的に稼動する物が多くなってくるので、トラブル対応をどうするかがまだ曖昧で、そういう体制が機能していないところが昨日もあったように思えます。もちろん、本店も含めて、安定化Cを中心に整備をしていく必要があると思えます。その中で、情報の共有が的確に行われるようになるということではないかと思えます。この点は、よく相談させていただきたいと思えます。

(安定化C:小森所長)了解しました。

(本店:武黒フェロー)午前中は、5・6号の医療室が使えないことを、既にやっていただいていると思えますが、協力企業さんへ十分周知をしていただきたいと思えます。

(1F:吉田所長)了解しました。既に、周知はしていますが、更に徹底いたします。

(本店:武黒フェロー)よろしくお願います。

(広報担当)報道の状況について。本日は新聞休刊日のため、主に各社ホームページでの報道となっています。昨日発生した水処理システムの漏えいと復旧についての報道となっています。本日の予定は、午前中に、水処理システムのSARRYの追加分、2Fのモニタリングポストの指示が変動する可能性がある件を公表したいと思えます。午後は、取水口につける、鋼管矢板の設置工事、福島県に対する人的・物的支援の概況報告をすることで計画中です。なお、3号機の窒素封入に関しては、報告書提出の時間帯に応じて、公表するタイミングを考えております。

(細野大臣)かなり気温が上がってきており、作業環境が厳しくなっていると思えます。最大限の努力、配慮をしていただいていると思えますが、ここはカギになるので、本店も含めて、政府関係者も全面的な現場作業環境の改善のバックアップ体制をよろしくお願いたします。もう1点、いよいよ第1ステップが終了

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

して、第2ステップに向けて、今週、非常に大事な時期を迎えます。東電と調整して、第2ステップの発表は、7月19日の連休明けといたしました。今回のロードマップの改訂作業は、政府と東電が、これまでも実態的には一元化して実施してきましたが、形式的にも一元化をして、1Fの問題解決に向けては政府と東京電力が統合対策室としてロードマップを発表することとしました。従って、そういう意識を持って、今週1週間は、政府と東電とで連携してやっていく意識を共有していただきたいと思います。それと、このロードマップを作る際、安定化C、さらには特に、1Fの皆さんもしっかりと納得ができる、さらには、現実、実現可能なロードマップを作っていく必要があるので、日々、調整していただいていると思いますが、怠り無く、現場の皆さんの声をしっかりとロードマップに反映をしていく体制を1週間しっかりとりたいと思います。

(本店:武黒フェロー)この点、これから詰める作業だと思いますが、是非皆さんよろしく願いいたします。今日も熱中症に注意して、特に現場第一線の方々に、十分な理解を得て、協力していただくことが重要だと思いますのでよろしく願いいたします。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化C:)本日も、昨日に引き続き、暑い一日でしたが、熱中症ゼロで乗り切ることができました。作業員の皆様のご協力とサイトの皆様の努力に感謝申し上げます。また、本日は、労働基準監督署の立入りが、1Fと安定化Cの2箇所に分かれて行われました。

(1F:吉田所長)幸いにして、熱中症は発生しておりません。ただ、明日以降も、また暑い日が続きますので、気を緩めることなくやっていきたいと思えます。

作業につきましては、5・6号の電源、D/Gで一回負荷をとるといことで、夜ノ森線のほうの仕事がございましたが、予定通り終了しております。

(1F:発電班)1～3号について、プラントは安定しております。1、2号機については、3.5m³/hで、3号機については9m³/hで炉注を続けています。いずれも代表点は安定しております、1号のRPV底部は103℃、2号のRPV底部ヘッド上部は120℃、3号についてはRPV底部ヘッド上部が128℃と、大きな変化はありません。また、使用済燃料プールの温度も、2号は44℃、3号は32℃と安定している状態です。

5・6号のほうは、夜ノ森線の停止作業が有ったことから、日中約8時間程度5・6号の所内負荷をD/G4台で背負う状態にして、本日13:44に作業終了して再度、夜ノ森線からの受電に復旧しています。なお、起動したD/G4台のうち1台、D/G5Aにつきましては、励磁機の地絡警報が発生しましたので、一旦停止して、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

現在も点検のために、アウトサービスの状況です。

また、昨日の夜発生しました、5・6号S/Bの緊急医療室、待避所の停電ですが、本日15:30に復旧して、使用可能となっております。プラントのほうは以上です。

(1F:復旧班)滞留水関係ですが、2号については、移送停止中。3号については、T/Bから集中RWプロセル建屋への移送を継続中。5・6号の仮設タンクからメガフロートの移送ですが、今日も継続で、10時から17時で実施しています。明日は、11時から16時で実施を予定です。各建屋水位については、1号変化なし。2号はT/Bで15mm上昇、トレンチで15mmの上昇。3号はT/Bで7mm下降、トレンチで4mm下降。4号は、T/Bで3mm上昇。プロセス建屋は、今朝から48mm下がりました、OP+4507mm。

明日の作業ですが、1号、4号の使用済燃料プールの循環冷却装置設置ですが、1号でモジュール設置位置に鉄板を敷く、4号でケーブル敷設等を行います。3号で、本日、国への報告が済みましたら、窒素注入のホースのつなぎこみを実施する予定です。4号で原子炉ウェルへの注水を10時から実施する予定です、130tの予定です。水処理装置で、ベッセル交換があります。復旧班以上。

(1F:土木)汚染水のタンク関係、継続です。ガレキ撤去、1・2号のタービン海側を実施しまして、本日コンテナ3基、合計でこれまで400基のコンテナを処理しています。5・6号のカーテンウォール、テラポットの据付を継続しております。

明日の作業、新規の作業が1件、1～4号のカーテンウォールの付近に、今後透過防止工、南側の防波堤付近に透過防止工の再構築を行います。この関係で、これまで撤去しました、1～4号のカーテンウォールの海中部に残物が残っているため、掃海作業を明日から予定しています。

(1F:建築)1号カバー準備工事では、750tクローラクレーンの組立、明日も継続作業となります。3号カバーでは2・3号間道路、4号カバーでは4号機南側で碎石路盤整備、明日も継続作業です。4号燃料プール下部補強は、本日型枠工事を行い、明日7月15日、コンクリート打設、8分の5段目を実施予定です。スラッジ貯蔵施設では、掘削工事の継続作業になります。以上です。

(1F:保安班) ※書画にて説明

1～4号の南側透過防止工の工事伴いまして、周辺海中の放射能監視強化をしたいと思いますので、ご説明いたします。この工事に伴いまして、作業船の出入があるため、シルトフェンスの開閉作業があります。また、矢板打設がありますので、港湾内のモニタリングの測定頻度を増やしまして、作業に伴う取水口内外への影響を監視する予定です。具体的には、シルトフェンスの開閉があった日は、追加で港湾口および物揚場で、追加のサンプリングをしまして分析します。また、矢板打設のあった日は、夕刻に放水口南側で追加サンプリング、分

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

析をします。この監視強化の考え方については、本店保安班から説明をお願いします。

(本店:保安班) ※書面にて説明

基本的には、サイトからご説明いただいたものをまとめたものになります。大きく分けましてシルトフェンス開閉、透過防止工の工事に伴う矢板打設の影響です。シルトフェンスの開閉については、1~4号機取水口内を滞留している放射性物質の影響、シルトフェンス開閉及び船舶の出入による海底土の巻き上げの影響が考えられております。監視位置として、物揚場前で、朝晩のモニタリングを実施します。シルトフェンス開閉ということで、港湾の中には海底土の巻き上げですとか、港湾内の放射性物質の影響が出るかどうか懸念されますので、港湾内での影響の確認のため港湾口で、工事後の海水サンプリングを追加して実施する予定です。透過防止工の工事中には、南側防波堤のところでは工事をすることになるので、南側防波堤の外への影響を考慮しまして、南放水口での海水サンプリングを追加実施します。監視の考え方は、工事の影響ということで、最初3日間、データを採取して、その結果をみて工事によるどの程度の影響があるかを評価します。その結果をもとにして、その後の監視の継続の必要性和、監視を継続する場合に、どのようなアクションレベル、監視基準のようなものと、どういった場合の対応方法の見直しを行うかを判断していくことにしています。以上です。

(本店:高橋フェロー)関係省庁や機関へ、ご報告する約束となっているのか?

(本店:保安班)報告については、正式に約束したということではないが、全体会議の場で、結果については報告していくことになるかと考えています。

(本店:高橋フェロー)よろしくをお願いします。

(安定化 C:)安定化 C 各班から報告します。先ほど、3号機の窒素封入のホースつなぎ込みが、明日可能であれば実施するとのことだったが、報告徴収の結果はどうなったか?

(安定化 C:冷却 PJ 部)3号機の報告徴収ですが、18:50にNISAに受理していただいた。明日は、予定通り、午後1時半から窒素の封入配管の接続工事を開始したいと思います。

(安定化 C:)くれぐれも安全に気をつけて、工事をお願いいたします。水処理装置の運転状況につきまして、できるだけ毎日ご報告するようにしたいと思います。

(安定化 C:)今日は、ベッセル交換は予定しておらず連続運転中で、流量は36.5t/hで、今朝と流量は変化ありません。淡水化装置についても、運転中です。明日は、4搭のベッセル交換を予定しており、停止してフラッシング後に、バルブの切替を予定しております。

(1F:吉田所長)先ほどの窒素封入、可能になったのは非常にいいが、1号2号

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

のとくと同じように環境評価だとかの話がまだ無いが、いつ頃きちんと話をして
どういう段取りでやるかは、できているのか？

(安定化 C: ████████) 報告書に環境影響評価を盛り込んでいますので、明日の
本部会議にてご説明いたします。

(1F: 吉田所長) 作業停止は、2号と同じように時間を選べば無いかもしれない
が、作業停止の議論と、一時帰宅との絡みがあるので、早めにきちんとお願い
いたします。

(安定化 C: ████████) 了解しました。

(安定化 C: ████████) 安定化 C からは以上です。

(本店: 保安班) 環境影響評価 T から、3号機の R/B でダストサンプリングを実施
するので紹介です。

(本店: 環境影響評価 T) ※書画にて説明

明日と明後日にかけて、3号機の R/B 上部に、シマウマでダストサンプリング
を実施します。シマウマにホースを取り付けまして、ダストを下のほうに導き、ダス
トサンプラーを付けて、採取する方法です。一日に、昼頃と夕方頃と一度ずつ
サンプリングを実施する。明日は夕方頃に採取し、夜間はブームを下げて、翌
朝7時ぐらいにブームを上げまして、朝一のサンプルをとり、昼頃に再度サンプ
リングを行う。データの数を増やして、放出状況を把握する。以上です。

(本店: 高橋フェロー) 工程は、発電所と調整済みか？

(本店: 環境影響評価 T) 明日の朝再度、調整します。

(本店: 高橋フェロー) 窒素封入の報告徴収の話があったが、他に報告徴収は、今
日、出ているのか？ 使用済燃料プール関係とか。

(本店: 復旧班) 出ていません。

(安定化 C: ████████) もう一点後ご告します。

(安定化 C: 保安環境部) 今まで、小名浜のコールセンターでホールボディを実
施していましたが、J ヴィレッジの広野町のサッカー場のところに、ホールボディ
センターを開設しまして、今後、こちらのほうでホールボディを実施していくこと
となりました。以上です。

(本店: 高橋フェロー) 関係箇所への周知はできているのか？

(安定化 C: 保安環境部) 7月9日にイントラに運用方法等を掲載しているので、
ご一読いただけたらと思います。

(安定化 C: ████████) この会議に参加されている方も、積極的に、J ヴィレ
ジの WBC をご活用いただきたいと思います。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/12(火)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00 (本店武黒)7月12日、第1回目の全体会議をはじめます。まず安定化センターからお願い致します。

(安定化センター) 〇 たった今、水処理で先日漏えいが発見された箇所から再び漏れたという情報が入ってきました。まず、この点につきまして、水処理チームから報告をお願い致します。

(水処理チーム) 〇 8:51、アレバの装置から漏れいがあるとの情報を受けて、装置を停止しています。漏れている箇所が、ホース or ホース接続箇所は、現段階でわからないため、これから現場を確認致します。状況がわかり次第報告致します。

(安定化センター) 〇 本日は、南東北地方の梅雨開けが発令されて、朝から大変蒸し暑い天気となっています。本日は、3号機のN₂封入、4号機のプール冷却、原子炉建屋カバーリング工事、タンク設置工事、ガラ撤去、5/6号二回線受電工事、そういった広範囲な作業が予定されています。本日も、作業員1人1人が安全で、熱中症にならないように最善をつくしたいと思います。それでは、1Fよりプラント状況と作業状況の詳細について、説明願います。

(1F吉田所長) 〇 今、説明がありましたように、気温が30℃近くになっていますので、今日も熱中症対応をしっかり実施していきたいと思います。8:51に水処理装置が停止した件については、安定化センターには情報が入っているが、1F本部には情報が入ってきていない。全体的な情報伝達の仕組みがしっかりしていないので、ぜひ1F本部にも情報が入るようにしていただきたいと思います。それでは、各プラントの状況について説明致します。

(1F発電班) 〇 1号機は 3.5m³/h で注水を継続している。パラメータは安定している。RPV 底部ヘッド温度は 103℃、SRV排気温度は 111℃。2号機は 3.4m³/h で注水を継続している。パラメータは安定している。RPV 底部ヘッド上部温度が 119℃、SFP温度が 35℃である。3号機は 9.0m³/h で注水を継続している。RPV 底部ヘッド上部温度が 127.1℃、SFP温度は 32.0℃である。いずれも通常の範囲内で変動しています。

5,6号機は、昨日、夜ノ森線1号の停止があり、D/G4台を起動した所内負荷への電源供給を行いました。D/G5Aについては、D/G地絡が発生したので、現在点検に入っています。一昨日停電していました5/6号救急医療室ならびに休憩所については、復旧しています。

(1F復旧班) 〇 滞留水移送関係ですが、2号機 T/B からプロセス建屋への移送は停止中。2号機 T/B からプロセス建屋への移送は実施中。

各建屋の水位について、2号機は T/B が 20mm 上昇、立坑が 19mm 上昇、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

3号機はT/Bが9mm下降、立坑が7mm下降している。4号機T/Bは13mm下降している。プロセス建屋については62mm下降しており、OP4445mmである。本日、5/6号ヤード仮設タンクからメガフロートへの移送は、11:00～16:00で実施予定です。また、1、4号機では、SFP循環冷却装置設置工事を予定していて、1号機はモジュールの設置、鉄板敷設、4号機はケーブル敷設を行う予定です。3号機N₂封入装置の繋ぎ込みをPM予定。4号機ウェル水張りは、10:00から130t注水予定です。水処理装置については、ベッセル交換4塔を予定。

(1F土木班)水処理関係、タンク設置工事は、継続となっている。ガラ撤去については、昨日は安定化センターと1F間で重機移動とお伝え致しましたが、本日は1/2号機の残りの部分を実施致します。カーテンウォール撤去工事については、透過防止の準備工事を実施し、またカーテンウォールH鋼の部分で、海中残物の掃海作業を実施致します。5、6号はテトラポットのH鋼据付工事を継続して実施致します。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1号機ではクローラークレーンの組立作業、R/B周辺ガラ撤去、3、4号機では採石路盤作業、4号機SFP下部補強工事では、8分の5段目のコンクリート打設、スラッジ貯槽施設では掘削作業を実施致します。

(保安班)1～4号機取水路透過防止工事に伴う監視強化と致しまして、公安港と物揚場の追加サンプリングを実施致します。3号機R/B開口部でダストサンプリングを11:00と16:00の二回実施致します。

(1F吉田所長)福島第一は、以上です。

(安定化センター)トラブル情報時の即時通報体制については、早急に確立したいと思います。

(冷却プロジェクト部)2点あります。1点目は、3号機N₂封入工事、本日高所作業車をPMから3号機に移動しまして、ホースの繋ぎ込みを致します。2点目は、昨日1～4号機SPF循環冷却装置の報告徴収の指示文書を保安院からいただきましたので、その内容について説明致します。

(冷却プロジェクト部)福島第一1～4号機における使用済燃料プール代替循環冷却浄化系装置に報告の徴収について、昨日20:00に受理しています。報告期限は、明日13:00までとなっています。続いて、内容については、項目として7項目記載があります。循環冷却システムを構成する構造強度および耐震の安全性、冷却能力、漏洩防止策、機能喪失時の対策、放射線防護対策、運転管理および保守管理、その他設置に関わる安全性評価にあたっての必要な事項、以上7項目となっていて、先行機の2、3号機と同様の報告を求められています。報告期限は、明日13:00であるため、遅滞なく対応したいと思います。

(非管理メモ)

本資料は、本部内卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。

(安定化センター■■■■)安定化センターからの報告は、以上です。

(環境影響評価G■■■■)2号機N₂封入時のモニタリング結果と、これから始まる3号機N₂封入時のモニタリングについて報告致します。2号機N₂封入時のモニタリング結果については、窒素封入開始後の5時間のデータでは、モニタリングの変動は、1 μ Sv/h でした。それから、本日まで2週間程度測定を行ってきましたが、モニタリングの変動幅は、最大で5.6 μ Sv/h でしたが、この結果は降雨による影響があったものと考えられます。ダストサンプリング結果について、風下方位で毎日1回測定しています。当日夜の結果ですが、28日の21時、23時、29日の1時三回測定していますが、過去の変動範囲と同じく検出限界未満という結果になっています。グラフの⑧については、高い値となっていますが、こちらは南側産廃処分場近くで土壌汚染の高めにでているところ、それから工事をやっている影響で高めのデータがでたものと考えられます。それ以外は、過去の変動範囲内に収まっています。3号機については、2号機と同じく有意な変動はないと推測されますが、2号機同様にモニタリングとダストサンプリングを予定しています。MP監視については、10分毎に指示値を監視し、その間窒素封入時点から2 μ Sv/h を越える上昇があった場合には、窒素封入との関係を確認します。2 μ Sv/h を越える上昇があった場合には、まず風下方位のモニタリングデータを確認し、その後、総合的にみて窒素封入との関係、降雨の影響等を確認します。2 μ Sv/h の設定根拠は、原子力災害対策特別措置法で定める5 μ Sv/h の約4割に当たる値。また、MP1~5については、6月の1ヶ月の変動範囲が2 μ Sv/h 程度で、この2週間でも2 μ Sv/h 程度で収まっていること。ただし、MP6~8のように、もともと指示値が高いMPに関しては、降雨等の要因によって、大きく変動することがあります。説明は、以上。

(1F吉田所長)この件については、国から了解を得ているということではない？

(冷却プロジェクト部■■■■)昨日、報告徴収の報告書を保安院に提出しています。明日、保安院からの報告徴収の指示文書をいただければと思います。

(1F吉田所長)この監視の考え方については、当社の考え？要は、MPの2 μ Sv/h 程度の変動は、全然有意ではないということを行っている。ある意味では、監視になっていないということを行っているわけ。MP6~8の考え方については、文学的ではあるが、物理的な考え方ではない。

(本店武黒)今晚までに、今の考え方も踏まえて整理するように。

(広報■■■■)本日の報道は、ほとんどがストレステストと再稼働の話。その他2件あります。1件目は、毎日新聞の掲載で、5月14日に心筋梗塞で亡くなられた御遺族の取材をしています。その関係で労災の申請をするという記事が社会面で載っている。2件目は、東京新聞の掲載で、高濃度汚染水の話ですが、なぜこ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の時期に掲載したのかは不明です。本日は、1～4号機SFP循環冷却装置の報告徴収の受領プレスを行う予定です。その他は、ありません。

(OFC田嶋政務官)私は、N₂封入に関して、環境に影響はないと理解していたが、先ほどのモニタリングを監視強化する説明を聞いていると、環境に影響があるという説明をされていたように感じて、影響があるとすると、連絡体制等決めておいていただけないと、現場に作業員がでているので、連絡がとれなくなるので、そこはどう考えたらいいか？

(環境影響評価G■■■■)念のため監視であるため、環境への影響はないと考えている。

(安定化センター小森)先ほど、水処理装置が停止したという件は、たまたま全体会議があったから報告されたが、起きたことに対する1Fへの連絡については、まず始めに実施されなければならない。そこは、反省すべき点である。安定化センターのメンバーは、安定化センターへ連絡する前に、起きたことを1Fに報告することを優先しなければならない。

(本店武黒)これで、本日1回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(本店武黒)それでは、2回目の全体会議を開催致します。最初に安定化センターからお願い致します。

(安定化C■■■■)本日もたくさんの作業が行われました。3号機における窒素封入のためのホース接続作業、同じく3号機原子炉建屋上部においてシマウマによるダストサンプリング採取、4号機SFP冷却システムの工事、原子炉建屋カバーリング、ガラ撤去等さまざまな作業が行われました。また、今朝御報告致しました水処理システムの水漏れに対する調査および復旧作業が行われています。また、3号機窒素封入作業に関連して、今朝MP7, 8のバックグラウンドが高いということが報告されました。そのために、より信頼性の高い測定方法がないか、技術検討が行われています。なお、本日残念ながら2名の熱中症患者が発生し、医務室で治療を受けました。この2人は、体調も良く、クールベスト等定められた装備をしていたわけで、改めてこの暑い環境による作業の難しさを感じました。至急、全面マスクの装着基準の緩和など、作業員の視線に立った方策を講じていきたいと思います。

(1F吉田所長)安定化センターからも報告があったように、今日も暑い状況で熱中症患者が発生してしまいました。また、気を引き締めて参りたいと思います。プラント状況と作業について説明致します。

(1F発電班)原子炉への注水量について、1号機では、3.4m³/hで、2号機では、3.5m³/hで、3号機については9m³/hでした。代表点ですが、1号のRPV

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

底部は103℃、SRV排気温度は111℃です。2号のRPV底部ヘッド上部は116℃、SFP温度は36℃、D/W圧力も29kPaで安定です。3号のRPV底部ヘッド上部は127.4℃、SFP温度は31.6℃となっています。4号は、特にありません。以上です。

(1F 復旧班)滞留水関係ですが、2号については、移送停止中。3号については、T/Bから集中RWプロセス建屋への移送を継続中。各建屋の水位ですが、2号機でT/Bは13mm上昇、立坑は15mm上昇、3号機でT/Bは8mm下降、立坑は5mm下降、4号機でT/Bは2mm下降となっています。プロセス建屋の水位については、51mm上昇でOP+4496mmとなっています。

5・6号の仮設タンクからメガフロートの移送ですが、11時から16時で実施しています。明日は、10時から17時で実施を予定です。

明日の作業ですが、1, 4号機SFP循環冷却システムの設置工事は、1号機でモジュール設置位置に鉄板を敷く作業を継続で実施しています。4号機で建屋の外側に建てるステージの組立、ケーブル布設等を行います。4号原子炉ウェルへの注水については、本日ホースがはずれましたが、明日の朝にホースを交換しまして、リークチェックを行って、注水を実施する予定です。また、水処理設備のベッセル交換3塔を実施する予定です。

(1F 土木)水処理のタンク関係は、継続となっています。ガレキ撤去は、4箱処理をしています。海側の工事ですが、1～4号のカーテンウォール部分について、本日掃海作業を実施しています。明日も引き続き掃海作業となります。シルトプロテクタの開閉は、本日実施していません。5・6号のカーテンウォール、H鋼の撤去を実施致しました。テトラポットの据付は、継続です。

(1F 建築)原子炉建屋カバーの設置工事ですが、1, 3, 4号ともに周辺作業エリアの整備を実施しています。また、1号周辺のガラ撤去、750tクローラクレーンの組立を実施致しました。4号燃料プール下部補強は、8分の5段目のコンクリート打設が完了しています。これについては、7月末の完了に向けて、順調に進捗しています。滞留水関係ですが、プロセス建屋では型枠組立、スラッジ貯蔵施設では掘削工事、1号サブドレンの復旧作業、いずれも継続となっています。以上です。

(滞留水移送チーム)2号機立坑から集中ラドへの移送については、現在停止中ですが、明日10:00に再開致します。今後の2, 3号機T/B建屋から集中ラドへの移送については、後ほど安定化センターから運用について説明していただきます。

(1F 吉田所長)以上、福島第一からの報告を終了致します。

(安定化C■■■■■)それでは、安定化センターより工事内容やトラブルの調査結果等について説明致します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(冷却プロジェクト部 [REDACTED]) 3号機窒素注入のためのホースの繋ぎ込みとその報告を致します。

(冷却プロジェクト部 [REDACTED]) ※書画にて説明

本日は、3号機窒素封入のための接続工事を行っていますので、概要を報告致します。本日の窒素封入作業ですが、高所作業者を大物搬入口から機器ハッチまで移動しまして、そこからグレーチング上部に人が上がります。一方、繋ぎ込みのホースですが、タービンの松の廊下までホースを事前に引き込んでおいて、それからホースを2名で引き込んで接続を行っています。作業の実績ですが、13:30に高所作業者を原子炉建屋内に移動開始しまして、13:34に高所作業車から2名がグレーチング上部に移動しています。その後、ホースの接続作業、バルブ開閉作業を行いまして、13:43にグレーチング上部での作業を終えて、もう一度高所作業者に降りて、13:44に移動を開始して、13:45に大物搬入口から退避しています。今回作業した人は、社員が10名ということで、原子炉建屋に入った人は5名です。あと、協力企業3名でバックポット(ロボット)の操作をしてもらいました。(以降、書画内容の説明)

作業は、15分で終了していますが、計画線量10mSvということで予定していましたが、最大線量13.5mSvということで3.5mSvオーバーしてしまいました。これについては、大変申し訳ありません。当初は、グレーチング上部まで5分で行けるかと思っていたが、実際実施してみると増締めや固縛等で8分程かかり、雰囲気線量が60mSvということで、計画をオーバーしてしまいました。以上。

(放出抑制プロジェクト部 [REDACTED]) ※書画にて説明

1～4号機T/Bにおける雨水対策について処置状況とこれからの作業について説明致します。1号機T/Bについては、ベンチレータ3箇所(蓋)が外れていたので復旧致しました。2号機T/Bについては、ルーフドレンから建屋内に月当たり170m³程度入っていましたが、土嚢で固めることによって処置が完了しています。4号機T/Bについては、2号と同じくルーフドレンから建屋内に雨水が入っていたので、土嚢を設置し、ルーフドレンを閉塞しました。3号機T/Bについては、屋根に大きな穴が開いていて、人力では作業不可能であるため、地組した仮設屋根をクレーンで取り付ける予定です。作業では、作業員4名が屋根に上って、正しく屋根を取り付けるサポートを行います。来週18日月曜日に作業を実施する予定です。

(水処理プロジェクト部 [REDACTED]) ※書画にて説明

水処理システムの漏洩事象について説明致します。7月10日に発生致しました漏洩事象と同じ箇所(薬液注入ライン)から漏洩が発生致しました。薬液タンクから凝集剤を注入して、プロセスラインへ注入する薬液のラインとなります。10日は、鋳鉄に亜鉛メッキしたものにホース接続部を交換しています。しかし、配

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

管のねじ込み部分と接続部分に腐食が発生してしまい、ねじの部分から漏洩が発生してしまったのが今回の事象です。そこで、ホース接続部をステンレス素材に変更しています。本日、ホース接続部を変更した後、漏洩確認を行って、システムを復旧しています。以上です。

(環境影響評価チーム)

3号機窒素封入に関して、窒素封入中に放射能等の念のための測定を実施致します。しかしながら、MP7, 8のバックグラウンドが高いということからMP7, 8の代替箇所での測定などモニタリング方法について検討しているところです。代替箇所については、MP7は野球場(約 $35 \mu\text{Sv/h}$)、MP8は展望台(約 $45 \mu\text{Sv/h}$)となっています。

(滞留水移送チーム) ※書画にて説明

2, 3号機タービン建屋、プロセス建屋水位シミュレーションを説明致します。これまでの実績では、2号機ポンプAでは約 $20\text{m}^3/\text{h}$ 、3号機ポンプでは $21\text{m}^3/\text{h}$ となっている。現在水処理システムの流量が、約 $36\text{m}^3/\text{h}$ で処理しているので、プロセス建屋の水位バランスを考えると、ポンプを2台運転していれば移送量よりも処理量が少なくなることはないので、順次プロセス建屋の水位が上昇してくるということになります。基本的な水位の調整としましては、3号機については一定運転して順次水位を下げていきたいと思えます。2号機においては、起動停止して、プロセス建屋の水位をコントロールしています。例えば、2号機のT/B水位がOP+4950mmになったら移送ポンプを停止して、OP+3600mmになったら移送ポンプを起動するという運用です。報告徴収上は、OP+5600mmまで移送可能となっていて、これまでの実績ではOP+5010mmとなっていますが、汚染範囲の拡大防止の観点からOP+4950mmを目安として水位をコントロールしています。また、2号機立坑の一番低い出口が、OP+4100mmとなっていますので、それに十分余裕を持った形でOP+3600mmを目安として水位をコントロールしています。従いまして、今までの実績では、7月7日に2号機T/B水位がOP+4950mmに近づいたので移送ポンプを停止しました。これにより、2号機の移送ポンプが停止したので、プロセス建屋の水位が下降し、今日の夜中にOP+3600mmを越える予測で、明日(13日)10時から移送ポンプを起動する予定です。今後、7月22日の夜中に再びOP+4950mmに到達する予測ですので、22日18時に移送ポンプを停止して、その後、7月28日19時に移送を再開する予定です。最後に、7月23日9時~19時にHTI→プロセス建屋への移送を予定しています。HTI建屋は、報告徴収ではOP+4200mmまで移送可能としています。OP+4200mmというのは、地下1階の床面がOP+4200mmとなっているので、地下2階に収めるということになります。地下1階の床面厚さ500mmと若干の余裕を考慮して、OP+3600mmを目安に管理

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

しています。OP+3600mmに到達するのが、7月23日と予測しているため、200mm程度プロセス建屋に移送します。200mm程度の移送であるため、5日に1回、HTI建屋からプロセス建屋に移送を行っていくことになります。以上。

(安定化C■■■■)安定化センターからの報告は、以上です。

(1F吉田所長)N₂注入ラインのホース接続に関しては、大変ありがたいですが、やはり計画線量越えというのは、あまり褒められたものではない。要するに、工事計画を立てるときに計画線量が10mSvだと、8mSvでアラームがなると思うが、アラームがなった後の処理はどうなっているかということが問われる。計画線量を守ることの徹底を図っていきたいと思う。

(本店武黒)これで、本日1回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/13(水)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(本店武黒)7月13日、第1回目の全体会議をはじめます。まず安定化センターからお願い致します。

(安定化センター小森)昨日は、水漏れも含めて色々ありましたが、安定化センターの業務の基本と致しましては、まだ反省する点があります。通報の問題、発電所で起きたことは、速やかに発電所の人に伝えること。また、熱中症については、昨日安定化センターメンバーも熱中症になっていて、クールベスト等も着用していても発生しているということは、熱中症になるリスクは高まっていると考えられる。安定化センターメンバーは、直接発電所に行って、作業管理や直管作業を行っているため、これまでも注意喚起は行っていますが、さらに注意喚起を徹底したいと思います。それから線量管理の観点から、自分の身は自分で守るために事前にチェックができるかということがポイントである。発電所でも十分徹底されていると思うが、安定化センターも含めて再確認したいと思う。あと、今日は水処理関係の週報の日なので、後ほど内容を説明したいと思います。

それでは、プラント状況と作業内容について、1Fから説明をお願い致します。

(1F吉田所長)本日の天気は、晴れ。気温は、30℃を越えるとの予報です。改めて熱中症対策を周知していきたいと思います。トピックスとして、5号機RHRSのカナフレックスの配管からヒビ割れがみえており、危険箇所を確認しましたので、ホース取替作業を行っています。本作業に伴って、5号機の冷却機能が一時ストップしています。本件については、後ほど説明致します。あと、安定化センターからありました作業管理の話ですが、昨日の熱中症等々の話を聞きまして、事前に何を実施したのかを記録しておかなければならないが、当社直営工事があいまいになっているので、ルールの再徹底が必要である。(協力企業は、防護指示書等に作業班長が作業内容を記録している。)安定化センターと合わせて運用を決めたいと思う。

(1F発電班)本日早朝5:43に地震がありました。福島第一は、水平、垂直ともに10ガル以下で、プラントに異常はありませんでした。1～3号機のプラントパラメータは、安定しています。原子炉注水については、1号機は3.5m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッド温度は103℃、SRV排気温度は112℃。2号機は3.5m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッド上部温度が123℃、SFP温度が35℃です。3号機は9.0m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッド上部温度が126℃、SFP温度は32℃です。

5号機仮設RHRSポンプについては、6:30にSHC(シャットダウンクーリング)を停止しています。停止時の炉水温度は42.7℃で、最新9:00の炉水温度は45℃となっています。なお、午前中に作業終了する予定であるため、50℃近辺

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で落ち着くと思われます。

(1F復旧班)滞留水移送関係ですが、各建屋の水位について、2号機はT/Bが19mm上昇、立坑が20mm上昇、3号機はT/Bが10mm下降、立坑が7mm下降している。4号機T/Bは15mm下降している。プロセス建屋については69mm下降しており、OP4427mmである。作業状況ですが、2号機T/Bからプロセス建屋への移送は、本日10:00から再開致します。4号機ウェル注水については、ホース交換後にリークチェックを実施して、10:00に注水再開致します。5号機仮設RHRSポンプについては、6:30にRHRポンプを停止しました。RHRSポンプは、RHRS(B)、RHRS(C)と二台ありまして、RHRS(C)ポンプについては、養生が終了しまして、8:05に元の場所にホースを戻しています。本日、5/6号ヤード仮設タンクからメガフロートへの移送は、10:00～17:00で実施予定です。

(1F土木班)無人化ガラ撤去については、3、4号機T/B海側を実施予定です。なお、汚染水処理のためのタンク設置作業については、継続実施です。海工事関係ですが、カーテンウォール撤去工事のうち5、6号カーテンウォールのH鋼の切断・撤去を実施致します。また、1～4号機については、海中残物の掃海作業を実施し、テトラポットのH鋼据付工事も実施致します。

(1F建築班)基本的に継続ですが、R/Bカバーリング関係で、1、3、4号機では、共通で作業ヤードの整備、それに合わせて1号機ではクレーンの組立作業、R/B周辺ガラ撤去、3号機では埋設トレンチの補強を実施致します。あと、昨日安定化センターから説明がありました3号機T/B屋根塞ぎについては、来週実施に伴って、5、6号ヤードで屋根の地組を継続して実施致します。4号機SF P下部補強工事では、8分の6段目のコンクリート打設を実施致します。滞留水関係は、プロセス建屋では型枠組立、スラッジ貯槽施設では掘削作業、1～4号機サブドレンポンプ復旧と資材搬入を実施致します。

(1F [REDACTED])本日、防衛省の鈴木審議官が視察に来られます。お昼過ぎから午後にかけて現場の案内を致します。

(1F吉田所長)福島第一は、以上です。

(安定化センター小森)水処理については、水曜日が週報となっています。

(水処理プロジェクト部 [REDACTED])※書画にて説明

滞留水の処理状況について、説明致します。7月11日のデータですが、各建屋に溜まっている水の貯水量は、1～4号機合計で約97100tです。この滞留水については、各建屋の水位レベルに合わせてプロセス建屋、HTI建屋に移送を行っています。この二つの建物それぞれの貯水量は、約20400tです。それで、プロセス建屋に溜まっている水については、水処理装置で処理をしております。水処理装置での累積処理量は約19740tです。現在、水処理装置で

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

放射性物質を除去しておりまして、セシウム 137 で $10^5 \sim 10^6$ オーダーで除去ができています。水処理装置で放射性物質を除去した水については、塩分が含まれていますので、淡水化装置の方で処理をしています。淡水化装置は、入口では約 16000ppm、出口では、約 22ppm といった状況になっています。その後、バッファタンクを経由して炉注されていますが、注水に淡水を使った累積水量については、約 4594t です。福島第一で説明があった炉注流量は、1、2号機では $3.5 \text{ m}^3/\text{h}$ 、1、3号機では $9.0 \text{ m}^3/\text{h}$ で、こちらの水には処理した淡水が使用されています。本日、水処理装置のうちセシウム吸着装置にてベッセル交換3塔を予定しています。11:00頃にセシウム吸着装置を停止しまして、フラッシングを行った後、バルブの切替操作を実施致します。以上です。

(安定化センター小森)安定化センターからの報告は、以上です。

(広報) 本日の状況は、昨日公表しました除染装置からの水漏れ、熱中症、3号機窒素封入の準備ができていますといった状況について各紙取り上げています。その他大きな話題としまして、東京新聞の1面でSBOの審査基準が昔から議論されているが、深く検討されていないといった批判的な記事がでていて、また、朝日新聞が全体的に脱原発の論調を大きく取り上げています。本日会見では、水処理の週報と被曝線量に関する厚生労働省への報告を予定しています。以上です。

(本店武黒)これで、本日1回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00 (本店武黒)7月13日、第2回目の全体会議をはじめます。まず安定化センターからお願い致します。

(安定化センター小森)本日は、企業の方の交通事故がありまして、立ち入り禁止区域で作業している我々も含めて、交通安全には注意をしなければならないと思っています。命に関わる話にはなりませんでしたが、病院に搬送された方もいますので、詳細についてはもっと確認する必要があると思います。6号線の榎葉町のあたりで、路肩に乗り上げて横転したということを知っています。非常に残念な話ですが、我々も気を引き締めて安定化センターメンバーや企業の方々に注意喚起致します。それから、水処理関係では、何回も水漏れということでご心配かけて申し訳ありませんが、2回水漏れしたところと類似箇所(硫化鉄を入れる注入箇所)でリークが発生しており、線量も高いことから線量低減対策を合わせて検討していこうと思ったところで、発生してしまいました。環境線量が高いところですので、手順と段取りを考えています。物としては、繋ぎ込みの部分を取り替えるということがわかっていますが、手順と段取りを考えています。後ほど、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

場所についての説明をさせていただきます。それから、3号機窒素封入関係の作業については、昨日、保安院への報告徴収等々で説明したとおり、MP7, 8のバックグラウンドが高いところでの測定はどうするのか、という点については、もう少しバックグラウンドが低い代替測定箇所を測定する方法を考えましたので、最終的に保安院の方に確認していただければ、その後、関係箇所にも確認いただければと考えています。代替箇所の考え方も含めて後ほど説明致します。発電所のプラント状況と作業内容について説明を御願ひ致します。

(1F) 本日は、熱中症の発生はありませんでした。ただし、今ほど説明があったように、残念な交通事故が発生しました。直ちに、協力企業の方には周知致しました。また、明日、安全推進委員会がありますので、再度周知することで、交通安全の再徹底をしたいと思っております。本日は、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。では、各班からプラントの状況についてご説明致します。

(1F発電班) 1～3号機のプラントパラメータは、安定しています。原子炉注水については、1号機は 3.5m³/h で注水を継続しています。RPV 底部ヘッド温度は 103℃、SRV排気温度は 112℃。2号機は 3.5m³/h で注水を継続しています。RPV 底部ヘッド上部温度が 123℃、SFP温度が 35℃です。3号機は 9.0m³/h で注水を継続しています。RPV 底部ヘッド上部温度が 126℃、SFP温度は 32℃です。プラントのトピックスと致しまして、本日朝方より、5号機仮設RHRSポンプのホース補修作業に伴って、RHRS ポンプ2台を停止していました。こちらに関しては、4時間程停止していましたが、温度上昇は、MAX49. 3℃ということです。現在は、RHRS ポンプはインサービスとなって、炉心冷却が進んでいます。

(1F復旧班) 滞留水移送関係ですが、各建屋の水位について、2号機は T/B が 5mm 下降、立坑が 7mm 下降、3号機は T/B が 4mm 下降、立坑が 4mm 下降しています。4号機 T/B は変化なし。2号機 T/B からプロセス建屋への移送は、本日 10:09 に再開しています。4号機ウェル注水については、12:45 に水漏れを発見したため、ポンプを停止しています。7月15日、今使用しているカルナフレックスから消防用のホースに交換して、再注入を考えています。TAF まで約9日間と算出していますので、安全上問題ないと考えています。

※以下、書画にて説明

5号機ですが、本日、ホースを裸にして吊っていたのですが、ゴムマットをホースに巻いて、また、コンクリート箇所にゴムマットを敷いて、ホースが直接コンクリートの角にぶつからないように養生しました。さらに、パイプサポートの干渉部に養生を巻いています。今後、パトロールを行って、擦り傷等あった場合には、早めに補修を行いたいと思っております。

滞留水装置については、凝集装置の一部に漏洩が確認されたので、現在検討しています。あと、5/6号ヤード仮設タンクからメガフロートへの移送は、10:00

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

～17:00で実施しています。

(1F土木班)無人化ガラ撤去については、3,4号機T/B海側を実施致しました。本日は、ガラのカッティングと集積を行っています。汚染水処理のためのタンク設置作業については、計画通り終了してまして、明日も継続実施です。

海工事関係ですが、5,6号カーテンウォール撤去工事やテラポット据付工事を実施していますが、こちらも計画通り終了しています。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1,3,4号機では、共通で作業ヤードの整備、それに合わせて1号機ではクレーンの組立作業、R/B周辺ガラ撤去を実施しています。4号機SFP下部補強工事では、7月16日、8分の6段目のコンクリート打設に向けて、型枠・鉄筋の組立を行っています。3号機T/B屋根塞ぎについては、5,6号ヤードで屋根の地組を継続して実施致しました。滞留水関係は、プロセス建屋では開口部閉塞のための型枠組立、スラッジ貯槽施設では掘削作業、1～4号機サブドレンポンプ復旧と資材搬入を実施致しました。

(1F ■■■)本日、防衛省の鈴木大臣官房審議官ら9名が視察に来られて、1時間程現場を視察いただきました。福島第一からは、以上です。

(安定化センター小森)2点程、書面を使った説明をさせていただきます。最初に、水処理について説明をお願いします。

(水処理プロジェクト部 ■■■) ※書面にて説明

本日漏洩した箇所について説明致します。昨日漏れた箇所は、2段目の沈殿分離装置の入口のところで漏洩が確認されました。こちらは、薬液タンクから凝集剤を注入するラインで、1段目にも凝集剤を注入するラインがありまして、配管とホースを繋ぎ込む部分から水が漏れているということで、フラッシングをしている最中に発見されたということでポンプを停止しています。これと同じように、配管を繋げて接続している類似箇所としまして、汚濁油処理装置というのがあります。ここにホースを接続している部分があります。この系統には、配管にねじ込み式の継手が、全部で3箇所あります。昨日、三日前に漏れた部分については、ステンレス製に取り替えています。残り2箇所の部分(本日漏れた箇所含む)については、ステンレス製の継手の手配ができて、既に現場に届けられています。あと、先ほど冒頭でも説明がありましたが、線量が高い場所もありますので、取替方法・ステップを検討中です。線量が高いのは分離装置の方で、汚濁油処理装置の方は比較的線量が低いということで、後者を最初取り替えまして、その後前者を取り替える予定です。現在は、手順の確認を行っています。それから、最近このシステム全体の流量が減少しているということで、報告をさせていただきますが、配管のレイアウト等を考えて、推定している原因がいくつかあります。一つは、凝集沈殿装置の後の処理タンク3つ(書面では1つだけ示している)を繋いでいる配管が金属製のジャバラで接続していて、圧損を増やしてしまう要

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

素を持っています。もう一つは、SPT へ送るポンプと SPT の間で空気が入ってしまうことが考えられる。対応が纏まり次第、説明したいと思います。

最後に、セシウム吸着装置のベッセル交換を3塔予定していましたが、ベッセルを一時仮置きするところのクレーンが調子悪いために、まだ交換を実施していない状況です。不具合については、クレーン走行装置の車軸をとめている箇所が外れているのを確認しています。明日メーカーの技派を呼んで、修理をした上で、明日に本日分のベッセル交換を行う予定です。

(安定化センター小森) 水処理装置については明日進捗を説明すること、クレーンについては、明日午前中に修理をするということですので、明日の夜の会議で進捗を説明致します。流量低下問題については、システム図をわかりやすいものにして、作業時期も決めて、明日の全体会議で説明したいと思います。2つ目は、3号機窒素封入関係について補足説明致します。

(保安環境部) ※書画にて説明

3号機窒素封入に関しては、1, 2号機と同様に、3号機についても放射線環境のモニタリングを予定しています。先日、MP7, 8のバックグランドが高いという報告を致しましたので、代替測定箇所の考え方について説明致します。書画にて代替測定箇所の MP7, 8を示します。MP6と同等の $40 \mu\text{Sv/h}$ のバックグランドとなっている箇所を2点決定しています。当該箇所については、可搬型の測定を24時間を置いて測定しています。MP7はグランド、MP8は高台となっています。以上です。

(安定化センター小森) 窒素封入の状況について、補足はありますか？窒素封入した段階で測定するというのが当該箇所ということですが、全体の補足をしてもらいたい。

(安定化センター) 保安院の方に、報告徴収の内容を精査していただいているところです。かなり審査は進んでいますが、最終的な判断は頂戴していません。今の状況を踏まえて、了解していただけるかわかりませんが、我々として明日20時に窒素封入を行う段取で準備を進めようと考えています。自治体への説明は終了しています。あとは、保安院の判断を待っているところです。以上です。

(安定化センター小森) 状況が進展すれば、明日の朝報告したいと思います。最後に、SFP 代替冷却浄化系の補足をしてもらいます。

(冷却プロジェクト部) 1~4号機 SFP 代替冷却浄化系の報告徴収については、本日20時に保安院に提出して、受理されています。

(施設基幹部計装設備グループ) 2, 3号機格納容器圧力測定の信頼性向上について説明致します。格納容器圧力については、これまで2, 3号機共に R/B 2階にあつて、校正ができない状況でした。そこで、より真値近い値を測定する

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

方策を検討してきました。明日、2号機については指示計を取り付けまして、指示値がみえるようになりますが、1日置いて、15日から正しい値を読んできたいと思います。今後は、N2注入ライン圧力指示計の指示値を参考として、本節の圧力伝送器の信頼性評価を行っていきたく思います。以上です。

(安定化センター小森)安定化センターからの報告は、以上です。

(本店広報班)中央のマスコミのプレス状況について報告致します。本日午前中は、RHRS ポンプ停止について説明しましたが、事前に連絡をしていたことにより、20分程度で説明が終了しています。午後は、水処理関係が主な話題となりまして、溜まり水の貯蔵と処理について説明しています。合わせて、水処理システムの稼働率について説明しています。続いて、午前中説明しました被曝者の線量評価についてですが、本件については、まだ厚生労働省に報告できていない状況で、今後のプレス発表となります。現在は、16時30分～18時30分で会見が終了していますが、追加で SFP 代替冷却浄化系の報告徴収における安全性・効果について説明をしています。

(保安班)厚生労働省に報告ができていない状況で大変申し訳ありません。現在、線量管理チームが厚生労働省に報告書を提出に行っているところです。

(本店武黒)これで、本日2回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/14(木)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森)水処理については、凝縮沈殿槽の上流側の薬液槽ラインについては、現場の状況を確認しているが、スラッジを排出しているものの、現場の環境条件は改善されていない。繋ぎ込んでいるT字管のところのプラスチック部分が先端から取れる形になっているので、その中に入った部分を簡単に取り出すというところが第一ステップで、短時間にやらなくてはならない。時間があれば簡単に出せるが、そのあたりをモックアップをしながら検討しているところ。作業計画についてはこれでやるというところまでは至ってなく、システム全体としては停止中。後ほどその状況と、昨日、流量低下に関してはエアだまりではないか、ということについて後ほど書画を用いて説明させていただく。修理のほうと、こちらの作業(エアだまり)については、修理を優先すると考えていて、いつ着手するかについては、修理が終われば、明日にでもエアだまり抜き対策等の出来る準備は進めて行きたい。また、3号機のN2封入については、昨日の全体会議でもご紹介したとおり、段取りが午前中におわり、関係各所への了解が得られれば、夜間にでも出来るように準備をしている。状況については夜の全体会議で紹介したい。

(1F ■■■) 晴れのち曇り。気温が30度を超える。降水確率が午前中0%、午後20%。引き続き熱中症発生に十分気をつけたい。プラントの状況は今朝ほど、1号機の炉注流量が3.5m³/hでずっと安定していたが、今朝5:21に3.2m³/hに低下した。直ちに現場で調整を行い、3.5m³/hを回復して、8:00現在、3.5m³/hでキープしている。1号機の炉注水の低下については、先週、3日、4日と2日続けて発生している。断続的に、また明け方での発生であり3回目なので、今後安定化センターと低下現象の原因究明について、ラインナップや流調弁の性能がきちんと出ているかなど、継続して調整したい。

(1F発電班)1号機については、今朝5:30に3.2→3.5m³/hに流量を上げている。圧力、温度については安定しており、RPV底部が103℃、SR弁排気温度については112℃。2、3号機は安定している。2号機は3.5m³/h、3号機は、9.0m³/h。RPV底部ヘッド上部温度が2号機は124℃、3号機は126℃。SFP温度が2号機は37℃、3号機は31℃で安定。56号機は昨日、仮設のRHRSポンプの吐出配管の修理以降、順調に炉水の冷却を続けている。

(1F復旧班)水移送関係。2号機で昨日から移送を再開しているので、2号機はそれぞれT/Bが18mm、立坑が22mm下降、3号機はT/Bが18mm下降、立坑が18mm下降。4号機T/Bは14mm下降。プロセス建屋については192mm上昇。HTIは10mm上昇。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

56号機については、Tb/Bの地下水は、メガフロートへの移送を本日10時～17時まで実施する。5号機のRHRSについては、昨日の仮設の修理後、順調に動いている。本日は、明日は本設のインサースビス予定のため、水張り等を行う。また昨日、4号機ウェル注水関係で、TAFまで9日間とお伝えしたが、水の蒸発量についてチームのコミュニケーションが悪く、1日10cmと50cmとを違えてたどつわかり、実際は30日余裕があることが分かったため訂正する。

(1F土木班)無人化ガラ撤去については、3, 4号機T/B海側道路付近を実施予定。また、汚染水処理のためのタンク設置作業については継続実施。海工事関係ですが、カーテンウォール撤去工事のうち5, 6号カーテンウォールのH鋼の切断・撤去を実施致します。また、1～4号機については、海中残物の掃海作業を実施。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1, 3, 4号機では、共通で作業ヤードの整備、1号3号では基礎部分に設置する版の設置、3号機 Tb/B の屋根の塞ぎ工事の屋根材の地組、4号機 SFP 補強の6/8段目の型枠の段取り、滞留水関係では、プロセス建屋では開口部の型枠の組み立て、スラッジ貯蔵で掘削、1～4号機サブドレン関係で来週からの作業に向けた資材の搬入を行う。

(1F保安班)昨日の13～14時で正門可般型MPが欠測している。ダウンスケールとなっている。その後、22時頃～正門の可般型 MP が再度欠測している。この際には受信装置の故障が発生している。現在、可般型 MP については、事務本館南側、西門、正門とあって、一方モニタリングカーを西門に配置していることから、正門と西門の受信装置を本日入れ替えて対応したいと考えている。なお、受信装置自体はKサイトからお借りできる。

(安定化センター小森)それでは水処理関係の補足説明について。

(水処理■■■■)(書面にて)昨晩行いました作業の状況について。凝集沈殿装置のうち昨日もれた部分はこの部分、また類似箇所はこの部分。比較的線量が低いことから、こちらを取り外し、昨日5～10分でSUS製のものに交換を実施。もう一方は雰囲気線量が高いということで、作業時間が制約されていること、構造的に、継ぎ手が切れてネジの部分がステンレスが残ることになるので、モノとしては堅いので、苦勞しているところもあり、短時間で取り外すことも出来ないということで、現在これを速やかに取り外す方法を考えている。新たなジグ等を用意して、作業性の確認が取れ次第、抜き取り作業に入りたい。また系統全体の流量が減少していることについて、今後の対応策を検討している。一つは凝集沈殿装置の最下流にある処理水タンクからポンプで下流側に移送して更に別のタンクに移送するという系統構成になっているが、凝集沈殿装置の処理タンクについてはフィルタを介して流入するが、構造としてはエアが混入するような構成となっていると考えられること、これをポンプで移送してあげると、この先で立ち上がった

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ている部分があるので、この配管部分でエアだまりが発生して流量が出ない状況であると考えている。またポンプの出口側にバルブがあって、これにスケール等の付着により圧損が増加することが考えられる。このポンプの吐出弁を、現在の調整開から全開にすること、または水位調節弁を調整しながら、エアだまりを上流側タンクまたは下流側タンクにエアを移動させること。また処理水タンクと欠いた部分について、3連のタンクになっていて、配管で繋いでいるが、入り口のタンクから流入しているが、こちらの連絡管は長さがあるので、微正電極があり、微正電極を取り替えること、またジャバラ製の配管になっているので、内面の凹凸の少ない圧損が少ない配管に取り替えること。タンクの水位が上がると気層部が圧縮されるので、こちらにもベント管を付けて、水の流れが良くなるように改造することを考えている。またタンク自身、出口からポンプでSPTまで移送するのが～があること、システムが停止したときに、水が引っ張られる可能性があることで、エアが引っ張られる可能性があることからバルブを閉めてエアが引っ張られないようにする対策。最終的にはシステム全体で流量が回復するか確認したい。ちなみにタンク自身は2階にあって、凝集沈殿装置は処理タンクから1階にあり、高い部分にはエアが溜まるエレベーション関係になっている。現在36tまで流量が低下しているが、定格が50t程度であるので、こういった要因分析に基づき、対策を採っていきたい。本件については、継ぎ手の対策が終わり次第、対策をとっていきたい。本日はベッセルの交換作業はなし。昨晚報告したがセシウム吸着塔の仮置き場にあるクレーンの車軸が外れていることが確認されたので、メーカー技派の確認を得て、交換作業を実施したい。

(武黒)今の雰囲気線量は？

() 120~150mSv/hくらいある。

(武黒)大変高いので気をつけて実施して欲しい。

(本店保安班) (資料配付あり。参照方) 昨日厚労省殿よりご指示いただいていた件について五点ほど報告させて頂いている。一点目は外部被ばく100mSvを超える作業者の内部被ばくを確定させること。二点目は、内部被ばくの未測定者の特定作業の進捗について(3月分)、三点目は4月の内部被ばくの確定作業の一次評価結果について、四点目は5月に新規入域をした作業者の外部被ばく評価結果、五点目は適切な放射線作業届けの作成、体制の確立することの報告となる。簡単に説明すると、内部被ばくが100mSvを超えたものについては6/20の段階で42名居たが、最終的には51名となった。JAEA(東海)にてGE半導体検出器で精密に測定した結果、100mSvを超える人は12名となった。6名が250mSvを超えたが残りの6名は100mSvを超えたが250mSvは超えなかった。三、四月分についての身元が確定していない、協力企業との関係で本人が確定していない方々についても、計画的に測定していきたい。3月

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

については100mSvを超えた人が9名。4月については100mSvを超えた人が四名。最大で65.9mSv。4月では緊急時に比べて、計画内で作業がされてきた。5月以降は100mSvを超えた人はいない。最大で41.59と、さらに計画的に作業が遂行されていることとなる。放射線作業届出については、これまで1F保安班で提出していたが、体制を見直し、作成については主管Gが作成するが、熱中症関係は、防災安全G、業務管理G、放射線管理については、放射線管理Gが見る、と体制を充実した。

() 関連して、昨日厚労省に提出している際に五点要請あり。1. 元請け事業者の教育が十分でなければ、直接指導したい。2. 身元が分からないものは、継続調査を早急に。3. 放射線作業届出の審査について、厚労省側も迅速に対応したい、よってJビレッジを一部借りたい。月曜、木曜の午後に1Fのスペースをお借りしたい。4. 外部被ばくの放射線量について、紙でその場で通知を出来るようにしてほしい(八月くらいから)。5. Jビレッジで行っている放射線従事者教育で、労災補償の資料(厚労省作成)についても、併せて配布してほしい。以上5点の要請あり。

(広報) 本日の報道状況は、アレバ処理システムの漏えい関係。週間の状況を報告しているが、稼働率を70%を見込むと下降修正した書きぶり。また保安班からあった内部被ばくの人数が変わったこと。変わった所では、Jビレッジでのお弁当の有料化(東京新聞)。本日の予定は、東芝京浜事業所でサリーの現場公開、また柏崎で所長会見において、津波対策についての公表。3号機の窒素封入について、NISAの了解を得次第、開始のプレスをしたい。

(本店武黒)これで、本日1回目の全体会議を終了します。本日も現場は晴れて大変だろうと思いますが、熱中症に気をつけて作業して頂きたい。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化センター小森)水処理関係では修理を人海戦術で漏えい箇所の修理を行い、18:30ではインサービス状況。後ほど報告。明日、流量低下対応をしたいと考えている。また3号機のN2封入を本日20時に実施したいと考えていて、後ほど、監視パラメータや体制を報告したい。また本日明方の炉注の変動があったことの現時点での考えを報告したい。

(1F) 本日気温が非常に高かったが、熱中症は発生しなかった。ただ残念ながら人は1名発生した。明日以降気をつけていきたい。プラント関係では、バッファタンクのレベルが下がってきたので、濾過水タンクからの補給を一時的に実施している。滞留水については2号機からプロセス建屋への移送を継続している。

(発電班) 炉廻りは安定している。1号機、2号機:3.5m³/h、3号機:9.0m³

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

／h。1号機は今朝も流量調整を実施以降は大きな変化はない。温度パラメータは、1号機はRPV底部で103℃、2号機は124℃、3号機では125℃。二点ほど気になること有り。1点目は、SFP温度、3号機は31℃継続だが、2号機は昨日は35℃程度で推移していたが、今朝方37℃でちょっと高めであった。夕方5時の時点で39℃に上昇している。2号機と3号機で何が違うのか、傾向監視をしていこうと考えている。また2点目は3号機のSFPスキマーレベルについて、計装Gの確認を得て計算機でレベルを出しているが、スキマーのレベルの下降が0.5m/日程度あり、これは鉛筆の芯1本くらいの量になる。関連パラメータについても低下している傾向にある。これについて、安定化センターと相談したい。56号は特段変化はなし。

(1F復旧班)水移送関係。2号機はタービン・トレンチは11mm、12mmの下降。3号機はタービン・トレンチは7mmと6mmの下降。4号機は5mmの下降。受け入れ側の集中ラドでは109mm上昇。OP4802となり、明日の朝には管理値である4950を超える可能性があるため、その際には2号機の移送を止める形となる。滞留水処理関係では、凝集処理装置の継ぎ手部の補修は12:07に終わって、その後L/T、流量調整を実施し、18:30に流量が約45t/hで安定したので、インサビスとした。ただ、バッファタンクは処理水として少ないことから、バッファタンクの水位が約3.8mに低下していて、18:43に濾過水からバッファタンクへの補給実施。

5号機RHRS(B)水張りL/Tを本日実施。明日、RHRS(B)ポンプ、本設ポンプとなるが、インサビスの予定。6号機は地下滞留水について、タンク経由でメガフロートへの移送を10時～17時で実施。

(土木)無人化装置のガラ撤去、本日34号機T/B海側を実施し、コンテナ2個分の撤去。明日も同じ場所で実施予定。汚染水処理のためのタンクの設置については、本日計画分については実施。カーテンウォールの撤去で本日56号機のカーテンウォールのH鋼部位の切断・撤去。1～4号機の透過防止鋼の設置準備工事として、1～4号機のカーテンウォール付近の改装作業を実施。改装作業については明日、取水路開渠内を実施する。取水路開渠内に作業船を入れる必要がある。このため、シルトフェンスを一時開閉する予定。

(建築)カバーリング準備工事は1号機で750tクレーンの組み立て、ガラ撤去、34号機で路盤の整備、鉄板引き込みを行っている。4号機プール下補強については、明後日の6段目のコンクリート打設に向けて、型枠鉄筋工事を行っている。3号タービンの屋根塞ぎについては、18日の塞ぎに向けて、ピット内補強屋根材の地組を実施。滞留水関係では、プロセス建屋で小開口の塞ぎのコンクリート打設を実施。56号機開閉所のシャッター取り付け実施、明日12号機開閉所のシャッター取り付けを行う。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

() 復旧班からの報告があったが、明日56号機、上手くいけば5号機については燃料プールおよび原子炉側も、本設の設備で冷却出来る状況が整う。

(小森) 水処理設備関係の報告について。

(水処理班) 水処理装置において、本日AMに配管のねじ込み部分を抜き取るジグを用意して配管抜き取り作業を実施、15:54にアレバ起動、順次下流側に水張りを実施。漏えい確認を行い問題無いことを確認し18:30にインサービス。明日はAM5:00~14:00停止し、今朝説明した、流量低下に関する点検調査を実施する予定。具体的には凝集水タンクのレベル調整をしながら、配管のフラッシングを行うこと、処理水タンクの連絡配管の改造、凝集沈殿装置からSPTに行くラインの配管のエアだまりを無くすためのフラッシングを行う予定。またこの作業期間中に、7月末に装置を設置して8月頭から運転開始を予定しているサリーの設置による制御盤の改造を行う。

(小森) サリー側の改造工事により、停止がかかる。そう永くない時間でまた停止となるので、ROを運転するするのか、再生水の製造のバランスを見て濾過水を利用しながら実施してほしい。

(水処理班) セシウム吸着装置の仮置き場の車軸の修理については終了し使える状態になったので、明日は系統フラッシングを行い、ベッセルの交換を行う。

(小森) 3号機のN2の封入に関して説明を。

() 3号機N2封入については本日13:30にNISAから報告徴収に関して妥当の評価を得ている。また、関係各所の調整も完了しているので、20時より封入を実施したい。流量は14Nm³/H。(書面参照)監視パラメータと停止判断基準は2号機のとときと同じ。データ採取は最初の1Hは10分ごとにパラメータの監視を行う。その後は2~5時間は1時間毎でデータの採取を行い通常の監視に移行したい。パラメータは、格納容器の圧力、Tb/B・縦坑の滞留水の水位。格納容器圧力は、上昇側は+100kPaを超えたら停止。下側は下降率が20kPa/hを超えたら停止する。水位は上昇傾向が転じたら、監視を強化して、30mmを超えたら停止したい。N2供給装置は濃度は99%を下回ったら停止、流量は最低流量は13Nm³/h、圧力は0.2MPa。この状態になったら、装置を点検したあと、場合に依っては停止する。モニタリングは周辺のMPを監視し、線量は2μSv/hを超えるような上昇を確認したら、封入との関係性について検討を行い、風下側かどうかを確認。風下側で、他のMPの動きとも勘案して、N2封入の影響が大きいと思われればセンターと本店と相談する。本店側は()が確認し、安全評価Tで傾向監視を行い、環境影響評価Tでモニタリングを行い、仮にデータに変調があればNISAに報告を行う。安定化センターのN2封入Tが現場でN2封入を実施しており、パラメータの情報は適宜サイトの復旧班に提示する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(小森)安定化センターと1F と連携して行いたい。あと、1号機の炉注の低下について現時点での見解について説明したい。

(循環注水冷却 T) (書画参照) 1号機の炉注の流量が若干変動する事象。要因としては、振動により流調弁が変動してしまう等あるが、原因として考えられるのは、注入ラインのホースにエアが混入してしまうことを疑っている。1号機のポンプから、1, 2号機に注水しているが、これをこのあと2号機に切り替えるタイミングで流量を監視して、暫く傾向をみたい。また流量調整弁を絞っているのも、流量調整弁の開度が微開であることも要因と考えているので、エア混入でなければ、流調弁の分解点検を考えている。

(保安環境部) 建屋上部のダストサンプリング結果が出たので報告したい。

(保安環境部) (書画参照) 一昨日コンクリートポンプ車に設置して採取を実施。たれているのは、周囲の気象条件の影響を受けないようにしているもの。今回の結果としては、ヨウ素、セシウムともにほぼ一定の濃度値を計測した。プームの先端にダストサンプラーを前回は設置して採取実施したりして、やり方が幾つかあるので、色々試して、総合的に評価したい。結果としては、放射線濃度制限値を下回る結果となった。今後は明後日に再度、3号機で実施する予定。

(本店復旧班) アレバの水処理関係で、本日10:05に NISA 山形管理官より口頭による指導あり。指導内容はアレバの装置において、同様の事象を3度起こしている。信頼性向上のためトラブルの経験を反映し、未然防止に努めること、という指導を受けている。

(高橋フェロー) 徹夜等で大変だと思うので、体制等で相談があれば、遠慮無く言って頂ければと思う。

(本店広報班) 本日の AM の会見。N2 封入、格納容器圧力計器の信頼性評価について、水処理装置について。40分、なごやかな感じ。午後はサリーの説明、安定化センター会議室の写真の説明、19日の道筋の説明。現状維持として炉水の温度が安定となっている状況なのだがどこまで温度を下げるのか、地下遮蔽壁やカバーの問題について質問を受けた。約2時間半の会見であった。本日、広報部が夏の受給の現場として、横須賀火力をマスコミに案内。22社、46名のマスコミの方をお連れした。明日は今市水力発電所について、10社20名の申し込みあり。

(高橋フェロー) 以上、ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/15(金)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森)3号機のN2封入が開始された。水処理関係、5:14にシステムを停止。新しく来るCs吸着装置のプログラム変更、併せてエアだまりの系統改造、これを午後2時くらいまでに行おうとしている。

(1F [])タンク、昨日も話したが、1号機の炉注入で若干低下がみられる。また2号機ではSFP温度の若干上昇、また3号機ではスキマーサージタンクレベルが低下している。幾つか、気になる点あり監視の方法を説明したい。3号機のN2封入については後ほど安定化センターから状況をご紹介願う。今朝のMPのデータは変化は無し。本日も福島は晴れで30度超える。引き続き熱中症に気をつけて対応したい。

(1F発電班 [])①3号機D/WのN2、20:01に開始している。D/W圧力は9.4Pa(?)、②1号機炉注、3.5m³/hで注入していたが、朝方に3.3m³/h、これは調整行う予定。3号機スキマーレベル、引き続き低下しているが、一次系のポンプ0.078MPaで変動していない。補給に向けて準備中。2号機のSFPの温度上昇については書画にて説明する。

(発電班 [])2号機SFP温度、5/31に代替冷却設備をインサービスして、一日一回データをとってきた。ほぼ35℃で安定している状態だったが、昨日、36℃に若干上昇したので監視強化してきたが、現在40℃程度に上昇して安定。系統を説明すると、一次冷却系があり、二次冷却系があり、二次側にファンがある。朝方確認したところ、A系、B系あってインサービスしているA系の水が落ちていないことを確認。循環ポンプがあるので、現在電源を落として、バルブ関係も含めた調査を行っているところ。

([])現在一括で連動していて電源落としているので、これから温度が上昇する。補給ライン等も確認し、確認が取れ次第切り替えを行う予定。

5号機RHRSポンプでT/R、これが終わればRHRポンプをT/Rする。これにより、本日仮設で冷却しているのが、本設でインサービスされる。冷却効果の改善が期待される。

(1F復旧班)炉注関係。1号機について明方流量が下がったということで、流量調整を実施している。3.2まで下がっていたので、通常3.5より少し上げぎみにして、3.8m³/hに調整して様子を見たい。8:55に調整済み。SFP注水関係、先々日4号機で実施しようとしたところホースの継ぎ手部が外れて水が漏れたので消防ホースにAM交換し、PMから注水を開始したい。13時～350tを予定。今日、明日で実施したい。水移送関係、2号機はTb/トレンチで15mm、16mmの下降、3号機はTb/トレンチで9mm、8mmの下降、4号機9mmの下降、受け入れのラド側で、プロセス建屋で39mmの上昇で現在OP4841。このままで行く

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

と午後には4850を超える可能性があるので、安定化センターと相談しているが、2, 3号機の移送を停止する予定。バッファタンクの濾過水からの補給について、バッファタンクが現在6.8mなので、あと1時間ほどで7mに到達し停止になると思うので濾過水からの補給停止して通常ラインに戻したい。5:14に流量低下対策として、処理装置を停止している。

56号機については5号機ではRHRポンプ本格運用となり本設によるインサービスになる。6号機、仮設タンクからメガフロートへの移送を10時～17時で行う。メガフロートもやや半分くらいになってきている。

(土木)無人化装置のガラ撤去、本日34号機 T/B 海側を実施予定。汚染水処理のためのタンクの設置について継続実施。カーテンウォールの撤去で本日56号機のカーテンウォールの H 鋼部位の切断・撤去を予定。1～4号機の透過防止鋼の設置準備工事として、本日は準備工事として取水路開渠内の送電作業を実施する。これにともない、作業船が取水路開渠内を出入りする。このため、シルトフェンスを一時開閉する予定。

(建築)カバーリング準備工事は1号機で750tクレーンの組み立て、ガラ撤去継続。34号機で路盤の整備、鉄板引き込みを行っている。4号機プール下補強については、明後日の6段目のコンクリート打設に向けて、本日は型枠鉄筋工事を継続で行っている。3号タービンの屋根塞ぎについては、18日の塞ぎに向けて、ピット内補強 屋根材の地組を実施。滞留水関係では、プロセス建屋で小開口の塞ぎのコンクリート打設を実施予定。

(小森)3号機のN2封入に関する状況について。

() 3号機のN2封入のパラメータについて説明。昨日20:01～封入開始。濃度、流量、環境モニタリングを実施。格納容器は封入してから殆ど圧力が立っていない、後ほど安全評価から説明する。水位は、T/Bと縦坑にて上昇はない。N2濃度は、99.99%安定した濃度。装置の流量は14Nm³/h、所定の流量。供給圧力は0.55MPa、安定した圧力。D/Wの圧力が立っていないので、入れているラインのどこからか漏れているのでは、という懸念については、注入ポートの漏れの無いことの確認を事前にやっているが、今一度確認を行う。カプラーの漏れはシールテープを巻いて確認をしているので考えにくいですが、リークがないか確認を行う。

(環境影響評価T) 1FのMP、北からNo. 7, 8がB. Gが高いということで、平行監視装置を2箇所設置。昨晚17時から平行観測を開始して、本日8時までの状況で、どれも安定した状況で変化なし。ダストサンプリングについて、中心を3号機としてサンプリングポイントを設置して、No3, 4でサンプリングを実施。結果としては西門はND、グラント北東側付近、北西側で若干のCs、その他一次とった西門はND。今回とったデータについては、グラント北東部でとったデ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

一タだが、変動の範囲内と考えている。

(安全評価■■■■)D/W圧力のパラメータについて、昨日の20時から本日の8時まで一定であった。20時以降のデータで格納容器内の温度は全体的に数度～10度程度で低下傾向、N2の封入はD/Wに何かしらの影響を与えていることは分かる。今後これらについて分析したい。

(小森)外気の影響、大気の影響もあると思うが、そういったことも今後確認頂きたい。では水処理について報告を。

(水処理T■■■■)水処理について。5:42～6:00に掛けて浄化運転を実施している。今後系統のエア抜きのためのフラッシング、系統の切り替え等を行っていく。昨日ベッセル交換を行うことを説明したが、浄化運転は行うが、本日ベッセル交換はない。

(本店■■■■)6/28に安定センタが発足して、8つの部で発足したが、7/25にJビレッジ運営部が設置される。これまでもJビレッジについては駐在として運用していたが、今回正式に安定化センターの部として、Jビレッジ運営部として設置される。(体制表参照)自衛隊との対外調整も含めた、およそ30名弱の体制。保安関係、建物整備の部隊が、併せて30名くらいの体制、総勢60名程度の部として発足。

(広報担当)本日の報道の状況、水処理設備運転再開、N2封入は淡々と取り上げられている。東京新聞で過去の経緯について社会面と一面に記載されている。昨日やらせメール関係でエネ庁から調査指示文書が社長に対して出されている。また産経新聞で一部市民団体が格納容器ベントに関して告発の記事。本日の公表案件については特に大きなものはない。

(2F)2F-1の3台被災したD/Gのうち1台について、復旧作業が完了し本日負荷試験を行う。

(高橋フェロー)本日も暑いので、安全第一で。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化センター小森)水処理についてはまだ全体を止めている、本日流量低下対策をとったが、定格はまだ取れていないので、流量がまだ戻っていない。本日分かったことなどを含めて対応したい。また3号機のN2封入を継続していきますので、本日この状況を報告したい。また2号機のSFPの温度が上がっているという話があって、代替冷却について、二次系の冷却水が供給されていないということが分かったのだが、原因の深掘りはまだ出来ない。また、3号機のSFPスキマータンクレベルの低下の件。まだ原因特定には至っていない。格納容器関係では、気層側の圧力計についてはまだ23号機については校正もされていない。N2側の圧力計が使えるので、どのような圧力計を考えればよいか、2

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

号機については、N2 側の圧力計があると、また3号機は今回圧力計を付けているので、これの評価、D/W の圧力についてどの程度であるかについて、後ほどご説明したい。

(1F ■■■)1号機の炉注の流量が若干下がり気味で、調整してその後安定している。また2号機の SFP 代替冷却の補給水が途切れていた件、プール水温が上昇していたが、バルブを開いて、プール水温は16時現在で33℃程に下がっている。3号のN2の封入は継続して行っている。5号機RHRSの本設のT/Rが良好でしたので、本設による冷却がスタートした。また本日ハンマーで手を叩いてケガをした方1名、軽い熱中症の方1名と、熱中症の疑いの在る方が1名。暑い日が続いているので、引き続ききめ細やかな作業の管理を行いたい。

(発電班)1号機 炉注、朝方に3.8m³/hに上げた後は安定、17時現在で3.7m³/h。RPV底部は102度、SR弁排気温度は111度で変化なし。2号機 SFP 冷却塔を4時間程停止している。プール水温度は1℃上昇している。プール水温度そのものは、41℃程度。冷却水は41℃から33℃まで下がっていて、プール温度も何れは下がってくる見込みである。2号機は、炉注は3.5m³/h、RPV底部124℃。3号機 9m³/h RPV底部123℃。SFP 約32℃で変化なし。スキマーレベルは継続監視中。補給水を要するレベルではない。過去の頻度を見てみると、4~6日の頻度で補給しているの、同程度で補給するものと考えている。今回は7/18当たりと踏んでいる。5号機については、仮設の冷却系から本設がインサービス、冷却が進んで、18時現在で28℃まで下がった。

(1F復旧班)4号機 本日AMにホースを交換して、13:05からウェルへの注水を開始していて、毎時30tで、19時頃には完了する予定。明日も継続実施。水移送関係では、2、3号機の移送を本日11時頃に停止。水位は、2号機でT/Bとトレンチで6mmと5mmの上昇。3号機では、T/Bとトレンチで10mmの上昇、1mmの下降。4号機では、8mmの下降。受け入れ側のプロセス建屋で36mmの上昇で、上昇幅は若干小さくなっている。OPは+4877、滞留水処理の状況によるが、明日は特に問題なく進捗すれば、移送を再開したい。また滞留水処理の関係は、本日早朝から調査・改造を実施していて、14:48に定常状態になった。ベッセル交換は明日は4塔は交換予定。パッファタンクは本日10:25に7mとなり濾過水タンクからの補給を停止。その後一時貯槽からパッファタンクに移送を先ほど開始している。

5号機の RHRS 本設運用開始。6号機は仮設タンクからメガフロートへの移送、本日は10時~16時で実施。明日、台風6号機の関係でメガフロート10~15時で移送を一旦停止して、その後メガフロートとホースを一旦切り離して、台風6号の対応に備える。明日、早朝、夜ノ森線2号を停止する。双葉の66kV化として

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

夜ノ森線2号を一旦停止して17日に夜ノ森線の復旧で現在進んでいる。

(土木)無人化装置のガラ撤去、本日34号機 T/B 海側を実施。コンテナ2個分のガラを収容。汚染水処理のためのタンクの設置について継続実施。カーテンウォールの撤去工事を実施。1~4号機の透過防止鋼の設置準備工事として、シルトフェンスを一時開閉する予定であったが、シルトフェンスが海底のがれきに干渉して、開放できなかつたため、本日は断念した。干渉物を撤去しているので、次回以降は開放できるものと考えている。

(建築)カバーリング準備工事は1号機で2台目のクレーンの組み立てが完了して、明日、今後の鉄骨の組み立てを行う定位置に移動する予定。4号機プール下補強については、明日の6段目のコンクリート打設を予定。その他の工事については継続中。

(水処理PJ)本日AMにエアブロー運転を実施、また廃液除先装置の処理水タンクの連絡配管の交換を実施。連絡配管の内面を確認したが、付着物があつたことを確認。配管そのものを完全に閉塞してしまう状況では無かつた。ブロー運転をしてエアが抜け切れて居なければ、再度流量が低下する可能性がまだ残るが、その他の要因でブロー運転しても流量が回復しないことも考えられる。付着閉塞はないことは確認できたが、付着物があつたことの原因やエアの抜けきらないことがないかどうか、もう少し深掘りしたい。明日、キュリオンのベッセル交換、4塔交換となるが、フラッシングの実施については、明日、線量をみて判断したい。明日、追加設置されるサリーの圧力容器の水切りが予定されていたが、台風の影響で見送りする。

(小森)水処理の件は整理して次ぎのアクションに移っていきたいが、全体の作業の工程へのインパクトとして、台風の影響で、サリーの圧力容器の設置が予定されているが、台風の影響での工程遅延がリスクとなる。メガフロートの切り離しについても、全体工程の遅延リスクになるので、波乱要因として、台風そのものをどうすることも出来ないが、対応を考えていく必要あり。次は、冷却PJの方から、2号機の状況について。

(冷却PJ)2号機のSFP、冷却塔があり、2次系に水が溜まっていて、冷却ファンが回る。本日確認したところ、冷却水が溜まっていない状況だった。補給ラインは濾過水から来ているが、消火栓のところ採水口の左側の排水口の元弁があるが、これが閉まっていた。これを開して、水を張ってから復旧した。

3号機のスキマーレベルについて、可能な範囲で、漏えい確認を行ったが、本日のところは漏えいは確認出来なかつた。Rx/B内の確認は難しいと思つていて、これ以上の確認は難しいと考えている。

(小森)2号機については、元弁が閉まっていた要因、どこまで詰められるかは分からないが、その調査の継続、原因究明、対策を考えていきたい。管理の間

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

題として、勝手に弄られないようにするための対策について、タグを付けるなど、管理面の対応を考えていきたい。

() まずは開運用にすることと、閉操作を行うときには、連絡をもらうようにしたい。

(小森)3号機の N2 封入について、本店から。

(安全評価) 3号機の N2 封入の状況だが、D/W の圧力が全くといって良いほど変化していない。圧力容器廻りの温度では、低下傾向を示していて、圧力容器の雰囲気温度で 4~5℃、圧力容器の底部で 2℃程度、低下している。圧力の上昇しない要因としては、気層部に相当量の大きな開口があること。温度低下の要因としては、蒸気温度にくらべて冷たい N2 が入るのでその冷却効果、これにともない格納容器で凝縮する蒸気量が減りサブクールが低下する。その結果、蒸気の発生量が増えることになって、それによって冷却されることもあると思う。どちらがどうか定量的には評価できていないのが現状。

() MP の状況は変化がないとのこと。今後データでお示したい。

(冷却 PJ) 13日に1号機と4号機の循環冷却設備に関して NISA に報告しているが、本日 17:50 に NISA から妥当との評価を頂いている。今後工事を安全に進めたい。

() 2, 3号機の格納容器の圧力についてご説明する。N2 の封入の説明とかぶるが、格納容器の圧力計については原子炉建屋の 2 階にあって、高線量により 2 号、3 号についてはなかなか校正が出来なかったが、N2 の封入ラインの圧力計が使えることが分かって、それを使う方向で考えている。昨日から 2 号機、3 号機のそれぞれの N2 封入ラインの圧力を見ながら校正をして、格納容器の圧力を読んでいる。読んだ結果、安全保護系の圧力、監視用の計器、みくらべ 2 号機は安全用の計器が正確だろうと考えている。3 号機については N2 封入に伴い昨晚から監視を継続しているが、こちらについては監視用も安全保護系も圧力は N2 の封入ラインと一致していることが分かった。但し、安全保護系の方が近い、ということで、今後は安全保護系 PI を使っていきたい。2 号機は 24.7kPa、3 号機は、誤差があるが -0.7kPa、ほぼ大気圧ということが分かっている。本設計器は 2 号機は安全保護系の計器がほぼ一致している、よってこちらを使いたい。3 号機はこちらはどちらも変わらないが、どちらかというと安全保護系の計器の方が近いので、今後は、安全保護系の計器を定例で公表しているプラントデータがあるが、明日から、こちらをつかって行きたい。

(広報班) 本日のマスコミ対応状況について。本日 11 時当社単独レクでは、2 号機の SFP 温度上昇について。また滞留水の処理について。16:30 からの統合会見では、再び 2 号機の SFP の温度上昇についてバルブが閉であったと公表、その原因について教えて欲しいとの質問。水処理の流量低下の原因につ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

いても質問あり。これに関連してサリーの繋ぎ込みの状況を説明。3号機の N2 封入の状況は淡々と説明。本日は保安院のストレステストの説明と質問があった。

(2F) 2F-1 の3台被災した D/G について、B 号機を本日 T/R してインサービスした。10:15 から2時間ほど、容量の確認の運転を実施、15:09 に待機状態に入れることが出来た。これで外部電源喪失に対する信頼性が向上した。

(武黒) 弁の開閉状態を表示しておくというのは非常に重要なことと思う。今後検討して頂きたい。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/16(土)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00

(安定化センター小森)

2Fのほうはモヤがかかっているが、天候は晴れていますので、おそらく1Fも変わらないと思う。海側から霧がかかるのはこの時期特有。それでは昨日の夜に大分お話させて頂いているので、本日は簡単に。昨日からの動くは特になく、水処理設備はベッセルの交換のために10:30～くらいからフラッシングを行うのと電源関係では、夜ノ森線2号を停止して、作業工事を双葉線66kV停止があるが、朝の特段ではトピックス的な話はない。

(1F吉田)朝の霧がかかっているがこの時期特有だが、天気自体は晴れ。気温も30℃を超える見込み。昨日は熱中症ならびに熱中症の疑いで2名出たが、熱中症対策を気をつけていきたい。気になるのは、熱中症対策はいいのだが、あまり言い過ぎると、言い出せなくなる逆効果もあるので、気分が悪くなったら医務室に入るといったことを徹底したい。本日は56号の電源関係の作業がある。あとで詳細を説明する。あと気になることは、台風について。20日過ぎに台風が来る。強風、降雨、あと高波が来たときについて、事前にシミュレーションすることを指示している。

(1F発電班)1号機～3号機、特段に大きな変化はなし。1号機の炉注水、3.6 m³/Hで、昨日は流量調整しているが本日は流量低下がなく調整は不要であった。代表点温度はRPV底部で102℃、SRV排気温度で110℃。2号機は、炉注水が3.4m³/hで、RPV底部が122℃。3号機は炉注水が9.0m³/hでRPV底部が112.6℃。プール温度は昨日2号機の冷却水が一旦停止したあと、復旧しているが、冷却水系の温度は35℃程度と若干下がっているが、プール水温は体積が多く対流に時間が掛かることから、42℃台で一定。これは時間とともに下がってくると思う。3号はプール水温が32℃。D/WにN2を封入している2号、3号について、2号機は25.9kPaで安定。3号機は昨日ご報告のとおり計器を変更(?)しているが、0.3kPagで変動なし。双葉線66kV化工事で、夜ノ森線を5:28に停止している。それに先立ち、56号の負荷をD/G5B、6Bを4時に起動して負わせている。送電線作業はAMに終わって、昼過ぎに夜ノ森線からの受電に戻す予定。

(1F復旧班)SFP注水。昨日に続き、4号機のウェルへの注水予定。11時～17時で180tの予定。水移送関係は、2～3号機の移送は昨日に停止。TB、トレンチの状況は2号機で22mm上昇、2mmの上昇、3号機で13mm、1mmの上昇、4号機で8mmの上昇、受け入れ側のプロセス建屋、昨日滞留水処理を開始したことから、146mmの下降。よって2、3号機の移送を再開予定。滞留水処理装

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

置関係ではベッセルの交換4塔を実施予定。

5号機は双葉線の66kV化、既に作業中。6号機はTb滞留水、メガフロートへの移送、本日は10時～15時、昨日より2時間短くして行う。その後、台風6号対応として、ホースを切り離し、メガフロートから縁を切る。ホースについては養生して設置しておく。

(土木)汚染水の処理タンクの設置工事について、G,H エリア継続実施中。無人化装置のガラ撤去、本日34号機T/B海側を実施予定。56号機のカーテンウォール、1～4号機の透過防止鋼、北護岸のテトラポット据え付けについては本日から中止。

(建築)カバーリング 柄撤去 路盤整備 4号機コンクリ打設 3号機 7/18屋根を掛ける。本日～再開する予定。Rxカバーリング工事は1号機でクレーンの移動および周辺のガラ撤去。34号機で路盤の整備。4号機プール下補強については、本日コンクリート打設予定。スラッジ貯槽施設関係では本日も掘削を実施している。3号タービンの屋根塞ぎについては本日準備作業を行っていて、18日に屋根を掛ける予定になっている。

(滞留水移送T)2号、3号TBからプロセス建屋への移送再開については、本日11時頃、移送を再開する予定。

(安定化センタ小森)3号機のN2封入は変化がないということで継続監視。なにかあったら連絡を取り合う。訪問者関係では、本日管総理と細野大臣が福島県にお見えになるということで、その関連で、Jビレッジに立ち寄られる。吉田所長と私にて対応させて頂きたい。

(広報担当)本日の報道の状況。主にストレステスト、九電メール問題、肉牛Cs検出の問題が大きく取り上げられている。プラント状況は水処理関係の処理量が回復しない記事が主要各紙に取り扱われているが、べた記事の扱い。NHKが3号機について気体が漏れているということになっているが、入れているN2が圧が立たない件を説明して、それが抜けているのではないかというお話をさせて頂いた結果、そのような書きぶりとなっている。本日は大きな公表案件はなし。

(2F) 2Fは昨日は1号機のD/Gの復旧をお伝えしたが、本日は1号機のCUWポンプを生かす。これにより、1号機の炉への注水機能の多様性が図れる。またRCWポンプ1台、2号機のSWポンプを1台生かす。除熱機能の多様性が図れるようになる。

(小森)水処理の流量については大きな課題だと思っていて、継続して検討して、まとまれば報告させて頂き作業に入りたい。

(武黒)本日も安全第一で確実な作業を実施していただきたい。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

～全体会議～

19:00

(安定化センター小森)本日は特にトピックス的なものはなく、水処理ではベッセルの交換を計画的に行っている。流量の件はもう少し時間を掛けたい。全般的には台風はかなり大きなものが見込みであり、サリーの出航が出来ない状況が続いていて、また来週の台風来襲に備えて、何を点検すべきか、何を防護すべきか検討しているところ。1F と合わせて、必要な体制を取れるようにしたい。また、菅総理が予定通り来られて、1時半～2時半頃に滞在された。Jビレッジで対応された方々のご苦労さまでした。

(1F 吉田)天候は本日は晴れ。霧の影響か、幾分涼しい風も吹いていたことから、作業も少ないこともあり、熱中症の発生は無かった。プラントの状況は今朝報告した内容が順次順調に実施された。

(発電班)1号機は炉注は3.6m³/h、17時、18時、19時とカメラの確認で3.4～3.5くらいまで下がってきているので、20時のデータを見て、現場の調整を行いたい。RPV 底部で102℃、SRV は111℃。2号機は炉注は3.4m³/hで注水中、RPV 底部で122℃、D/W 圧力26.2kPa と殆ど安定している。代替プール冷却設備は昨日4時間停止したため朝の時点で42℃→17時時点で39℃、もう少し下がると思われる。3号機は9.0m³/h で注水中。RPV 底部で122℃、プール温度は32℃。D/W 圧力は0.3kPa で変化なし。56号機は冷温停止中。本日朝方5:28～12:05 夜ノ森線を一時停止して双葉線66kV 化工事実施。明日も5:00～11:00まで夜ノ森線を停止予定。停止後は双葉線2号を使って、夜ノ森線2号から受電予定。

(1F 復旧班)1号機、炉注入、ふらついているので傾向監視中。2号機 縦坑からプロセス建屋の移送を10:56～再開。3号機の移送も10:50～再開。4号機 ウェル注水、11:22～15:52 160t注水。6号機仮設タンク→メガフロート 10時から15時移送実施。その後移送用のホースをメガフロートから縁を切って、養生をして格納している。滞留水はベッセル交換4塔実施、システムを13:41起動、14:38流量の安定を確認。バッファタンク水張り、18:32～水張り中。

(土木)地下水の処理タンクの設置工事について、G,H エリア、本日および明日も継続実施中。無人化装置のガラ撤去、本日34号機 T/B 海側実施、明日も継続実施予定。カーテンウォール撤去、1～4号機の透過防止鋼、北護岸のテラポット据え付けについては台風対策のため中止する。

(建築)Rxカバーリング工事は1号機は750tクレーンの移動および周辺のガラ撤去。明日は瓦礫の撤去になる。3号機での路盤整備と敷き鉄板、明日は休日。4号機壁の開口、鉄筋切断、瓦礫撤去、明日は160tクレーンの操作になる。4号機 SFP 下部補強工事、6/8段目のコンクリート打設、本日終了。明日は休日。3号機 T/B 屋上開口は、200tクローラークレーンの移動を行った。明日も継

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

続。

(水処理 T)先ほど報告のとおり約3時間ほど、ベッセル4塔交換により停止。これまで人手の慣れてきた人で行ってきたが、本日自動化プログラムを導入した。人手で行った方が早い部分もあり、自動化についてメーカーとプログラムの効率化を含め詰めて行きたい。サリーはベッセルの出港が遅れているが、装置の建設は鋭意進めている。

(小森)安定化センターからの各部報告、補足はなし。

(広報班)AM は30分で説明終了。明日も当社単独であり何事も無ければ同様と思われる。話題は本日毎日新聞であった、仮払い補償の学校法人や医療法人の対象から外れていた件について、東電が外したという論調であったが、その説明、それと台風対策、水処理設備の流量低下を説明。仮払いについては、学校法人等への仮払いの必要性については十分に認識しており、今月中に出来れば受付を開始したい、というのが本日のスタンス。午後は今やっているところだが、新しいところでは、7/8に2号機にクインズが入り建屋の調査をした。動画が編集できたので紹介。質問事項は、19日の道筋会見、どこまで話すのか、遮水壁、ダストサンプルの話が記者の関心であった。(19:10に会見終了)

(環境影響評価T)福島事務所のアレンジで、7/19より、文科省の依頼により、安心して学校に戻るための環境モニタリングを実施。20~30km県内の南相馬市、田村市、広野町、川内村に JAEA のチーム10名と東電12名、22名のチーム編成がされ、現地に入る。18日に福島事務所の場所を借りて、現地での出発前の確認打ち合わせを実施する。

(2F)2F-1 冷却系の復旧が進んできて、RHR を通常の停止時冷却モードに変更する。系統構成の変更のために9:30~1時間ほど、RHR ポンプを停止する。本日復旧した CUW ポンプがあるので、温度の上昇はそれほど無いと考えている。1時間ほどの停止なので、プールは現在26.5℃が26.8℃程度まで上昇する。1時間で元に戻す予定。

(福島地域支援室)毎日新聞記事について、読売、民友から問い合わせあり。広報スタンスに基づき回答している。

(武黒)本日は熱中症等無く、大変良かったが、引き続き現場安全に気をつけて対応をお願いしたい。ご安全に。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/17(日)の時系列メモ >

～全体会議～

9:00 (本店高橋)7月17日、第1回目の全体会議をはじめます。まず安定化センターからお願い致します。

(安定化センター小森)昨日と同じく、トピックスとなる話はありません。双葉線2号を使って、夜ノ森線2号から受電するために、今朝方、夜ノ森線を停止しています。それでは、プラント状況と作業内容について、1Fから説明をお願い致します。

(1F吉田所長)天候は、晴れ。気温は、30℃を越えるということで、熱中症対策に気をつけていきたいと思えます。本日は、1F所内電源強化作業があります。詳細は、別途説明致します。滞留水処理関係は、現在順調に運転しています。滞留水移送関係も、2、3号機からプロセス建屋への移送は、順調に運転しています。それは、詳細について各班から報告します。

(1F発電班)原子炉注水については、1号機は昨日から若干流量が低下してまして、3.4m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッド温度は102℃、SRV排気温度は111℃。2号機は3.3m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッド上部温度が123℃、D/W圧力は、22.9です。SFP代替冷却設備に関しては、継続運転を行っていて、昨日17:00のSFP温度が39℃でしたが、現在も39℃です。ただし、ポンプの入口温度が低下しているのもう少し温度が下がると思われます。3号機は9.0m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッド上部温度が121.7℃、SFP温度は32℃です。D/W圧力は、20.3kPaです。

5、6号機は、引き続き安定です。昨日説明がありましたように、夜ノ森線は、4:24に、夜ノ森線は停止しまして、双葉線66kV 化工事実施中です。予定では、11:00に作業終了となっていて、その後は、開閉所から夜ノ森線2号、途中双葉線2号を経由しまして、発電所側で夜ノ森線2号で受電する予定です。

(1F復旧班)滞留水移送関係ですが、2、3号機からプロセス建屋への移送は、順調に運転していて、水位下降傾向がみられます。各建屋の水位について、2号機は立坑がOP+3554mmで17mm下降です。3号機は立坑がOP+3724mmで16mm下降です。プロセス建屋については、受入を行っているのも上昇傾向となっていて、OP+4757mmです。HTI建屋は、OP+3483mmである。

滞留水処理システムについては、本日ベッセルの交換は予定されていません。RO装置については、現在停止していますが、10:30に起動致します。その他作業ですが、2号機D/W O₂サンプリングの電磁弁開閉試験を実施致します。また、台風6号が来る可能性があるということで、各グループ(土木、建築含む)の実施事項リストは作成完了です。引き続き、実施状況のフォローをしていきます。5、6号機の本日の作業は、夜ノ森線2回線→双葉線2回線→夜ノ森線2回

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

線という構成にする工事を実施しています。また、滞留水関係ですが、メガフロートの移送は、台風の影響がなくなるまで中断する予定です。

(1F土木班)汚染水処理のためのタンク設置作業については、G、Hエリアにて継続実施です。無人化ガラ撤去については、3号機T/B海側を実施予定です。海工事関係ですが、5、6号カーテンウォールのH鋼切断・撤去工事、1～4号機の投下防止堤設置工事、テラポットのH鋼据付工事については、波が高く中止しております。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1号機のカバーリング工事は、ガレキ撤去です。3号機は、本日休工になります。4号機は、160tクレーンの操作になります。4号機SFP下部補強工事では、昨日、8分の6段目のコンクリート打設を実施致しましたので、本日は本日休工になります。3号機 T/B 屋外開口部閉塞作業は、明日開口部閉塞作業を行いますので、200tグローラークレーンの移動と塞ぎ材の地組と運搬になります。

(1F吉田所長)台風のための事前対策・検討をしたいと思えます。よろしく願い致します。福島第一は、以上です。

(安定化センター小森)台風対策について、安定化センター側も体制・作業内容などを調整したいと思えます。安定化センターからの報告は、以上です。

(本店広報班)本日の公表案件ですが、特に大きなものはありません。プレス説明な、11:00と18:00を考えています。質問については、台風対策や今後の道筋に関連した質問を想定しています。続きまして、本日の新聞の状況ですが、特段大きな記事はありません。損害賠償の仮払いの話については、毎日新聞、読売新聞に掲載されていて、7月に受付を開始するといった内容になっています。

(2F [REDACTED]) 昨日の全体会議で間違った内容をお伝えしたので、訂正させていただきます。1号機 RHR(B)について、モード切替に伴い本日停止する予定ですが、昨日は9:30～10:30とお伝えしましたが、9:30～15:00までの5.5時間停止となります。間違ったのは、冷却系のルート変更作業も合わせて実施する予定でしたが、これを見落としてしまいました。炉水の温度は、24℃→44℃に上昇する予定です。また、プール温度は、28℃→30℃に上昇する予定です。しっかり監視しながら、作業を行いたいと思えます。

(本店高橋)これで、本日1回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00 (本店高橋)7月17日、第2回目の全体会議をはじめます。まず安定化センターからお願い致します。

(安定化センター [REDACTED])

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

本日は、朝お伝えしたように特段のオペレーションはありません。水処理システムにつきましては、定格流量を割りながらも順調に運転しております。使用済燃料プールの冷却につきましては、1度冷却塔の補給水がストップして、温度が上がってくる事象がありましたが、その後、補給水を再開致しまして、プール温度も順調に下がってきています。原子炉冷却につきましては、おととい、昨日と流量が低下するという事象が発生していました。これは、流量調整弁が非常に微小な回路であるために、制御が難しくなっていて、流量が少しずつ下がるということが考えられている。本日、発電所と相談しまして、1, 2号機ともに0.5m³/h 増やしまして、4.0m³/h としています。これは、台風が通過するまで安定に炉心冷却を続けていきたいというものです。台風通過後、流量をいくつに設定するかは、これから検討したいと思います。すでに、昨日メガフロートのホール切り離しや3号機タービン建屋オペフロ屋根穴塞ぎなど進めています。本日福島第一と安定化センターで台風対策の検討をスタートしています。基本的には、資機材の養生・捕縛になりますが、別途報告致します。台風の進路については、まだ余談を許さない状況ですが、台風の進路にかかわらず、しっかりと検討して参りたいと思います。では、本日の状況、工事の詳細について、福島第一から報告をお願い致します。

(1F [REDACTED]) 天候は、晴れ。気温も高めでしたが、熱中症等気分が悪くなられた方はでていません。熱中症対策が、そこそこ効果がでていないかと思えます。プラントの方ですが、1号機原子炉注水ですが、流量低下により、午前中に警報がでています。流量調整は行って、復帰していますが、その後安定化センターと相談しまして、炉注ポンプの切替を行っています。その結果、1, 2号機ともに炉注流量が若干増加していますが、その後パラメータは安定して推移をしています。詳細は、後ほど報告致します。あと、作業の関係ですが、夜ノ森線2号を停止しまして、本日双葉線2L の66kV 化の作業を完了しています。1Fについては、来週作業となっています。トピックスは、以上です。

(1F発電班)原子炉注水については、1号機は、4.0m³/h で注水中です。炉注変更後のパラメータ変化はありません。RPV 底部ヘッド温度は 102℃、SRV排気温度は 111℃で安定しています。2号機についても、4.0m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッド上部温度が 127℃、D/W圧力は、27.4kPa です。SFP温度につきましては、MM の時は 39℃でしたが、現在は37℃で若干低下中です。3号機は 9.0m³/h で注水を継続しています。RPV 底部ヘッド上部温度が 121.2℃で安定しています。SFP温度、D/W圧力は、変動なしです。

5, 6号機については、本日双葉線2L の66kV 化の作業が終了しまして、13:20から双葉線を経由して受電となっています。

(1F復旧班)滞留水移送関係ですが、2, 3号機からプロセス建屋への移送並

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

びに滞留水の処理は、順調に運転しています。2、3号機タービン建屋の水位は低下傾向にあります。各建屋の水位について、2号機は立坑がOP+3544mmで10mm下降です。3号機は立坑がOP+3721mmで3mm下降です。プロセス建屋については、OP+4778mmです。HTI建屋は、OP+3490mmである。先ほどから話があります炉注ポンプについては、1、2号機に供給していたポンプについて、1号機用ポンプから2号機用ポンプに切り替えています。これは、1号機用ポンプの運転が非常に長くなったということで、負荷平準化も含めまして2号機側に切り替えているものです。1、2号機ともに4.0m³/hに変更しまして、先ほどからありましており、安定的な炉心冷却をするとともに、1日当たりの変動を観察したいと考えております。

滞留水処理システムについては、本日ベッセルの交換は行っていないが、明日は、ベッセル3塔の交換を実施致します。システムの停止は、予定ありません。2号機D/W O₂サンプリングの電磁弁については、本日開閉試験を行うとお伝えしましたが、本日はメガリングのみで、電源投入・開閉テストの予定です。5、6号機ですが、仮設タンクからメガフロートへの移送は、台風の影響により中断中です。明日の予定もありません。

(保安班)本日午前中に発生しましたが、MP7の並行観測地点(野球場)にて、普通の検出器(ICW)でデータを測定して、免震棟に信号を飛ばしているのですが、本日17:50に一旦停止して、ガンリンを入れて再起動して、発電機は正常に運転しているのですが、信号が受信できないという事象が発生していて、現在現場で調査を実施しています。シンチレーションは、測定しているので、欠測にはなりません。

(1F土木班)汚染水処理のためのタンク設置作業については、G、Hエリアにて継続実施です。無人化ガラ撤去については、本日はコンテナ6個実施しています。明日も引き続き、3号機T/B海側を実施予定です。海工事関係ですが、5、6号カーテンウォールのH鋼切断・撤去工事、1～4号機の投下防止堤設置工事、テトラポットのH鋼据付工事については、波が高く明日も中止予定です。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1号機のカバーリング工事は、180t、750tクローラークレーンの移動と周辺ガレキ撤去を本日用いました。明日も周辺ガレキ撤去、物揚場スロープの撤去を予定しています。3号機は、本日休工で、明日は西側道路で碎石作業となります。4号機は、160tクレーンの操作を実施しまして、引き続き明日も予定しています。4号機SFP下部補強工事では、本日休工で、明日は8分の6段目の磨筋型枠の工事となります。3号機T/B屋外開口部閉塞作業は、明日開口部閉塞作業を行いますので、200tクローラークレーンの移動と屋根材の地組・運搬を行いました。明日は、土嚢コンクリートで雨水対策を実施致します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F [REDACTED]) 先ほど、保安班から話がありました件については、速やかに原因究明を実施致します。福島第一は、以上です。

(安定化センター [REDACTED]) 安定化センター各部からの報告は、ありません。安定化センターからの報告は、以上です。

(本店広報班) 本日11:00と18:00から会見を行っています。それぞれ、大きな話題はなかったため、午前中は30分、午後は45分行っています。3号機タービン建屋の雨水対策ということで、屋根を取り付けています。これについて、写真等で詳しく説明したところ、質問が寄せられています。2F の原子炉冷却材浄化系の復旧についても質問をいただいています。以上です。

(2F [REDACTED]) 本日、残留熱除去系のポンプを14:13まで4時間ほど停止しまして、モードと仮設電源の切替作業を実施致しました。炉水の温度は、39℃まで、プール水温度28.5℃まで上昇しましたが、問題ありませんでした。2号機の代替冷却手段として、原子炉冷却材浄化系ポンプを起動することができましたので、明日、2号機 RHR を原子炉停止時冷却モードに切り替える予定です。これにより、2F は、4台とも冷温停止の安全・安定確保の一つの区切りを迎えることとなります。以上です。

(本店)これで、本日2回目の全体会議を終了します。ご安全に。

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/18(月)の時系列メモ 情報班 []>

～全体会議～

9:00

(安定化センター)3号機 T/B 屋根の穴を塞ぐ作業を実施する。また、水処理装置のベッセル交換を実施する。それ以外は特別な作業はなく、ほとんど継続作業である。安定化センターでは水処理装置の流量低下等、技術検討業務が主である。

(1F)プラントの状況は、炉心への注入ポンプの切替を昨日午後行った。切替後18時間程度経過しているが、1, 2号機の温度等プラントパラメータについては安定している。作業関係は継続作業が多い。3連休ということもあり、昨日の APD 貸出数でいうと、連休前と比べて1000台程少なくなっている。およそ1300台となっており、作業員の数も少なくなっている。本日も30℃を越すような予報になっているので、熱中症に注意したい。

(1F発電班)原子炉注水については、1号機は 4.1m³/h で注水している。RPV 底部ヘッド温度は 101℃、SRV排気温度は 110℃で変化はない。2号機は 4.1m³/h で注水している。RPV 底部ヘッド上部温度が 126℃、D/W圧力は、27.0kPa である。SFP 代替冷却による SFP 温度は 37℃であるが、デジタル値では若干下がっている。今後温度が下がると思われる。3号機は 9.0m³/h で注水している。RPV 底部ヘッド上部温度が 120.5℃、SFP温度は 32.6℃である。D/W圧力は、〇〇(聞き取れず)kPa である。

5, 6号機は、冷温停止中で安定している。

(1F復旧班)滞留水移送関係は、2, 3号機からのプロセス建屋への移送が順調に運転されており、水位下降傾向となっている。各建屋の水位について、2号機は T/B 水位の方が高く OP+3537mm。3号機は立坑水位の方が高く OP+3713mm、プロセス建屋については、上昇傾向となっていて OP+4804mm、HTI 建屋は OP+3499mmである。1, 2号機の炉注水流量を 4.0 m³/h に変更し安定しているが、本日も様子見をして今後絞っていくかは安定化センターと相談していく。作業関係は、D/WO₂ サンプリング装置の電磁弁の電源投入と開閉試験以外は全て継続作業である。滞留水関係は、本日3棟ベッセル交換を予定しているが、装置の停止はない。

仮設タンクからメガフロートへの移送は台風のため中止している。

6号機 RHRS ポンプの吊りワイヤーのあてゴムが劣化してきているので交換のための現場調査を実施する。明日ポンプを1台ずつ止めて作業をするため、全停止はしない。

(1F 保安班)3号機の N₂ 封入のモニタリング監視として、MP7,8 の並行観測としてグラウンドと展望台に仮設のサーベイメータを設置しているが、地点 B つまり展望台の所で昨夜23時に伝送異常があり、伝送が止まった。本設モニタリング

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ポストに異常がないので問題はないが、地点 A についても同様の事象があったため教訓(強化?)が必要だと考えている。

(1F土木班)汚染水処理のためのタンク設置作業については、G, H エリアにて継続実施する。無人化ガラ撤去については、3号機T/B海側を実施予定である。海工事関係の5, 6号カーテンウォールの投下防止堤設置工事、テトラポットの作業は台風が通り過ぎるまで中止。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1号機のカバーリング工事は、周辺ガレキ撤去を実施する。3号機は R/B 西側道路のサイセキジギになる。4号機は、160tクレーンの操作を実施する。4号機SFP下部補強工事は、8分の7段目の型枠工事を実施する。3号機 T/B の屋上開口塞ぎは開口3箇所シグミした屋根の設置作業を8:30から実施している。

(本店広報班)17日をまたいでいるのでステップ1のまとめ記事が各誌出ている。本日は、朝日と東京新聞に掲載されている。明日工程表の公表があるので再度取材があるため、注意をお願いします。T/B の仮設屋根について、写真付で報道されている。本日は、特に大きなものはないが、2F-2 の SFP 冷却が通常ラインで出来るようになった件について公表する。

(2F)2号機の FPC について RHR のモード切替をする。停止は2時間の予定である。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(安定化センター)本日は残念ながら災害が発生した。作業員が電柱で作業をしていて3mの高さから落下してしまった。後ほど報告する。

作業としては、3号機 T/B の穴を塞ぐ工事を実施した。それ以外は継続の工事である。

安定化センターでは水処理システムの流量低下に対する技術検討や台風対策についての検討が行われている。

(1F 吉田)今日も晴れており、暑かった。熱中症が1名発生した。作業員の電柱からの落下の件については、装備の面で問題があったと考えられる。高所作業車を用意しておけばそういう問題が起きなかった。事前検討等々を実施していく必要がある。

(1F 発電班)流量については変化なし。明日まで様子を見て流量を絞る操作を実施するか検討する。1, 2号機の圧力・温度等パラメータは安定している。2号機の SFP 温度は36℃である。3号機もパラメータは安定している。5, 6号機も安定している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 復旧班) 滞留水処理は順調である。2号機 T/B 水位は OP3527mm、3号機 トレンチ水位は OP3707mm、4号機 T/B 水位は OP3602mm、プロセス建屋水位は OP4823mm、HTI 建屋水位は OP3506mm である。

本日、D/WO₂ サンプリング装置の電源投入及び開閉試験を実施し、3台とも順調に動いた。

水処理装置のベッセル交換を3棟行った。明日は11時に停止してフラッシングを実施し、4棟交換する。

4号機 R/B ヘサイト復旧班が入域した。その状況について紹介する。(書画で説明)4階のフロアだが、開口ハッチに足場が作られている。M/G セットの脇を通り、3号機側のところまで見てきた。

こちらが M/G セット(A) オイルクーラであるが、オイルのドラム缶が散乱しているが火がついていたという様子ではなかった。3号機側のモーターは横のケーブルが焦げており、熱で色が変わっていた。モーターの架台の下にある制御盤のケーブルがかなり焦げていた。AVR 盤の基盤は黒こげになっている。モーターの本体は定検における本格点検により、分解の状態であるが、ブラシがありそこが相当焦げている。天井は煤けて黒い状態であった。

シュラウド取替えのときの作業ゴミが置かれていたと証言があり、AVR 盤のところにベニア板を不燃シートで覆っていたとのことである。全て消失しているが、こういったものが燃えた可能性がある。詳細な調査が必要であると考えられる。

(1F 復旧班) 明日の作業について。

仮設タンクからメガフロートへの移送は台風が過ぎ去るまでは実施しない。

6号機 RHRS ポンプの吊りワイヤの交換作業を実施する。全停はしない。

(1F 土木班) 汚染水処理のためのタンク設置作業については、G、H エリアにて継続実施しており、明日も実施する。無人化ガラ撤去については、明日は2、3号機間の海側ヤードを実施予定である。海工事関係の5、6号カーテンウォールの投下防止堤設置工事、テトラポットの作業は台風が通り過ぎるまで中止する。

(1F 建築班) R/B カバーリング関係で、1号機のカバーリング工事は、周辺ガレキ撤去を明日も継続する。3号機も路盤整備作業を継続する。

4号機は、160t クレーンの操作を実施する。4号機 SFP 下部補強工事は、鉄筋型枠作業を実施する。3号機 T/B の屋上開口塞ぎ工事を実施した。16m×15m の屋根パネルを3分割して載せる作業を朝9時から実施し14:30に完了した。計画線量 12mSv に対して、12mSv と若干オーバーした。

(安定化センター水処理プロジェクト) G エリアに高レベルの汚染水を貯めるタンクを設置中であるが、その山側にキュリオン社のベッセル保管貯蔵箇所の工事を行っている。それに関連してケーブルを付替する作業をしている最中であった。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

その作業は、元請関電工で下請パワーテクノで実施していたが、そのパワーテクノの方が墜落した。(現場状況について書画で説明)経験23年以上のベテランの方であった。関電工の工事担当者もいたが、落下する瞬間は目にしていない。胴綱を付けているが、通常補助の綱を付けて胴綱を付け替える必要があるが、補助の綱が付いていないタイプの胴綱を使っていた。そのため、付け替える瞬間は不安定になる。約3mの高さから落下し、両腕の骨折となった。作業現場は比較的平坦であるため、高所作業車が使え場所であった。

安全作業の基本や周りで作業を監督している人の〇〇(聞き取れず)を見直すべきであると思われる。

(本店広報班)本日のマスコミ対応について。主な内容は3号機 T/B の屋根設置工事の状況について説明した。水処理設備の処理量についてのアナウンスをした。また、怪我人や体調不良者についての説明もした。さらに、2F-2 についても説明した。記者からは T/B の屋根設置工事についての作業内容や明日の予定、計画線量と実績に関する質問があったが、坦々と回答した。

(小森)(落下についての見解)慣れない場所でやる作業であるため、装備をきちんとしないといけない。再発防止対策をたてないといけない。できれば機械を使った作業を計画しないといけない。

(2F)本日2号機の RHR と SFP の冷却系を生かすことができた。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/19(火)の時系列メモ 情報班▶

～全体会議～

9:00

(本店武黒)7月19日、第1回目の全体会議をはじめます。まず安定化センターからお願い致します。

(安定化センター)3連休が明けまして、福島第二免震棟にいる安定化センターのスタッフは、300名となっています。本日は、3号機タービン建屋屋根開口部塞ぎが行われ、その他継続作業になります。安定化センターでは、様々な技術検討、書類の整理、あるいは水処理システムの流量低下問題に対するトラブルの技術検討等を行っています。また、台風ですが、ちょっと楽観的に言うと、台風が南の方にズレてくれるような気がしますが、手を抜かず、台風対策も重要な業務として進めて参ります。それでは、プラント状況並びに作業の詳細について、福島第一から報告をお願い致します。

(1F吉田所長)天候は、小雨で湿度が高いです。気温は、30℃まで達する可能性があるため、熱中症対策に気をつけていきたいと思えます。3号機タービン建屋屋根開口部塞ぎについては、先ほど部隊が現場に向かっていますので、なんとか台風間に合うのではないかと思います。それでは、各班から報告します。

(1F発電班)原子炉注水については、1号機は昨日から若干流量が低下してまして、4.0m³/hで注水を行っています。7月17日にポンプを切替してから流量低下は発生していません。温度は安定していて、RPV底部ヘッド温度は100℃、SRV排気温度は108℃。2号機は4.1m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッド上部温度が126℃、D/W圧力は、25.7kPa(ゲージ)です。3号機は9.1m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッド上部温度が119.9℃、SFP温度は32.6℃です。D/W圧力は、0.3kPa(ゲージ)です。

5, 6号機は、引き続き冷温停止中です。

(1F復旧班)滞留水移送関係ですが、2, 3号機からプロセス建屋への移送は継続で、各建屋の水位は下降傾向を示しています。各建屋の水位について、2号機は立坑がOP+3505mmで14mm下降です。3号機は立坑がOP+3699mmで8mm下降です。プロセス建屋については、OP+4843mmです。HTI建屋は、OP+3525mmである。先ほど、発電班長から炉注安定とお伝えしましたが、台風に向けて極力流量を絞っておきたいということで、10:00頃を目処に3.8m³/hに流量変更して様子を見たいと思えます。その他作業継続ですが、1, 2号機休憩所設置に伴う受電工事を本日予定しています。

滞留水処理システムについては、本日4塔のベッセル交換を予定しておりまして、11:00に装置を停止しましてフラッシングに入る予定です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

5, 6号復旧班の本日の作業ですが、5, 6号滞留水関係の仮設タンクからメガフロートへの移送は、中断中です。6号機 RHRS ポンプについて、吊りワイヤーの当てゴムの交換を既に実施しています。現在は、RHRS ポンプ(A)は作業完了してしまし、RHRS ポンプ(B)の作業を行っています。

(1F土木班)汚染水処理のためのタンク設置作業については、G エリアの夜間作業を継続実施です。SPT 建屋南側に配置致します2箇所目のセシウム吸着棟の保管施設ですが、本日から敷地造成に入ります。無人化ガラ撤去については、2, 3号機T/B海側を継続実施となります。海工事関係ですが、本日は中止しております。以上です。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1, 3, 4号機のカバーリング工事は、継続実施となります。4号機SFP下部補強工事では、鉄筋型枠組み立てを実施します。こちらについては、今週木曜日にコンクリート打設を実施する予定です。スラッジ貯層施設では、掘削・土砂運搬作業を実施致します。3号機 T/B 屋外開口部閉塞作業は、昨日3箇所の屋根パネルを設置していますが、本日は残りの2箇所、それぞれ小開口になります。パネルの設置を実施致します。以上です。

(1F吉田所長) 台風の対策を実施していますが、海側のサンプリングについては、波等々で定常のサンプリングができなくなること、また、波の影響で核種濃度が変動する可能性があるため、その辺は事前に安定化センターと相談していきたいと思っております。福島第一は、以上です。

(安定化センター) 台風の影響で、モニタリング・サンプリングの中断・データ変動があることは、十分認識しております。調整・連絡を密にしていきたいと思っております。それでは、水処理の状況について報告致します。

(水処理プロジェクト部) 水処理関係については、本日4塔の交換を行った後に、フラッシング・バルブ開閉を行います。また、フラッシングの後ですが、先週配管を取り替えた際に、内面に付着物があったということで、この影響を確認するというので、通常はSPT(B)ラインに処理水を通してありますが、SPT(A)ラインに処理水を通して、どのくらい流量が変化するか、流量の変化状況を確認したいと思っております。以上です。

(安定化センター) 安定化センターからの報告は、以上です。

(環境影響評価チーム) 連絡事項が一件あります。T-WARKによる原子炉建屋周りのダストサンプリングを実施致します。期間は、20日～23日。時間は、16:00から実施致します。場所は、2号機ブローアウトパネル。時間があれば、1, 3, 4号機原子炉建屋周辺のダストサンプリングを実施する予定です。

(本店広報班) 本日の公表案件ですが、(あまり案件がなかったため)3号機タービン建屋屋根を取り付けた件を2日続けての報道となっています。昨日、電柱あ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

から落下してケガをされたことについては、朝日新聞と産経新聞で取り上げています。その他変わったところでは、毎日新聞で、1Fを作った際に地盤を掘ったという経緯が掲載されています。それから、本日ですが、夕方に統合対策室としての道筋の進捗状況の確認を公表予定しています。こちらについては、本日社内テレビで生放送する予定ですので、皆様ご覧ください。開始時刻については、別途イントラ等で連絡致します。モニタリングの状況については、値が変動する可能性があるため、会見の中でも言及しておきたいと思います。

(本店武黒)本日、道筋の公表が行われますが、合わせて統合対策室の在り方についても、関係各所からのご意見をいただいて、集約しているところですので、その点について報告したいと思います。よろしくお願い致します。

これで、本日1回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

～全体会議～

19:00

(本店武黒)モニタをみると、1Fでは雨模様ですが、どうでしょうか？安定化センターからお願い致します。

(安定化センター)本日は、雨が降ったり止んだりの日ですが、現在福島第二の地点では、かなりの雨が降っています。本日は、各設備の養生や強風に対する固縛の状況を点検致しました。また、明日台風が接近する可能性があるということでそれに備える待機体制を整えました。この点、後ほど御報告致します。また、3号機タービン建屋屋根開口部を塞ぐ工事ですが、昨日に続き行われました。この点、後ほど御報告致します。また、ずっと懸案になっておりました水処理システムの流量低下問題について検討して参りましたが、原因が少し絞り込まれて参りました。ただし、対策が確立したわけではありません。その原因につきまして、報告をさせていただきます。本日の作業の様子、プラント状況について、福島第一から報告をお願い致します。

(1F吉田所長)天候は、雨が続いています。楢葉町ぐらいまでは大雨ですが、1Fはそれほどではありません。今夜の夜半から雨が激しくなることが予想されるという状況です。それから、熱中症が一人発生しまして、この方症状が悪くて、38℃を越える熱を出されて、その後点滴治療を行ったのですが、39℃を越える熱ということで、いわき共立病院に搬送して、治療を行っているところです。その後、情報は入ってきていません。ただし、意識はあるという状況です。これもしっかりと状況を確認する必要があるのですが、まず作業前の体調はどうだったのかを確認する必要があります。また、休憩の取り方ですが、休憩中に水をどれだけ補給したのか、その辺が問題であると思っています。装備的には、クールベストを装備していたとのこと。重傷ですから、きっちりフォローをしていきたいと思えます。あと、台風の件ですが、安定化センターと連携・体制を整えています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

台風は、逸れる可能性があるようですが、逸れた場合に太平洋側に抜けると逸れた後の波が高いというのが特徴的にあると思われれます。これは、平成18年に同様の台風がきた時に、福島第一の北湖岸がダメージを受けたという経験がありますので、今後、雨・風が止んでも波高については十分注意が必要であると考えています。

(1F発電班)原子炉注水については、1号機は昨日から若干流量が低下してまして、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ で注水を行っています。7月17日にポンプを切替してから流量が安定していましたので、本日10:00頃に注入量を若干絞っています。操作後もどちらのプラントも流量低下は発生しておりません。パラメータも安定しておりまして、RPV 底部ヘッド温度は 100°C 、SRV排気温度は 108°C 。2号機は $3.9\text{m}^3/\text{h}$ で注水を継続しています。RPV 底部ヘッド上部温度は 125°C 、D/W 圧力は 26.7kPa (ゲージ)、SFP温度は 36.0°C です。3号機は $9.0\text{m}^3/\text{h}$ で注水を継続しています。RPV 底部ヘッド上部温度は 119.0°C 、SFP温度は 32.5°C です。D/W圧力は、 0.3kPa (ゲージ)です。

5, 6号機については、冷温停止中です。

(1F復旧班)滞留水移送関係ですが、2, 3号機からプロセス建屋への移送は継続で、各建屋の水位は下降傾向を示しています。各建屋の水位について、2号機T/B建屋が OP+3506mm で7mm 下降です。3号機は立坑が OP+3696mm で8mm 下降です。プロセス建屋については、監視用PCの不調があり、18:00時点で OP+4908mm です。HTI建屋は、OP+3545mmです。こちらは、上昇傾向にあります。発電班長からありましたように、炉注流量を若干絞っておりますが、復旧班としてもフォローしていきます。滞留水処理装置については、本日順調に4塔の交換を実施していますが、11:00に装置を停止して、15:03に処理装置起動、15:17に流量安定を確認しています。

5, 6号復旧班の本日の作業ですが、6号機 RHRS ポンプについて、吊りワイヤーの当てゴムの交換を実施しました。全体で1時間程度の停止となっていて、著しい温度上昇はなく、終了しています。明日の予定ですが、5, 6号滞留水関係の仮設タンクからメガフロートへの移送は実施致しません。

(1F土木班)本日の夜作業は、中止です。無人化ガラ撤去については、2, 3号機T/B海側を継続です。海関係の作業は、休工です。明日の作業ですが、天候・地盤状況を確認しながら、決めていきたいと思います。

(1F建築班)R/Bカバーリング関係で、1, 3号機のカバーリング工事は、継続実施で作業エリアの整備となります。1号機ですが、R/Bのガラ撤去を継続実施しています。4号機については、本日作業を実施していませんが、クレーンのオペレーターのみ、メーカーの下で作業を実施しています。3号機T/B屋外開口部閉塞作業は、本日は2箇所目の作業を終了しまして、3箇所目は21日以

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

降に作業を実施する予定です。4号機SFP下部補強工事では、8分の7段目の鉄筋型枠組み立てを実施しました。滞留水関係では、スラッジ貯層施設では、掘削・土砂運搬作業を実施しました。飛散防止関係では、コンクリート打設を実施しました。熱中症患者については、39℃近い熱ですが、本人は受け答えできるような状況で、元気とのことです。今現在、点検治療を行った後、症状の改善がみられないところをみると、熱中症の疑いがあるかもわからない状況ですので、本日は精密検査のため、1日検査入院とのことです。

(1F吉田所長) 台風の影響で海水温度が上がってきています。それも要注意ということで、昼間で24℃ぐらいです。福島第一は、以上です。

(安定化センター■■■■) 引き続き、安定化センターから報告致します。最初は、台風対策。

(総合計画部) ※書画にて説明

台風に対する対策と待機体制について説明します。まず、対策ですが、本日まで各設備、工事のパトロールを行いまして、養生、固縛等を確認しています。あと、各設備に対して主なものを挙げますが、冷却プロジェクト部についてはN₂封入設備、炉注設備、SFP冷却設備、プール循環冷却装置設置工事、純水タンク修理工事等に対する現場パトロールを行っています。水処理プロジェクト部では、滞留水移送設備、水処理装置、淡水化装置、海水循環型浄化装置、SARRY 設置工事、地下防災タンク設置工事、淡水化装置設置工事等に対する現場パトロールを行っています。滞留水移送設備、水処理装置は運転を継続し、停止できる体制を確保して対応致します。メガフロートは、1Fの方で移送ホース切り離し、タラップ取り外しを実施済みです。放水抑制プロジェクト部では、R/Bカバーリング工事、4号機プール下部補強工事、建屋開口部、サブドレン設備等の対応を行っています。クレーン作業は、風速 10m/s 以上は中止、風速30 m/s 以上が予想される場合は、ブームを倒して待機。重量の軽い休憩所はワイヤーで固定、無人化注水設備用監視カメラ設備に対してパトロールを実施しています。保安環境部の関係では、MP7/8 代替計測器及び伝送路の固定強化、固体廃棄物固体庫の開口部に土嚢を設置を実施しています。設備基盤部に関しては、設備分電盤、変圧器車、MC等のパトロール、固縛状況の確認を行っています。土木建設部の方では、港湾設備、構内道路、構内河川、Jビレッジ仮設寮、タンク設置工事、ガラ撤去工事等を実施しています。港湾設備では、護岸崩壊箇所土嚢を設置済み、土嚢付近に排水路を設置済み。河川破損箇所は仮排水路設置済み、排水ポンプによる排水を実施しています。7月20日、各工事については、屋外作業、海上作業は中止としています。屋内作業については、状況を見て対応するとのことです。7/20の大熊線3L停止工事を中止していて、7/21に延期しています。それから、対応の体制ですが、台風6号の接近が予想され

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

る20日(水)夜間について、待機体制を実施致します。福島第二免震棟は、各部待機となりまして、総括責任者は[REDACTED]となります。各部は、特管職の責任者1名の他、設備に応じてメンバー数名が待機します。福島第一免震棟は、設備関係者が待機致します。水処理 PJ 部では、滞留水移送2名、水処理1名が待機致します。放出抑制PJ部では、1F建築G 特管職1名+3名が待機致します。施設基盤部では、電気・計装・通信設備 各数名が待機致します。保安環境部では、1名が待機致します。土木建築部は、1F土木G 特管職1名+3名が待機致します。Jビレッジでは、設備関係者が待機致します。施設基盤部では、通信システム 1名が待機致します。保安環境部は、特管職1名が待機致します。土木建設部は、特管職1名+1名が待機致します。また、メーカーについては、東芝、日立ともに1F免震棟に待機し、事務所に工事関係者が待機致します。

(安定化センター [REDACTED]) 台風の予測進路については、明日紀伊半島に接近した後南に転じるとのことで、大いに期待していますが、明日は1日雨であり、夕方から明け方に雨量が増加するというので、対応体制を敷きたいと思えます。

(放出抑制プロジェクト部) ※書画にて説明

昨日、今日と3号機タービン建屋屋根開口部を塞ぐ工事を実施しています。今回穴塞ぎの対象となった箇所を説明致します。大きな開口部で10m以上です。大きな開口部では、パネル3枚で閉塞しています。小開口部については、天候が回復次第実施したいと思えます。

(1F吉田所長) 小さい開口部を残したのはいいが、そこは段付き中間になっているから、雨が流れて入ってこないということを説明しないと、小さいから大丈夫ということではなくて、流れ込まないから今回の台風対策には必要ない、ということではないか？

(放出抑制プロジェクト部) その通りです。

(安定化センター [REDACTED]) ちなみに、塞ぎ板が1枚7tの重さで、人力では動かせません。そのため、クレーンで持ち上げて所定の位置の取り付けなのですが、小開口部は、クレーンのブームがわずかに届かない。では、人力での実施も検討されましたが、小開口部は50mSvということもあって、さらに吉田所長が言われたように致命的にはならないということでした。さらに鉄板と天井の間にコンクリートを流し込んでいます。

(本店武黒) 念のために聞きますが、強風によりパネルが飛ばされないか？

(放出抑制プロジェクト部) 風速40m/h程度までは、飛ばないという評価結果がでています。

(水処理プロジェクト部 [REDACTED]) ※書画にて説明

滞留水処理装置の流量低下問題について説明致します。今、問題になってい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

るのは、アレバの出口にある処理水タンクからサイトバンカ建屋にある処理水タンクへの流量がでないことです。流量が37t/hですが、もともとの設計が50t/hで設計されています。それからサイトバンカ建屋からSPT(B)までのポンプ流量がでない問題があります。滞留水処理装置の流量低下対策として、アレバの凝集沈殿装置から処理水タンクを経て、プロセス建屋からサイトバンカ建屋に流れます。この処理水タンクからSPT(A)、(B)ラインの流量を測定しました。通常のSPT(B)ラインの移送量は、39t/h。それから、SPT(A)ラインでAポンプにした場合の移送量は、56t/h。そして、SPT(A)ラインでBポンプにした場合の移送量は、55t/h。ということで、通常使用していないラインと比較して、SPT(B)ラインの流量抵抗が増大していることが考えられます。また、参考ですが、流量抵抗増大に対する対策として、連絡配管を取り替えています。この箇所溜まったスラッジのようなものの分析結果やエア溜まりの影響も踏まえて流量抵抗の対策を検討していきたいと思えます。

(1F吉田所長)今の説明だと、SPT(A)ラインに変更すれば、流量が回復すると思えてしまうが、そうではないですね？SPT(A)ラインは、線量が高くて、水が流せないはず。

(水処理プロジェクト部) SPT(A)ラインは、汚れた水がほぼ満水の状態であるため、SPT(A)ラインには通水することはできません。今、テストとして1分間ぐらい通水しただけです。通常のラインとして使用はできません。

(本店武黒)スラッジというものが、流量抵抗の原因になり得るということは理解できるが、スラッジがもたらす影響やエア溜まりの影響も含めて調べていただきたい。

(保安環境部)T-WARKによる2号機原子炉建屋ブローアウトパネル周りのダストサンプリングを予定していましたが、台風の影響により中止と致します。

(安定化センター)安定化センターからの報告は、以上です。

(本店広報班)本日は、11:00に会見を行っています。内容については、先ほどありました台風に対する対策、1Fで暴力団を排除する協議会が22日から立ち上がる件について説明しています。時間的には、30分程度で終了しています。なによりも、本日は19:30から当社の道筋に関する記者会見があります。

(福島地域支援室)福島県でも小森常務、部長にて、道筋の記者会見を行っています。

(本店武黒)これからステップ1からステップ2に移りますので、これまで全体会議を朝晩で二回実施していましたが、今後の進め方について関係者からの意見を集約致しました。ステップ1が終了したことと、最近夜に突発的なことがないということなので、これまで以上に計画的な取り組みが主体になってきます。ということで、全体会議については、1日1回、18:00からの開催で、進行は安定化セ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ンターということにしたいと思いますが、各所どうでしょうか？

(各所)異存なし。

(本店武黒)1日1回の会議開催となると、議題が盛りだくさんになるため、会議時間は30分以内と致します。安定化センターにつきましては、その点に留意願います。ということで、明日朝の会議はどうしますか？

(1F吉田所長)台風の状況については、適宜発話するため、明日朝の会議は不要です。

(安定化センター■■■■)何かありましたら、TV会議で発話しますので、明日朝の会議は不要です。

(本店武黒)なお、本店本部は、24時間対応していますので、なにかあればお願いします。それでは、これで本日2回目の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/20(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化センター小森)本日から、安定化センターから全体会議を進めさせていただく。昨日STEP1の終了をご報告させて頂き、本日からSTEP2に進行ということで、18時からの1日1度の全体会議に変更になった。本日は雨で、台風は980hPaで紀伊半島の沖に居座っている。太平洋側に去っていきそうだが、明日未明に掛けて福島浜通も相当雨が降りそう。夜間の管理体制を敷いている。工事は屋外工事はほぼ中止。Gエリアのタンク設置以外は中止している。トピックスとしては、明日から電源の強化として、大熊線3号の電源停止工事。基盤整備としてJビレッジの寮の建設工事の状況、降雨によりモニタリングポストが変動しているその説明。

(1F吉田)福島の様子は雨。水処理の状況については安定化センター■さんより後ほど報告して貰う。一人熱中症が出た。建屋の中でサーベイをしていた人。体調の管理、水の補給の際の塩分の取得。管理をしっかりしていきたい。昨日の熱中症で高熱を出された方、高熱がまだ38℃台、高熱が続いている。診断結果もまだ出ていないのでフォローしたい。

(発電班)1号機。炉注水は3.8m³/h、RPV底部で98℃、D/WのSRV排気温度106℃で変化なし。2号機、炉注水は3.8m³/h、12号機の流量の低下無し。RPV底部126℃、D/W圧力は30.2kPag、D/W圧力は昨日夜から緩やかに上昇しているが、基準値としている100kPagにくらべ十分に低い継続監視する。3号機 9m³/hで継続で炉注水中。RPV底部で118℃、SFPは32℃、D/Wは0.3kPag。56号機は引き続き冷温停止中でパラメータに変動なし。

(復旧班)水処理、水移送は継続。ただ雨の関係でTb/Bの水の低下は鈍っている。2号機はT/BはOP3501で朝から3mm程度の下降。3号機のトレンチは1mmの下降でOP3697。一番雨の影響を受ける1号機Rx/B、OP4512、丸一日で150mm程度上がった。本日4号機ウエルの水張り完了。水移送は明日16時に停止予定。後ほど水処理Tより説明がある。水処理は明日17:40～装置停止して、ベッセル3塔交換を予定。大熊線3Lは9:00～17:00停止予定。本日3号機R/Bの調査のためのロボットを5号機でモックアップしたが、階段昇降が上手くいかず、明日も5号機でモックアップを実施する。

56号機は、明日11:00～翌日18:00まで6号機T/B→仮タンクへの移送を行う。D/G5A、先日地絡を起こしたが、修理が完了し、明日負荷試験75%で10:00から実施予定。

(土木)台風の影響ではほぼ中止。タンクヤードではタンクの組み上げ。ガラ撤去も中止。明日は継続業務の中で作業を実施予定。台風作業、本日残り分実施

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

した。明日以降の予報は、風のピーク、明日のAM、最大28m程度の予報。波、明日AMがピークで最大波7.5m、雨は夜半がピーク。明日は曇りの予報。22日まで午後か夕方までうねりが残る見込み。

(建築)4号機 SFP 下補強、7/8段目コンクリと打設の段取り。1号機カバー、本日クレーンの台風対策で、明日瓦礫撤去とモノ揚場スロープの撤去。3号機のTbのカバーは、鉄板敷きを継続。スラッジ貯蔵施設では採石時期を継続。飛散防止剤点とは基礎コンクリートを打設、明日L型容器設置を本日から継続、ただし本日夜間作業は中止。3号 T/B 屋上の小開口の孔塞ぎ、悪天候のため明後日に変更。昨日熱中症疑いのために入院の方、血液検査等行ったが、原因不明。検査入院中。熱は38.8℃まで上がったが、本人は至って元気。

(水移送 T ■) 今後の移送操作および水位のシュミレーション。(書画参照)代替の傾向として、2号機T/Bの傾向は横ばい、3号機はここ1ヶ月で2~300mm程度低下してきている。プロセス建屋の水位を調整しながら、3号機の水位を下げている。明日16時ころに23号機の移送を停止する(4950を超える見込みのため)。移送ラインの紫外線対策としてカバーの停止、3号機のR/Bの調査を行う、約2日間かけて工事を行う。3号機の再開は7/23の12時目途、2号機は7/25の朝7時から再開予定(台風の影響により水位の状況を観察しながら決めたい)。7/23およそ9時くらいから、HTIからプロセス建屋への移送を開始したい。HTIの地下2階の天井に到達するまで、200m3移送したい。計画では約1日だが、ポンプの実績等確認し、移送を行いつつ時間設定したい。8日毎に実施する予定(最初は23日、次は28日といった具合。状況を見ながら判断したい)。今後、Tb/Bとプロセス建屋の水位が変化すると考えている。

(吉田)今日の雨くらいだと、1日分がロスくらい?

(■)2号機で1日分、3号機で1日半くらい。(目分量で。)

(小森)水処理の方は、昨日報告したが、配管のあつ損の可能性があるので、内部の粘着物の可能性について調査している。では電源工事のスケジュールについて。

(施設基盤部)明日、大熊3号線の停止がある。当初20~22日の予定で大熊線3号線を停止して、夜ノ森線1Lと双葉線1Lを接続することを考えていたが、台風の影響で、21日から23日の予定に変更になっている。さらには台風の進度が遅いので、時間を22日4時~だったが、9時からの停止に変更した。大熊3号線は夜ノ森線1Lと繋がっている。よって大熊線3Lを停止しないと行かない。34号の電源を主としているがこれを停止する。滞留水処理等の停止を伴う。連係線が2本出ているので、9~14時はこちらの停止、15時半~17時まで、滞留水処理の電源を停止する。最終的には大熊線2Lから34号へ供給するをしたい。夜ノ森線1Lと双葉線の1Lの接続を新福島変電所側で行うという工事がある。

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

それが終わったら、もとに戻す。56号機電源は双葉線を経由して2回線を受電できるようになる。23日土曜日については4時～12時、明日は9～17時で行うこととしたい。

(小森)電源の負荷が繋がっている方々は、対応をしっかりとお願いしたい。

(建築)基盤整備の一環として、Jビレッジ1000人室を優先して行う。工事のほうは外観を終わり、内線の工事を実施中。既に600室/1000室。8/1に完成したい。入居は5日遅れ(25日くらい)。付属にシャワー室、トイレは本日から一部使用可能、洗濯機は順次導入、厨房は保健所との調整で9月下旬まで遅れる。広野町のグラウンドには、8月末には600室が出来上がる。厨房は同様に1ヶ月くらい遅れる。スタジアム棟と違うのは、在る程度状況が完備している点。

(小森)基盤整備を着々と進めていてホールボディカウンターの設置なども進めている。

(環境影響評価T)モニタリングが降雨により変動しているので説明する。(書画参照)。(概要)昨日の朝方から雨が降り始め、全般的な傾向として下がっている傾向がある。雨が上がると少し上がる。2Fも同様な傾向。

(小森)事故前であれば、雨が降ると少し上がる、という傾向があるが、このような状況ではダスト分を雨が押さえてしまうので下がるということではよいか。

(環境影響評価T)傾向を見ていると雨が降ると下がる。急激に下がって戻るような動きもあるのでまだ推測だが、水による遮蔽も影響あるかも。今後は78MPについては線量を下げに行かないとならないので、そういった観点で継続して検討して、また報告したい。

(小森)今後もずっと監視して相関関係を見て行きたい。

(水処理PJ)システムが運転中、36.5m³/hで運転している。週報の状況で簡単に説明する。1～4号機の建屋の貯蔵量は約95000m³、プロセス建屋、THIの貯蔵量は22000m³。累積の処理量は24250tの処理を行っている。処理装置のDFはCS134で5×10⁻⁵、137で7.1×10⁻⁵。淡水化処理装置では、入り口のCl濃度は8000ppmが19ppmに下がっている。性能的にはDF等は問題ない。今後流量の低下要因等分かれば報告したい。明日電源停止により13:30～順次停止して、電源停止に備える。また18時30分から起動する予定。明日は3塔のベッセル交換を実施予定。

(小森)後ほど、資料の配布をよろしく願います。

(保安班)個人線量管理関係で、厚労省へ本日報告している。(書画、プレス用紙を参照)。3、4月の内部被ばくのうち、JAEAの評価や聞き取りにより、20～50mSvを超える人について報告。50～100mSvの人は3月は64人に減っている、4月は0人、に再評価結果となっている。まとも次第、再度報告したい。まだ測定していない人が3月は230人、4月は1300人ほどいるので、こ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の中で20mSvを超えた人がいれば、その都度再測定して数値を確定させていきたい。

(広報班)11時は台風関係で20分程度で終了。夕方統合会見は、内部被ばく線量の評価確定状況、たまり水の処理状況について説明している。特に今のところ跳ねたような質問は無かった。水処理設備の稼働率について、7/13～19日については53%稼働率であったと説明した。また今後の統合記者会見のあり方について、週2回(月曜、木曜)に集約したいと説明。STEP1の混乱からSTEP2に移行して安定してきたので2日に絞らせていただく、とした。

(小森)本日から一日1回の情報共有の場として、段取り等の工夫ももっと有り得るが、ほぼ機能できたと思う。本日は強風雨に対する対応もあるが、安全を確保して作業して欲しい。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/21(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化センター) 本日未明から台風6号の影響で風・雨が強くなる影響があったが、炉注ポンプ、水処理システムの影響はなかったものの、Gエリアのタンク工事中の100基のタンクのうち幾つかが雨で傾くということを確認、これらについては手直しを行う。また56号機の2回線受電のための大熊線受電の為に工事を予定通り実施。9時に停止して17時に34号機側の電源の切り替えが終了(23日まで継続)。また3号機の炉注点の変更が出来るかどうか、そのためのロボットの調査を行うがこの練習を5号機で実施している。またカバリング工事、4号機プール補強工事、タンク設置工事、プール冷却の工事、3号機N2封入後の環境モニタリングなどの工事が行われている。電源工事において、順次電源停止をしながら作業を行っていたところ、水処理システム全体が電源停止した。原因は後ほど報告する。現在既に電源が回復しているのでまもなく処理システムが復旧する。

(1F) 電源関係の工事、大熊線3Lから2Lへの切り替え工事を実施している。諸手続は順調に進めている。またD/Gの負荷試験、地絡が発生したための補修対応だが、本日実施して復旧している。また水関係だが、台風が来た関係で、大分水位が上昇しているが、2号機3号機先程夕方停止したが、移送を行っていた割に水位が減っていないということで後ほど報告する。

2号機の炉注水、3.8位で入れていたが、3.6位に緩やかに下がっている、ウォッチして対応を考えていきたい。工事作業員関係で、本日けが人が発生。Jビレッジで階段を滑ってしまった件。Jビレッジには大変迷惑をお掛けしたが、企業さんに周知をしたい。また体調不良は、これは個人の病気の可能性であるため、これ以上の報告は控えたい。また先日の熱中症で高熱を出された方、この方も熱中症とは考えられず個人的なご病気の可能性があることから、転院され診断を受けている。

(発電班) 1号機、3.8m³/hで炉注水中。17時現在でRPVヘッド上部で96℃、流量が多いため底部ヘッド上部の温度が若干下がり傾向である。2号機、朝方3.8m³/hだったが現在3.6m³/h位であり、低下傾向にあり継続監視。RPV底部ヘッドが127℃、D/W圧力が3.2kPa。D/W圧力は気圧の影響で若干上昇傾向。SFPは17時現在で34℃。3号機 9.1m³/h、RPV115℃。送電線工事の関係で、6:30頃プール冷却が停止しているが、プール水温度は顕著な温度上昇なく復旧している。プール水温度は32℃である。D/W圧力は0.3kPaで変動無し。5号機のD/G 5A、確認運転を行い、通常状態に復帰した。

(1F復旧班) 水移送関係、23号機、予定通り移送を停止。2号機は16:04、3

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

号機は15:59、2号機のT/Bトレンチで2mmの上昇、3号機T/Bは3mmの下降、トレンチは4mmの上昇、4号機2mmの上昇。受け入れの集中ラド、今朝方から66mmの上昇でOP5035。滞留水処理は、本日は電源停止の関係で8:38に停止して、18:30頃復旧予定。電源停止関係、本日9:57停止。34号の負荷を2号機に切り替える作業が終了している。明日5時から、遮断機関係の操作になり、7時から大熊線3号の停止を行い双葉線へのジャンパを掛ける予定になっている。

56号機は、D/G5A界磁地絡の対応で、本日負荷試験終了。6号機はメガフロートへの移送は台風の関係で停止している。気象状況を見ながらホースの再接続を行っていく。6号機Tb/Bから仮設タンクへの移送は、本日11時～計画では明日の18時まで移送予定。

(土木)今朝ほど台風のパトロールの補足説明、タンクは先ほどの報告のとおり、数機が傾いていた。漏えいがあった汚染水のピット等、特に異常等はなかった。また港湾内に設置しているシルトフェンス等も異常はなし。本日の作業はタンクエリア、昨日の雨等でかなり路盤等が痛んでいた。路盤の補修作業を実施していて、本日夜間作業でこれらの作業を継続する。ガラ撤去23号Tb海側、Cs吸着塔の南側で継続している。海作業、本日は休工、明日も引き続き台風の影響で休工。

(建築)4号機プール下の補強については7/8打設終了。明日から8段目の段取り。カバーリングについては1号機でモノ揚場のスロープの撤去、Rx周辺の瓦礫撤去。3号機のRxカバーについては鉄板敷きを継続。飛散防止剤テントきそかいき、予備機の据え付け。スラッジ貯蔵設備については水抜き作業を継続。3号Tb天井屋根塞ぎについては、残りの小開口、明日天候が良ければ実施。

(保安班)本日の海水の分析結果については全般的に高めであった。取水口南側、4号機バースクリーン前面、シルトスクリーン内が高い。原因としては波による海底土の舞い上がりが考えられる。

(水処理)現在3号機のTB建屋プロセス建屋移送ラインのフラッシングを実施している。明日は高線量のカナフレックスのカバー設置を実施する。23号機の移送の再開については、今晚の各建屋の水位の上昇率を見て、安定化センターと相談したい。

() 1Fでは以上だが、1Fではエコーがかかっている聞きにくいので、システムの方はあとで調整していただきたい。

() 一つ質問だが、昨日の雨により、1号機の地下の水位の上昇はどうか？

(1F)1号機のTb/Bの水位については本日7時現在から、9時間で72mm上昇している(原子炉建屋)。

() その他安定化センターから。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(保安環境部) 情報提供。Tホーク、明日風が落ち着けば、2号機R/Bブローアウトパネル付近のダストサンプリング実施予定。また23日、3号機の Rx/B の上部、24日は1号機 Rx/B 上部のダストサンプリングを予定。

(水処理部) 今朝ほどの水処理システムの自動停止について。(書画にて。)今朝ほど電源停止の事前準備として、SPT タンクのレベル計測装置の電源をあらかじめ落とそうとした。ここにインターロックの見落としがあり、系統全体として液位不明や満タンであれば移送できないので、これが落ちると工程異常として停止する動作をした。今後、インターロックをよく見てシステムの管理を強化して対応することとしたい。

また流量低下についてこれまで調査をおこなっているが、凝集沈殿装置から次のタンクに行く途中で流量が下がっていた。また、除去装置処理水タンクのポンプ以降の流量が落ちていた。要因としては高い位置でエアがたまり系統圧損が発生しているか、内面に付着物があることが考えられている。調査を行ったが、連絡配管の内面に付着物を確認し、SPT の A ラインに切り替えて、55tの流量が確保できることが7/19に確認出来ている。こういったことが確認できているので、エアブローが完全に出来ていないラインについて、分岐させてカセットホースで仮設に水を移送してあげる、SPT タンク(B)のラインに仮設ホースで流量を確保できるか、といった確認を行っていききたい。雰囲気線量等の確認を行い準備が整い次第、行っていききたい。事前にご説明させていただく。前回この部分についてエアブローを行ったが、分岐点から下流の部分についてはエアが残っている可能性があるため、本日この後もう1本のラインについて、エアブローを行い状況について確認したいと思っている。

(1F) 1Fからあった、2号機の炉注が少し安定しない件について、関連して、3号機の炉心下部温度がここ一週間で順調に10℃くらい下がっている。3号機は9m3の注水を行っているが、この流量を下げる検討を行っているが、3号機に送っているポンプの振動が高くなってくる。現場の意見を聞きながら、これも検討を進めたいと思っている。

(1F) 3号機の検討については一緒に安定化センターと共に進めたい。また、水処理設備については認識が若干異なっていて、手動停止だと思っていたが、意図しない自動停止であったということでしょうか？連絡として1F は認識出来ていなかったが。

(センター)連絡内容が上手く伝わらず、言葉足らずであった。申し訳ない。少しでも予期せぬことであれば、1Fに伝えたい。今後は気をつけたい。

(広報班) 本日のプレスの動向について。本日は主に台風6号の状況について。水位はどの程度上がっているのかという質問。また水処理設備の運用の状況、稼働に関する影響について。またサリー導入についての質問あり。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(武黒) 水処理設備の水位のインターロックの理解不足で停止した件については、基本的なことなので、しっかり再発防止策をしていく必要がある。よろしくお願いたい。

(小森) 本日はJビレッジに居る小森ですが、本日 PM に所在町に対する現状についてのご説明を国と東電で実施。東電への質問としては、道筋の話というよりは、バックチェック関係での指針等の調査の話や、除染に関する質問が多かった。Jビレッジ側で参加させていただいた。

() 明日からもまた多くの作業が開始される。台風が過ぎ去りまた暑い天候になると思われる。一層気を引き締めて作業に当たりたいと思っている。ご安全に。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/22(金)の時系列メモ>

全体会議

18:00

(安定化センター小森)今朝予備変メタクラ7Bでトリップが発生しました。昼頃には受電できたが、原因の深掘りを行っているところです。詳細は1Fより説明をお願いします。

(1F吉田)電源停止の件は後ほど復旧班から説明します。天候は晴れ、気温はそれほど高くなく、熱中症は発生していないが、軽度の負傷が発生しました。プラント状況としては、処理水の移送を再開した。

(1F発電班)本日7:10に電源が停止しました。炉注関係、N2封入関係は継続運転したが、34号機の負荷が停止した。重要設備では、水処理設備とSFP代替冷却設備があった。プラントパラメータについては大きな変動はなかった。

1号機の炉注水流量は3.7m³/hでRPV底部ヘッド上部温度は96℃で安定。2号機の炉注水流量が低下傾向にあったので、8:41に3.4m³/hから3.8m³/hに調整した。RPV底部ヘッド上部温度は127℃、SFP温度は32℃で安定。D/W圧力は33.5kPaで若干増加傾向。3号機の炉注水流量は9m³/hでRPV底部ヘッド上部温度は115℃、SFP温度は30℃で安定。D/W圧力は0.3kPagageで問題なし。

56号機は外部電源の2回線化工事を継続実施中。

(1F復旧班)滞留水移送については、15:53に3号機T/Bからプロセス建屋移送開始し、15:56には2号機立坑からプロセス建屋に移送を開始した。建屋水位は2号機T/Bで25mm上昇、トレンチで22mmの上昇、3号機の方で9mmの上昇、4号機で12mmの上昇です。プロセス建屋で5mmの下降、OP499.0という状況です。

滞留水関係ですが、0:28に起動し、0:40に定常流量到達しておりますが、電源停止により停止。電源復旧後の再起動で15:51には定常流量となった。バッファタンクへはろ過水タンクより補給中です。明日はベッセル交換の予定はありません。

電源関係作業は、本日夜ノ森線1号と双葉線1号の連携配線接続を実施しており、さきほど作業が終了し、17:57に試充電を開始しております。明日4時から大熊線2号にぶら下がる電源を3号に戻す作業を行います。

56号機では6号機T/B滞留水の仮設タンクへの移送については、昨日の11時～本日の18時まで31時間移送しました。明日は11時～18時で予定。メガフロートへの移送は台風の関係で中断しております。

《電源停止に関する説明》(書面による説明)

本日7:10に予備変メタクラ7Bがトリップし、34号機の負荷が全停しました。しかし、炉注とN2ガス封入は継続運転して問題ありませんでした。重要設備では

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

3号機SFP冷却設備、滞留水処理設備が停止しました。

現場作業としては、トリップ確認後に母線側・負荷側のメガーを実施し、異常がないことを確認しました。東北電力さんから東電原子力線に受電、各負荷に電源を供給しました。

原因は、過電流防止リレーの動作によるメタクラ遮断器トリップと分かりました。過電流防止リレーが動作した原因は、S-T相のトリップ設定値の設定間違いで、本来672Aのところ、210Aに設定されていました。

昨晩は問題なかったのに、今朝トリップした理由は、以下のように考えております。昨晩はトリップ設定値に近い電流値ではあったものの動作する値(約199A)までは上昇しませんでした。しかし、朝になってユーティリティ(免震棟の空調・照明関係など)の起動等に伴い負荷電流が増加し、トリップ設定値まで上昇したものと考えております。水平展開として関連M/C, P/C(10群)のトリップ設定値確認を本日・明日にかけ実施します。

(1F土木班)34号T/B海側のガラ撤去を実施し、コンテナ3個分のガラを撤去しました。汚染水のタンク設置は継続実施。明日も継続して行います。台風の影響のある作業は休工としました。

(1F建築班)3号機T/B屋上の閉塞作業を実施。R/Bカバーリング工事は1, 3, 4号機で準備作業を継続します。4号機SFP下部補強も継続実施します。スラッジ貯蔵施設の作業も継続して実施します。

(滞留水移送T)本日17時頃、2, 3号機からプロセス建屋への滞留水移送を再開しました。明日はHTI/Bからプロセス建屋への滞留水移送を実施します。

(1F吉田)雨で水処理もあまり進まない状況で、電源停止で水処理がストップしてしまうことは避けなければならないこと。処理と移送は継続するのがベースであるので、水処理装置等重要設備に関しては、ウェイトを付けて、安定化センターと共に、より慎重な事前検討・評価を行うこと。

(1F)明日米国大統領補佐官ウォードレン氏が来所します。1Fの現場案内を対応します。

(安定化センター小森)工事のメリハリをつけること、事前評価を確実に実施することが課題となる。今後改善していく。

(安定化センター小森)水処理設備、滞留水移送、1号機SFP代替冷却設備に関して安定化センターより報告があります。

(安定化センター■■■■) (書面で説明)

昨日電源切り替え後の水処理設備の起動が、18:30に復旧すべきところ、深夜まで遅れた理由を説明します。アレバ装置の一次反応槽があり、薬液と水を攪拌する攪拌機は1つの反応槽に2台付いています。1台は予備機です。昨日はその1台の攪拌機が不調のため、調査等を実施したため、起動が遅れました。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

原因はまだわかっておらず、不調の攪拌機についてメガーを実施します。システム起動に際しては、最終的には予備に切り替え起動させた。また、明日の電源停止に合わせ水処理設備の電源停止を事前に行う。予定は8:45~13:40。明日はベッセル交換の予定はありませんが、系統フラッシングを実施します。水処理設備の正規な流量が確保できない件に対して、処理水タンクの下流側配管に仮設ホース接続の事前作業として、雰囲気線量を測るため系統フラッシングを実施します。

処理水タンクのエアブローを実施しましたが、若干の流量回復傾向(39.2t/h)が見られた。明日、系統フラッシングの流量の変化状況について確認します。サリーに関しては、ベッセルの水切りを24, 26, 28日で実施する予定でしたが台風の影響で波が高いので25, 27, 29日に変更しております。波の状況でまた変更となることもあります。

(滞留水移送)水処理設備の停止などで水位増加があり、本日夕方運転を再開しておりますが、R/Bへの漏れ込みもあるため、建屋水位は1週間程度横ばいになる見通しです。

プロセス建屋水位に関し、管理値をOP4950としていたが全体の保有水量が多いのでOP5200(OP5600まで貯水は可能)に変更します。管理値は雨量や水量で柔軟に変更していく。

(1号機SFP冷却循環)今週は屋外作業着手しています。来週は建屋内作業を行います。屋内作業開始に先立ち、線量低減対策について考え方を説明します。線量低減対策としては、ハード対策として鉄板敷き、しゃへい板の設置を行う。3階のFPC熱交付近のガレキの線量が高く、鉛マットで遮へいを行う。またクレーンは3階に設置。屋外冷却棟の遮へいも行う。線量管理は一人1日最大10mSv。作業で5mSvを超えるものについては、10mSvのAPDを携帯します。

工程ですが明日から鉄板敷きを開始しまして、屋内での機械・電気関係作業は25日から開始します。最終的な冷却開始は8月10日を目標としています。

(安定化センター小森)高線量での作業、線量低減対策、何かあれば立ち止まって考えること、TBM-KYをしっかりやって、作業を進めてください。

(安定化センター)3号機炉注水流量の変更について説明。現在9m³/hであるが、温度が低下傾向であることから、月曜日に段階的に流量を下げて8m³/h近辺で振動がなければ、8m³/hでホールドしてしばらく様子を見ます。作業は約1時間弱と考えています。

(1F吉田)炉内の崩壊熱評価は問題ないのですね？

(安定化センター)流量変更後(流量減少)、しばらく安定的に低下しており、崩壊熱の問題はないものと考えております。

(本店保安班)厚生労働省に急遽呼ばれ、でWBC、被ばく管理、安全衛生関係

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

に関し、東電、協力企業22社に対し指導があった。今まで通りの管理を徹底していく。

(本店広報班)本日プレス関係ですが、11時に単独会見を40分行い、電源停止の件、炉注・N2ガス封入に問題がなかったことを説明しました。水処理・SFP冷却に関する質問がありました。午後は共同会見で16:30から開始し、18:00現在で大きな質問はありませんでした。

(本部内藤)本日大統領補佐官が本店にみえ、会長以下で対応、通訳をいれ1時間ほどでしたので十分な質疑応答はありませんでした。明日は1Fで質問攻めにあうかもしれないので対応よろしく願います。明日はフジサキ駐米大使もご参加を予定しています。本日のやりとりを後で連絡します。

(1F)本日のやりとりを踏まえて、明日対応します。

(安定化センター小森)大統領補佐官の対応は私も対応します。

(安定化センター小森)作業安全を徹底し週末を乗り切ってください。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/23(土)の時系列メモ>

全体会議

18:00

(安C ██████████) 7月23日、統合本部全体会議を始めたいと思います。本日は、ホルドレン米国大統領補佐官御一行が、1Fに来所されました。対応にあたった皆様、お疲れ様でした。また、御一行に、小森センター所長が同行されております。小森所長、この会議にJVから参加されていますので、後ほど報告いただけるかと思えます。

本日の作業の主なものでございますが、本日からといいますよりか、昨日の全体会議からの作業であります。昨日の19時、5・6号機が2回線受電状態となりました。これは、5・6号の50万Vの送電線である双葉線に6万Vの電気をのせて2回線受電としているわけでありまして、すでに復旧しておりますD/G、これが5号、6号に2台ずつございますが、5・6号の電源の信頼性は、かなりしっかりしたものになりました。

一方、この工事に伴いまして、3・4号機の構内電源は、一時、大熊線2Lのほうから取るように移しかえておりました。その間、しゃ断器のトリップがありまして、予想外の停電が起こるといったことが昨日ありましたが、本日、3・4号の電気は、本来の受電ルートである大熊線3号線のほうに移しかえております。

また、3・4号の電気が復旧しましてから、水処理装置が運転を再開いたしまして、現在、運転中であります。

その他の工事といたしましては、1号機、4号機のプール冷却装置の設置工事、タンクの設置工事、カバーリング設置工事、4号プール補強工事、あるいは、Tホークによる原子炉建屋上部のサンプリング、こういった作業工事が継続して行われております。なお、海関係は、本日、休工でございます。

(1F 吉田所長) 天候、今、小雨が降ったり、やんだりの状況です。気温は、低かったわけで、熱中症等の症状は出ておりません。波の話は、明日は結構高く、5m程度の波高になるとの予想です。波が収まるのは、明後日頃、26日頃の予想となっております。

(1F発電班) 2号機につきまして、給水流量、本日朝方、低下傾向がありましたから、9:35に3.2m³/h から3.8m³/h に調整しています。それ以外は、概ねプラントは安定しています。

1号機は、炉注水を3.5m³/h で継続。RPV 底部ヘッドが97℃です。

2号機は、RPV 底部ヘッド126℃、D/W 圧力35.8kPa。D/W 圧力は気圧の関係もあって、緩やかに上昇している状況です。SFPの温度は、31℃で安定。

3号機は、原子炉注入9m³/h で注水中。RPV 底部ヘッド上部が110℃で安定。SFP水温は、本日の電源停止に伴いまして、プール冷却系を約8時間ほど止めておりますが、プール温度は30℃でほぼ変わっていません。17時現在も31℃

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

です。D/W圧力は、0.3kPaで変動ありません。

共用プールは、こちらの冷却系も、電源工事に伴って、約6時間停止していますが、プール水温度は34℃で変わっていません。

5・6号機のほうは、大きな話はありません。

本日は、ハウスボイラー(A)の負荷試験を完了しています。ハウスボイラーは、いつでも使える状態になりまして、今後、廃棄物処理系の設備が復旧してきますと使用できる状況になっています。

(1F復旧班)1~4号機側は、2号機の炉注ポンプの流量を3.8m³/h調整しております、引き続き注視していきたいと思えます。水移送関係ですが、2号は朝方からT/B、トレンチともに変化はありません。3号は、昨日16時からT/B17mmの下降、トレンチのほうは、昨日から4mmの下降です。4号は、昨日から3mmの上昇です。

受入側、集中RWで今朝の7時より88mmの上昇でして、OP+5091mmです。HTIは、昨日から2mmの下降でOP+3650mm。現在、HTIからプロセス建屋に移送中で、19時頃に停止する予定です。

滞留水装置関係は、電源停止の関係で、本日8:45に停止しておりましたが、15:26に起動し、16:27に定常流量に到達したことを確認しました。ベッセル関係は、明日、4搭取り替える予定です。電源関係は、12:26に通常状態に戻ったことを確認して、3日間の電源停止作業ですが全て完了しました。

昨日のしゃ断器トリップの関係で、水平展開として、設定値を持っている電源盤の確認をしましたが、昨日と今日で全て確認をしまして、全て問題ないことを確認しました。ご迷惑をおかけしました。

5・6号側は、双葉線の66kV化につきまして、先ほど[]さんからもありましたとおり、強化されました。

6号機T/B地下から仮設タンクへの水移送については、先ほど終わりました。本日も計画通り11:00から18:00で終わっています。

メガフロートへの移送は、明日、波の高さが低く安定していれば、ホースのつなぎこみをしまして、10:00から17:00の予定で、メガフロートへの移送を行います。

(1F土木)無人化ガラ撤去工事は、本日は、3・4号機T/B海側を実施しまして、コンテナ4個分のガラを収容しました。

汚染水処理のためのタンク設置は、継続実施していますが、一部工程的に厳しいところがあるため、昼夜作業を実施します。それ以外の作業につきましては、本日計画分は終了しています。

また、海工事については台風の影響があるため作業中止しています。明日も、台風の影響があるため、中止としています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F建築)R/B ガバーリング関係ですが、1号機は、物揚場のスロープ撤去工事と周辺ガラの撤去です。明日は、物揚場のスロープ撤去後の鉄板敷きと周辺ガラの撤去になります。3号は、周辺路盤の工事、明日も継続です。4号は、本日、160トンクレーンの操作で、明日も同様に継続作業にあります。

4号SFP下部補強は、本日、8分の8段目の型枠鉄筋工事で、明日も引き続き、継続工事になります。

滞留水関係で、スラッジ貯蔵施設の建築工事ですが、地盤改良と休憩所の設置、明日も同様の工事の継続になります。

(1F保安班)ルーチンで実施しております海水サンプリングですが、放水口の南側、北側については、本日も波が高かったため中止しています。明日も、現場を確認して、ご連絡します。

(安C 電気) ※書画にて説明

外部電源の今の状況について、ご説明します。外部電源につきましては、5・6号機ですが、従来、夜の森線1回線で受けておりましたが、50万の双葉線2回線受電にするということで、工事を進めてまいりました。先日、双葉線の2号線を活用して、1回線の受電の形でしたが、先日21日からの停止を活用しまして、2回線の受電に切り替えております。

現状の形になりますが、双葉線の1号線2号線を使った、2回線の受電となっております。この工事を21日から実施してきましたが、3・4号の電源の、大熊線3号線と新福島変電所側が共通となっていたため、3・4号機の電源の切替を、21日と本日実施しておりましたが、そちらのほうも、無事、3号線側に切り替えを終わっております。

昨日の予備変 M/C でリレーの設定の誤りによりまして、M/C がトリップした関係もありまして、予備変の M/C のみにつきましては、東北電力の原子力線から受電しています。免震棟、休憩所等につきましては、東北電力のほうから受けています。こちらにつきましては、現在、関係者と調整中ですが、26日の火曜日早朝に、本来の形である、大熊線の2Lからの受電に切替作業をする調整をしています。4:00から5:00までの、早朝の1時間になります。引き続き、ご協力をお願いいたします。

5・6号の電源につきましては、こちらのように、2回線受電になりましたので、かなり信頼性はあがったと考えています。計画外の停電もありましたが、関係者の皆様のご協力、ありがとうございました。

(安C 水処理) ※書画にて説明

本日、朝、8:45からフラッシングを行いまして、フラッシングを開始したということで、装置としては、水処理のほうは停止状態になっています。今日は、15:26に、電源停止後の起動をかけた後、16:27に38.5t/h で安定状態で運転を開始

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

しています。

フラッシングは、流量低下対策で、仮設ホースをつなぐために、作業エリアの雰囲気線量を確認するというので、線量の確認を行っております。配管表面で直接はかると50mSv/hで、少し、10cmぐらい離れると、だいたい10mSv/hの雰囲気線量でした。今後は、遮へいを行いながらの作業になると思いますが、工事の方法につきましては、手順を確認した上で、工程調整をさせていただいて、作業を進めてまいりたいと思います。

昨日、凝集沈殿装置の入口側の一次反応槽のミキサー、薬液を混合させるためのミキサーがありますが、1台が不調だということで、本日メガを実施しています。メガ測定の結果、0.01MΩということで、抵抗はなく、短絡状態だとわかりましたので、ミキサーの交換を行うことで調整しています。ただし、線量が高いので、作業手順、タイミング等につきまして確認した上で、作業を進めてまいります。

明日は、ベッセル4搭の交換を予定しています。セシウム吸着塔の4搭を予定しています。いまの線量であれば、フラッシングを行わずにできそうな線量ですので、予定としては、明日は運転しながら、ベッセルの切替作業をやった上での交換を実施することで考えています。明日の朝の、線量等の状況を確認しながら作業を行いたいと思います。

(安C ████████) 流量低下対策の工事を行えるタイミングの見通しは？

(安C 水処理) 仮設ホースの手配をかけていまして、手配状況の確認が取れ次第、実施してまいりたい。ただし、各建屋の水のたまり状況を考えまして、タイミングを見計らってやりたい。作業は、配管切断等があるため、丸1日近く作業がかかってしまうと予想していまして、今の水のレベルを考えながら実施したいと考えています。

(1F吉田所長) その点につきましては、かなり、台風で雨水が入ってきまして、水の処理がクリティカル、水の管理がクリティカルになってきている。38トンから40トンですけども、なるべく連続して運転して欲しい。改造工事をして、流量がリカバーすることはありがたいことですが、停止のロスをよく見てやっていきたいと思う。準備をしておくことでいいが、よく考えないといけない。

それから、もう1つ、電源の話がありましたが、水処理が電源関係で飛びますと、止めますと、復旧するときに制御室のサーベイだとかが入ってきたりだとか、要するに、停止時間が長くなると。このキーポイントは、水処理が止まっている時間を、どう短くするかが、発電所の運営上のクリティカルポイントになりますので、そこをよく考えて、今後のいろいろ練っていく必要があるんで、よろしく願いたい。

(安C 水処理) 今回、電源停止等でいろいろと課題等がわかってきましたので、制御室の電源、特に空調の電源が落ちてしまうと、全面マスクを着けて、またサーベイがありますので、仮設電源の準備等につきまして、検討を早急に進めて

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

改善策をとってまいりたいと思います。

(1F吉田所長)それでいいと思います。あと、SARRYもちょっと遅れている、高濃度廃液タンクも遅れがってになっている、要するに、余裕を持つべき部分が全部遅れがってになっているので、改造工事は、急いでやって、万が一、止まっている時間が長くなることを避けたいことがあるので、そこはよく、バックアップの工事工程との絡みを考えて欲しい。よろしくお願いします。

(安C [REDACTED])全く同じ意見です。とにかく、全力を挙げまして、水の問題を最優先にして、進めてまいりたい。流量が低下している問題、マスコミで取り上げているが、吉田所長が言ったとおり、いま我々厳しい、水で厳しい状況にありますので、先を急がず、むしろ、しっかりと水のリスクを回避しながら、着実に一步一步すすめることとしたい。

(安C 保安)今朝、4:37から6:08にかけて、T ホークで3号機R/B建屋上空ダスト採取を行っています。明日は、4:00から6:00にかけて、1号機R/Bで同様作業を予定しています。ただし、天候によっては、中止の可能性もあります。

3号機窒素注入時のモニタリングですけども、8番のモニタリングポストの並行観測地点、展望台ですけども、風雨による不具合がありまして15時に一回欠測しています。その後、人間系でフォローしまして、欠測分の前後で変動無いことを確認しております。ちなみに、17時に復旧しました。

(本店広報班)中央のマスコミへの説明状況です。本日は、土曜日のため、午前午後ともに当社単独会見です。午前約40分で、午後は17:30から会見中です。

内容は、昨日の停電等のトピックのほかに、道筋でご説明した、水処理の関係、冷却の関係、あるいは、敷地境界での線量評価などについての、質問が寄せられています。大きなことではなく、確認の質問が多いという印象です。

(安C 小森所長:JV より)今日、米国大統領補佐官のホルドレンさんの視察の対応をしました。2Fでは [REDACTED]、1Fでは吉田所長、 [REDACTED] ユニット所長ほか対応、準備怠り無くやっていたいただきました。2Fでは、現場に行きまして、D/Gの冠氷したところ見まして、皆さんかなり興味津々のような感じでした。1Fでは、雨が降っていたため、マイクロバスの中からは若干、外の景色が見えにくい状況かなと思いましたが、だんだん言葉少なくなったといいますか、現場状況がかなり大変な状況であったということ、直接的に感じられたんじゃないかと思えます。スケジュールとしては予定通り、JVに戻って、着替えていわきのほうに向いましたので、皆さんの対応の努力に感謝したいと思います。いずれにしても、1F、2Fにおきまして、現場でいろいろと、事故の対応あるいは復旧活動で、がんばっていたということに関しては、皆さんの活動に非常にリスペクトという

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

か、尊敬に値する活動であったとおっしゃられていましたので、ありがたかったと思います。月曜日に、ワシントンに戻ったら、大統領に直接報告するというお話をされていました。

(安C ████████) 小森所長ありがとうございました。それでは、7月23日の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/24(日)の時系列メモ>

全体会議

18:00

(安C 小森所長)本日も作業を継続があるが、海側の波は収まっていないので、本日はサリーの水切りも出来ない、また水処理関係も悩ましいところがあるので後ほど説明したい。

(吉田)本日は気候は晴れで、水処理装置も連続で動いていて、良い日であった。出来ればこのまま継続して稼働して欲しい。

(1F発電班)1号機、本日11:10に炉注を3.3→3.8m³/hに調整している。2号機 3.6m³/h、若干下がり傾向だが注意深く監視していきたい。3号機については9m³/hで変化なく注水継続中。主要パラパラメータは安定している。1号機はRPV底部ヘッドが97℃です。2号機は、RPV底部ヘッド126℃、3号機はRPV底部ヘッド上部が112℃で安定。SFP温度は2号機は31℃、3号機は30℃。2号機はD/W圧力35.8kPag。D/W圧力は、0.3kPagで安定している。4号機はウエル水張りを実施していて、約5時間で140m³注水している。

5・6号機のほうは、大きな話はありません。

(1F復旧班)1~4号機側は、1号機の炉注を3.3→3.8m³/hに調整している。今後も注視していきたい。水移送関係は23号機の移送は継続している。2号はT/Bは変化なし、トレンチは1mm下降、3号はT/B4mmの下降、トレンチは2mmの下降。4号は4mmの下降。

受入側、集中RWでプロセス建屋は14mmの上昇でして、OP+5146mmです。水処理関係で、本日ベッセル交換4塔実施。設備は停止していない。ウエル注水は140t実施。

6号機T/B地下から仮設タンクへの水移送については、本日11時~16時で実施。明日はなし。明日はタンクからの移送のみとなる。メガフロートへの移送は、本日は中止。R/Bのカバリングの水切りの関係で干渉するので、メガフロートへの移送の再開は7/28より、となる。

(1F土木)無人化ガラ撤去工事は、本日は、3・4号機T/B海側を実施しまして、本日コンテナ3個分のガラを収容した。汚染水処理のためのタンク設置は、工程が一部厳しいので、昼夜作業で1:30くらいまで実施予定。それ以外の作業につきましては、本日計画分は終了している。

また、海工事については台風の影響があるため作業中止しています。明日も、台風の影響でうねりがあるため、中止としている。

(1F建築)カバリング準備関係ですが、1号機は、物揚場の鉄板敷きと周辺ガラの撤去、3号は鉄板敷き、採石敷き、4号は160トンクレーンの操作で、明日も同様に継続作業になります。

4号SFP下部補強は、本日、型枠鉄筋作業、明日も型枠・コンクリ打設の準備

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

作業、火曜日にコンクリ打設の実施となる。スラッジ貯槽施設では、地盤改良、休憩所設備の実施作業となり、明日も継続作業になります。

(1F保安班)昨日に引き続き、海水サンプリング、放水口南部2地点、台風の影響の高波のため、本日中止している。

(水処理)ベッセル4塔組み替え実施、11:15~12:14切り替え作業実施の後にベッセル交換を継続実施。交換後は38m³/h、前日と大きく変わりはない。また昨夜、夜間運転中にHスキットのNo.4のポンプ1台がトリップしていて、手動で切り替え実施している。システム全体としては流量が確保され水処理が継続しているが、1台不具合がありトリップしている。こちらはインバータ制御で換えれるが、現場に制御盤があり線量があり、またポンプのメカとか交換するためにはアイソレが必要があり、アイソレ手順が確立したら、安全を確保し点検作業を実施したい。また先ほど、水処理設備のバッファタンク補給を濾過水タンクに切り替えた。10:40からRO装置の間欠運転を開始しているが、RO装置の入口側に砂濾過装置があつて、この逆洗が上手くいかないのので、RO装置を停止している。この処理水(タンクレベル)が十分でないののでバッファタンク側を濾過水側に切り替えを実施している。砂濾過装置の上手く動かない件については原因調査中。分かったら別途報告したい。明日はキュリオンについて、ベッセル3塔を交換予定。また、サリーを設置工事を進めているが、本日圧力容器の水切りを延期している。明日の波高は予想では1.4mとのことで、朝小名浜を8時に出航して、26日に1Fに入港して、受け入れて水切りを実施したい。状況については適宜報告する。

(小森)1号機のN2供給装置が不調とのことで、状況と、切り替えるかどうか、説明をお願いします。

()コンプレッサーのドレンが多いこと、またオイルレベルが規定値を割っていることがパトロールで分かったので、PSA1を止めてPSA4から供給することとしたい。PSA4は、2号機3号機に供給しているが、PSA4が容量140NM³/hあるので、実質2号機が13t、3号機が14tなので余裕が十分ある。よってタイラインを用いてPSA4から1のほうに切り替える操作をこれから実施したい。万を考慮して、PSA4を何日止めてもOKか、評価を安全Gと確認したい。

(小森)PSA1の故障の調査や修理はすぐ明日とかに出来るのか？

()メーカーと調整しているが、メーカーが明日から夏休みに入るので調整、確認中。

(小森)緊急なので、メーカーにお願いして、対応してほしい。ラインの確認等、手順を確認してしっかりやって頂きたい。発電所と相談して現地を見て対応してほしい。

(循環注水冷却T)明日、3号機の注水操作、ポンプの振動診断を行いな

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

がら流量下げ操作を行うことで、以前明日は中止とご説明したが、すでに発電所には説明も実施出来ており、明日8m³/hまで増やすことをめざして実施する。明日9時くらいに作業前に集まって免震等で協議し実施する予定。

(小森)明日状況を報告してほしい。

(本店広報班)本日のプレス対応状況。AMは11:00～11:40、夕方は17:30、本日は■■■■本部長代理から■■■■本部長代理として、これから毎週日曜については■■■■sが対応することとなった。内容は、水処理設備の状況、炉注水の低下状況について、報道にあった作業員の被ばくと線量計について、Tホークやサリーの設置状況について質問を受けている。

(小森)Tホークについては今朝飛んで、1～3号機の観測を行ってとりあえずのミッションを完了している。では、健康と安全に気をつけて、作業を継続してほしい。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/25(月)の時系列メモ>

全体会議

18:00

(安定化センター 小森所長) 3:51に震度5弱と強い余震があった。今後も余震に対する危機管理を徹底していきたい。水処理装置は運転に入った。停止の原因調査については後ほど安定化センターの方から報告する。現場に近い1、2号機S/Bに休憩所を設置し運用を開始した。後ほど状況を紹介する。

(1F吉田所長) 天候は晴れ、暑いが凌ぎにくいほどではなかった。熱中症患者、ケガ人はなかった。雲行きがあやしいので今夜にわか雨が降るかもしれない。

(1F発電班) 1号機の炉注水量は3.8m³/hで実施、昨日11時調整してから安定している。RPV底部ヘッド上部温度は97℃であった。2号機の炉注水流量は3.6m³/hで実施、RPV底部ヘッド上部温度は125℃、SFP温度は32℃、D/W圧力は35.8kPa(gage)で安定している。3号機の炉注水流量は9m³/hで実施、RPV底部ヘッド上部温度は112℃、SFP温度は30℃、D/W圧力は0.3kPa(gage)で安定している。

56号機は冷温停止でパラメータは安定している。

朝方の地震ですが、地震発生後のパトロールで異常はみられなかった。

(1F復旧班) 滞留水移送・水処理は継続している。建屋水位の変動は微妙な状況。2号機は増加傾向を示すが3号機は低下傾向を示した。

2号機T/Bは4mm上昇してOP3601、3号機立坑は2mm下降してOP3744、4号機T/Bは3mm下降してOP3613となっている。1号機のR/Bが28mm下降し、OP4909という状況なので、1号機の影響が2号機に出ているのではないかとと思われる。

水処理装置ではベッセル3塔を交換した。なお、交換にあたって水処理装置の停止はなかった。RO装置については13時に起動しております。停止原因については安定化センターから説明があると思います。2号機では使用済み燃料プールで12時半頃～13時半頃にかけて1m³のヒドラジンを注入した。

56号機では6号機滞留水の屋外仮設タンクへの移送を明日実施予定。仮設タンクからメガフロートへの移送再開は7/27に予定している。

(1F土木班) タンク設置はG・Hエリアで本日・明日実施する。ガラ撤去はコンテナ3個分を撤去した。明日も引き続き3号機T/B海側ヤードでのガラ撤去を予定している。明日の海関係工事ですが、1～4号機シルトフェンスの・・・、56号機カーテンウォール撤去、北護岸のテトラ設置を実施いたします。

(1F建築班) 1、3号機ガラ撤去実施。4号機ではメーカー対応のもと機械式ステージのオペレーティングを実施。1号機R/Bカバーリング工事の柱部材を6:30に入港、接岸し水切りをする予定。スラッジ貯槽設備は継続で地盤改良、休憩所設置、碎石敷きを行っている。飛散防止テント設置では基礎コン打設、夜

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

間作業で屋根テントの骨組み？を実施する。

(滞留水移送T)HTI/B水位が上昇傾向。明日10時～18時にかけて、滞留水200トンを移送する予定。今後の運用は安定化センターの方から説明する。

(安定化センター)

〈水処理関係(RO装置)〉7/24 12時にRO不調の件について説明する。(書画で説明)RO装置が停止した原因が分析できたので、本日13時に再起動している。こちらの状況について説明する。

昨日7/24、RO-2で淡水化処理を実施していたところ、11:57に淡水化装置の中にある砂ろ過の逆洗ポンプの圧力が上昇しない事象が発生した。原因はポンプ前段に設置してある水槽のレベルスイッチの設定ずれ(ポンプ吸い込み配管レベルより低い水位になっていた)により逆洗ポンプがエアーを吸い込んでしまったことが分かった。レベルスイッチの再設定をして本日13時に再起動している。明日はSMZのベッセル1塔を交換する予定。全体のシステム停止はない。

(1F吉田所長)レベルスイッチについて、信頼性の高いものにできないのか？それに命預けるのは寂しいものがある。

(安定化センター)現在使用しているレベルスイッチは汎用品であるため、今後高信頼性のレベルスイッチの見直し・設置を検討する。

(安定化センター)明日の予定を補足します。サリーというバックアップ装置の吸着塔の移送の件ですが、本日18:00に小名浜港を出港して、明日8:00に1F着港し水切りを予定している。またわかり次第連絡します。

(安定化センター小森所長)カバーリング工事で実施する水切りと干渉しないのか？

(安定化センター)時間・場所が違っていること、お互い調整により干渉することはない。

(安定化センター滞留水移送T)台風以降水位上昇が見られることから、建屋水位管理値について説明します。現在管理目安値はプロセス建屋でOP5200。2・3号機T/BではOP3600である。運用としては、プロセス建屋でOP5200に到達したら2・3号機からの移送を停止し水位を一旦下げる。2・3号機の水位がOP3600に到達したらプロセス建屋への移送を開始する。

現状、台風の影響で水位上昇が見られ、プロセス建屋の水位上昇も見られる。2・3号機からは連続移送が必要な状況であることから、OP5200を超えている状況である。7/26～8/8にかけて2日に1回は起動・停止操作が行われる。この間に雨が降ればさらに短くなり夜間での対応も出る余裕のない状況。そのため、プロセス建屋の管理目安値を一旦OP5400に、2・3号機T/Bの管理目安値をOP3700に変更する。起動・停止操作のスパンを広くしていく。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

HTI/Bからプロセス建屋への移送は明日7/26が2回目で、今後1週間に1回程度移送する。

それぞれの管理目安値OP5400は、2・3号機からプロセス建屋への移送量10mm/hであるので、仮に水処理装置が停止すると20時間しか余裕がない。また、OP3700という数値は(プロセス建屋に移送できないと)OP3850には4日で到達する余裕のない値である。

(安定化センター) 1・2号機S/Bの2階に休憩所を設置し、運用を開始した。トイレ・喫煙所があり、80名が休憩できる。7/23から運用を開始しており、利用可能時間帯は9時～16時である。

(安定化センター:電源関係)明日、4時～5時にかけて電源切り替えを行う。予備変メタクラの遮断器トリップ事象により、現在東電原子力線から供給している。これを本来の大熊線2Lに戻す作業である。

(環境影響評価T) T-HAWKによる建屋開口部付近のサンプリングを実施した。2号機についてはR/Bブローアウトパネル付近(建屋10m上空)でサンプリング実施した。測定結果についてはI131が検出限界未満、Cs134・・・、Cs137は・・・(聞き取れず)。3号機はI131、Cs134が検出限界未満。1号機もI131、Cs134は検出限界未満であった。これらのサンプリング結果を基に・・・について評価していく。

(安定化センター小森所長)採取位置が離れすぎていたのか、実際に低いのかについてもそこも含めて評価していくことになると思う。

(安定化センター)次回T-HAWK飛行予定は未定。

(安定化センター小森所長)計画できたら報告すること。

(本店広報班)本日のプレス状況についての報告。午前中は11時から午後は16:30から統合会見を実施した。メインテーマは、淡水化装置の不適合説明で多くの時間を割いた。水処理装置について関心が高い印象があった。水処理装置の信頼性に関する質問があった。また、T-HAWKサンプリング、特別PJの体制変更について説明した。

一点、安定化センター・サイトをお願いをしたいことがあります。水処理装置に関する関心は高いので、タイミングを逃すと遅かった理由を追及される。現場対応が大変ではありますが、事象が発生したら即時報告をお願いしたい。

(安定化センター小森所長)適宜情報提供していたつもりであるが、不適合なのかどうか確認しているうちに時間が経過していたことも考えられる。今後は何かあれば事象報告するようにする。

(安定化センター小森所長)本日はIAEA天野事務局長一行が1F及びJVをご視察された。帰り際に天野事務局長からIAEAとして貢献できるのではないかとということで政府・東電と話す機会があればそういうことを協力できる点はないか話

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・ 個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・ 時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

をしたいという話がありました。中長期的な今後の見通しを含めて議論していきたい旨話があった。事故収束に向け現場の方が熱心に取り組んでいる印象を持たれていた。

(安定化センター小森所長)夜間作業があると思います。健康に留意して現場作業にあたってください。今週1週間1歩ずつ前進してください。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/26(火)の時系列メモ>

全体会議

18:00

(安定化センター) 本日は2F、楢葉町曇りで比較的しのぎやすい天候であった。台風以来波が高くて止まっていた海上作業が再開している。本日はかかりつけの機材の水切り、サリーの水切り、透過防止鋼設置のためのシルトフェンスの開閉、水処理ではキュリオンのポンプが昨夜1台トリップすることがあったが、直ちに起動している。水処理については関心が高いので日々正しい情報を報告していきたい。

(1F) 本日は曇り空だったが、気温高く、あまり環境は良くなかった状況。1人軽い熱中症が出た。4時過ぎに小雨が降り滞留水に影響がないか心配したが、今は雨がやんで晴れ間も見えている。本日は前面マスクのフィルターを付けずに外に出たという事案が発生した。同様な事案は6月に2件ほどあったが、今回は社員だったこともあり、マスク着用時のリークテストの励行等、徹底していきたい。なお本日早朝5時前に予備変メタクラの受電作業を無事に完了している。

(1F発電班) 1号機の炉注水量は3.8m³/hで継続、安定している。RPV底部ヘッド上部温度は97℃であった。2号機の炉注水流量は3.5m³/hで実施、RPV底部ヘッド上部温度は125℃、SFP温度は33℃、D/W圧力は35.5kPa(gage)で安定している。3号機の炉注水流量は9.0m³/hで実施中、RPV底部ヘッド上部温度は112℃、SFP温度は31℃、D/W圧力は0.3kPa(gage)で安定している。

56号機は冷温停止でパラメータは安定している。

(1F復旧班) 滞留水移送・水処理は継続している。2号機は増加は止まり傾向、3号機は低下傾向を継続している。2号機T/Bは1mm上昇してOP3603、3号機T/B立坑は2mm下降してOP3739、4号機T/Bは15mm下降してOP3600となっている。1号機のR/Bが48mm下降し、OP4836という状況なので、流れ込みがゆるまってきているのではと思われる。プロセス建屋は水位が55mm上昇してOP5266。本日はHTI→プロセス建屋への移送が行われた関係で、HTIについては146mm下降しOP3530。本日4:20~4:46で予備変メタクラの受電切り替え完了、サリー装置の水切りによる接岸が7:47~9:00、HTI→プロセス建屋への移送は9:59~16:01、3号機へのR/Bロボット入域は11:15~13:00、明日は人による調査を実施。2号機SFPへのヒドラジン注入を11:15~12:52、水処理装置はSMZ1塔の交換の予定が、差圧が高いことから2塔交換、11:37~14:06で実施。明日はHベッセル4塔の交換を予定。

56号機では6号機滞留水の屋外仮設タンクへの移送を本日再開、明日の16時まで継続を予定。仮設タンクからメガフロートへの移送再開は明日に10時~17

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

時で予定している。5号機の仮設RHR(B)について吐出弁の追設等を行う。RHRSは既に本設ポンプを運用しているので、停止はない。

(保安班)前面マスクのフィルタの付け忘れの件、Jビレッジでホールボディを受けて問題ないことを確認している。なおフィルタがないことに気づかなかったことは基本動作であるリークチェックを企業さんに求めているのに当社が出来ていなかったということで問題であるので徹底を図りたい。

(1F土木班)タンク設置はG・Hエリアで本日・明日継続実施する。ガラ撤去は引き続き3号機T/B海側ヤードでのガラ撤去を実施している。本日はコンテナ5個分を撤去した。明日も継続実施する。明日の海関係工事ですが、56号機のカーテンウォールの撤去、本日明日で実施する。1～4号機透過防止の掃海、今日明日で。本日は午後シルトフェンスの開閉を2回、明日は9時と12時の2回実施予定、北護岸のテトラ設置を実施した。明日は無し。

(1F建築班)4号機のSFP下補強は本日8/8コンクリ打設を完了していて、明日からグラウト注入用の型枠の設置に入る。1号カバー設置工事は本日1回目の鉄骨搬入の水切りで柱鉄骨の水切りを7:00～9:10にかけてメガフロート上に載せている。明日はメガフロート上に載せた鉄骨を物揚場に移送する予定。3号カバーリングは鉄板敷き、補強コンクリートピット打設。飛散防止テントについては昼夜作業で実施しており屋根材の搬入、テント壁の組み立て実施。スラッジ貯蔵建屋は地盤改良を継続実施。

(安定化センター)本日の水切りを実施したことの紹介について。

(放出抑制の)水切りの風景の写真を紹介。柱を立て込む為の仮置きのための特殊な架台の搬入について。損傷を与えないために柱を立てたままで仮置きする。北側のゼロ節と呼んでいるが、最初の柱を2本搬入してメガフロートに本日上げて、明日物揚場に搬入する。縦横が1900mm×高さ9m、重さは30t弱。来月付属の部品等を現地で設置予定、8月初旬から立て込みを行うことで進めている。

(水処理PJ)本日の作業はSMZのベッセル交換実施。キュリオンの入口側のベッセルであり、差圧が高くなっているので3番目、4番目を交換実施。差圧が高くなると流量が出にくくなるので、本日追加でもう1塔、計2塔実施。明後日にもう1塔交換する予定で考えている。明日はHスキットの中についてベッセルを1台づつ実施するためのバルブの切り替えを実施する予定。昨日のポンプのトリップはこのHスキットの中の1台のポンプが停止。再起動をかけている。警報が出ていなかったとのことで、今後状況の調査を行う。またサリーについて吸着塔があり並べられるようになっているが、本日吸着塔の容器について1Fに船で運び陸揚げを行っている。(写真あり)

(冷却PJ部)3号機にロボットを入れて、R/B1～3階の線量測定を実施。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

3号機と2号機は給水系から冷却を実施しているが、より効率的な注入点について探っている。現在3号機であれば9t/hで給水系から行っているが、シュラウドの外側から入れているので、シュラウドの中側に入れることができないかと検討している。候補は3つで、CS系、JP計装ライン、SLCライン。候補となっているラインのバルブや近辺の線量についてロボットで調査を実施している。北東のエアロックからロボットをいれて、北東階段の1階のところは20mSv、踊り場で34、2階に上がって52mSv。作業時間は11:15～13:00。目標は3mSv、最大で0.8～0.44mSv。こちらが2階の状況、ロボットの動線としては、弁操作を行うMUWの弁とCSのMO12Aの動線の線量を計った。2階に上がってすぐは少し高く75mSv/h、MUWで48、CSで45。床上の線量で、床上から弁は2～3mあるので、明日は人が入って実際の線量を計りたい。なおRCW熱交換器廻りは22mSvとなっていた。CS系から入れるにはMO12A弁を空けないと行けないが、梯子壊れてなく大丈夫であった。CSから入れるにはMUW36ラインの弁を開ける必要があるが、こちらも写真で見ると健全。3階に上がる踊り場からは空が見えるが、がれきが多くロボットではこれ以上行けない状況であった。明日、SLCは3階にあるので、もし人が行けないのであれば、SLCはあきらめることとなる。

(広報班)本日のレク状況について。本日11:00～11:40で単独でAMレク、17:30～現在会見中。会議で紹介のあった、カバリングの資機材の水切り、サリーの水切りを写真で紹介、クインスの調査状況について。特にクインスについてはどういう目的で入っているか、他のラインが使えるのか、効率的に冷却できないのか、興味を持たれている。早速本日の産経夕刊で取り上げられている。炉内の燃料に直接的に散水、ECCS系配管を使い効率的に冷却可能なように作業に着手、と大分注目された取り扱いとなっている。

()では本日も引き続きご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/27(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化センター小森)水処理については週報が発表されたのでそれに沿い説明したい。また本日10人位で3号機に入って調査を行った、後ほど説明したい。また、先ほど発話があったが3号機について8m³/hに流量を低下させようとしたが、ポンプではなく調整弁の振動があったので、現在中止している。メガフロートの移送ポンプのメカシールが漏れたため交換を行った。明日交換する予定。

(1F)熱中症の発生本日2名あり。クールベスト等は着用していた。引き続き熱中症、けがに対する注意喚起を行っていききたい。

(1F発電班)1号機の炉注水量は3.8m³/hで継続、安定している。RPV底部ヘッド上部温度は96℃であった。2号機の炉注水流量は3.5m³/hで実施、RPV底部ヘッド上部温度は124℃、SFP温度は34℃、D/W圧力は34.8kPa(gage)で安定している。3号機の炉注水流量は9.0m³/hで実施中(調整中)、RPV底部ヘッド上部温度は111℃、SFP温度は31℃、D/W圧力は0.3kPa(gage)で安定している。

56号機は冷温停止でパラメータは安定している。

(1F復旧班)さきほどあったように炉注ポンプについては1台化して、3号機の流量は9→8に変更しようとしたが、配管の振動が発生するので、現在調整中。1号が3.8、2号は3.5、3号が9.0で落ち着かせるように操作を実施している。滞留水移送・水処理は継続している。T/B水位低下傾向も維持している。2号機T/Bは3mm下降してOP3597、3号機立坑は2mm下降してOP3733、4号機T/Bは8mm下降してOP3594となっている。1号機のR/Bが22mm下降し、OP4775という状況。プロセス建屋は水位が9mm上昇してOP5297。HTIについては8mm上昇しOP3605。本日は4号機原子炉ウエルの循環冷却装置の工事が進展していて、10:50～11:37二次系AのT/R実施、10:20～13:00一時系の水張りを実施。明日は2次系BのT/Rおよび1次系の耐圧試験を実施予定。4号機SFP原子炉ウエル水張りを明日130t実施予定。3号機R/B人による調査12:00～12:40実施。水処理装置は本日Hベッセル4塔を交換して、11:06～17:23完了。明日はSMZの交換1塔を予定。

56号機では5号機の仮設RHR(B)について吐出弁の追設等を明日も継続して完了する予定。6号機滞留水の屋外仮設タンクへの移送を11時～16時まで実施予定。仮設タンクからメガフロートへの移送本日ポンプメカシールからメカリークがあったためポンプを交換している。再開は明日に10時～で予定している。

(1F土木班)タンク設置はG・Hエリアで本日・明日継続実施する。ガラ撤去は引き続き3号機T/B海側ヤードでのガラ撤去を実施している。本日はコンテナ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

4個分を撤去した。海関係工事ですが、56号機のカーテンウォールの撤去、1～4号透過防止鋼の設置工事を実施した。本日9時、11時半2回、シルトフェンスの開閉を実施。明日も同様に実施。昨日のシルトフェンスの開閉の結果ですが、保安により測定した結果、有意な変動はなかった。北護岸のテトラ設置は本日実施しなかったが明日は実施予定。

(1F建築班)1号機のカバーリング工事は、PC基礎の設置工事 レベル調整を行う。3号機のカバーリング工事は周辺の路盤整備。4号機はSFP下部補強は最上部に残った隙間部分を埋めるグラウト部分の型枠工事。スラッジ貯蔵建屋は地盤改良を継続実施。

(水処理PJ)水処理関係の週報について、先週からの実績の報告を行う。T/B 1～4号機合計で貯蔵量が96980m³、前回から各号機とも200～500m³増加している、よって建屋の水位がプラスに転じている。プロセス建屋の貯蔵量は23670m³、プロセス建屋で1410m³、HTIで180m³増加。先週からの水処理量は4870m³、累積29100m³処理している。性能はCS134で5×10⁻⁵、CS137で7×10⁻⁵の除染性能。入口で8000ppm 出口側で19ppm、変わった所はない。処理水は濾過水が990t、水処理して淡水に戻ったものは1800t 累積で8510tとなっている。先週からの実績は以上。装置の処理流量37m³/h、淡水化装置も連続運転中。本日夕方18時にサリーベッセルが小名浜港を出発して28日朝に1Fに到着予定。

(小森)サリーのベッセル船便は3回でいいか。合計で3回来るうち、2回が終了したということ? →Yes. 残りは30日に来る。

(計装設備G)格納容器内の放射性物質濃度で、設備は1号機は準備ができた。仮設のサンプリング装置を搬入して、接続を試みている。接続先は既設の水素分析計があり、1号機は29日にサンプリングを行い、濃度測定ができるようになりそう。2号機は8月上旬に。3号機は線量が高かったり、既設でサンプリングが出来るラインが使えるものがなく難しそうな状況で未定。

(冷却PJ部)3号機R/Bに入って、調査を実施した。調査場所はR/B1～3階、計画線量10mSv 最大4.61 最小3.06。3号機機のシュラウド内側への直接注水ラインとして、CS系、JP計装ライン、SLCを利用を念頭。SLCは3階にあるが、2階から3階には上がれないことがわかり、3階のSLCラインは断念することとなった。JPのセンシングラインは、TB側南東のエアロックに計装ラックあり、ラックの上段から80、90、90mSv/h。計装ラックはテスト弁があり、ここに接続して9箇所からセンシングラインから注水しようと思っている。またCSからの注水ではMO12Aを開けると、751弁を開ける、1255弁を閉める操作が必要になる。弁付近の線量は751弁 弁の付近で45mSv/h、階段上で20mSv/h、床上60。負荷の大きい MO9A は床上4.5m上にあり、ハンドル近傍で170m

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

Sv/h、遮蔽ピットがありその底面で280mSvとなっている。また3階にあがってみようとしたが踊り場に瓦礫があって、これ以上上がるのはあきらめた。

(放出抑制T)1号機R/Bカバーについて報告徴収対象になっていて、小名浜で借り組をしているが、29日のPMに NISA の製品検査の立ち会いを頂くことになった。具体的には梁材の長さについて範囲内かを確認する。

(本店広報班) マスコミの対応状況について。本日は AM は11:00~11:40まで。3号機の調査結果が大半を占めている。また、メガフロートの説明をしているが、会見終了後に追加情報提供依頼を受けている。漏えい箇所、漏えい量について淡々と受けとめて貰っている。海への流出が関心がある。夕方は17:39~実施中。3号機の調査結果、プラント状況から原子炉3号機の注水量の変更の確認、サンプリングの結果。3号機の注水量の状況については取りまとめて状況提供させて頂きたい。

(小森)メガフロートへの移送で、メカシール漏れがあった件、一般の人からはポンプは漏れないと思われていること、一般的にはグランドは漏れるものなので、場合によっては取り替えるのが普通のものなのだが、漏えいのみが捉えられる可能性があるので気をつけて表現することが必要と思われる。

日々様々な調整を行っているが、着実に進めていきたい。関連の方々のご協力を引き続きお願いしたい。ご安全に。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/28(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化センター小森所長)本日のトピックスですが、明日の1号機格納容器内のガスサンプリングに向けた段取りを終えました。水処理装置関係の運転状況を後ほど紹介します。サリー吸着塔の水切りを実施しました。3号機N2ガス封入後2週間を経過したということで後ほど環境影響評価Gから環境モニタリング状況を説明します。また雨が降りそうだという状況なので雨水に対する注意が必要です。

(1F [REDACTED])天候ですが、さきほど雨が降り始めました。パラメータは安定しております。作業については、今朝サリー2回目の水切りを実施しました。本日はケガ人、熱中症は出ておりません。本日は夜間作業が予定されています。

(1F発電班)1号機の炉注水流量は3.7m³/hで、RPV底部ヘッド上部温度は96℃で安定しております。2号機は3.2m³/hに減少していたので、17:30に3.6m³/hの増操作をしております。RPV底部ヘッド上部温度は123℃、SFP温度は34℃、D/W圧力は34.8kPa(gage)で安定しております。3号機は9m³/hで、RPV底部ヘッド上部温度は111℃、SFP温度は32℃、D/W圧力は0.3kPa(gage)で安定しております。

56号機は、冷温停止状態でパラメータに異常はありません。

1～3号機のパラメータ測定頻度の延長連絡をお知らせします。これまで3時間おきに中操に出向いてパラメータの採取・記録を実施していましたが、これまでプラント状態が安定していること、中操内にカメラを設置、あるいは遠隔のデータ監視計を設置し、主要パラメータを免震棟で確認しているということから、中操に出向いてのデータ採取頻度を3時間から6時間に延ばします。これに合わせて、情報班から発信されるパラメータは一緒ですが、頻度が3時間から6時間に伸びます。本会議終了から5時、11時、17時、23時というようなデータ採取に移行したいと考えております。なお、注水量の変更、注水点の変更などイベントが起きる場合には監視強化として従来頻度でデータ採取いたします。

(1F復旧班)滞留水移送・処理については継続実施中。T/B水位低下が継続。建屋水位ですが、2号機T/Bでは5mm下降でOP3587、3号機トレンチでは3mm下降でOP3724、4号機T/Bでは1mm下降(3mm下降が正しい値)でOP3587(OP3585が正しい値)となっております。1号機R/Bは15mm下降してOP4732という状況で大分落ち着いています。プロセス建屋では17mm上昇でOP5337、HTI/Bでは9mm上昇しOP3686となっております。HTI/Bの水位の上がり大きいことから、明日10時に2、3号機からプロセス建屋への移送を停止し、その後HTI/Bからプロセス建屋への移送を6時間程度実

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

施します。

その他、サリー2回目の水切りを7時～7時45分で実施しております。

1号機格納容器内のガスサンプリング装置の単体試験を実施しておりまして、明日サンプリングを実施します。4号機SFP代替循環冷却装置については2次系BのT/R、1次系耐圧試験を実施しました。明日インターロック試験を実施します。4号機原子炉ウエルの水張りを14:33から継続中です。明日は3号機SFPのヒドラジン注入を予定しております。バッファタンクのN2サンプリング装置の増設が終わっておりまして本日T/Rが完了しております。滞留水処理ですが、SMZベッセルNo. 2(1塔)を交換しました。明日はHベッセル3塔交換を予定しております。

屋外仮設タンクからメガフロートへの移送を10時～17時で実施しました。明日はメガフロート上での作業の関係で中断します。T/B滞留水の屋外仮設タンクへの移送を明日10時～17時で予定しております。

(1F土木班)G、Hエリアでタンク設置を継続実施しております。ガラ撤去は3、4号機T/B海側を実施しコンテナ7個分撤去しました。明日も継続で実施します。

港湾工事関係ですが、56号機カーテンウォール撤去を実施しております。本日午前中に1～4号機シルトフェンス開放を2回実施しております。

(1F建築班)カバーリング工事ですが1号機ではPC基礎設置を2箇所実施しました。3号機は周辺の路盤整備を実施しました。4号機SFP下部強化では型枠工事を実施しました。明日からモルタル打設を開始します。スラッジ貯蔵設備では継続して地盤改良を実施します。飛散防止テント設置は継続実施します。

(安定化センター)〈環境影響評価G(書画説明)〉

7/14 20時に3号機N2ガス封入を開始して2週間が経過しました。環境モニタリングの状況ですが、N2封入後からのMPデータを見る限り、N2ガス封入によるデータの有意な上昇はみられません。従いまして、N2ガス封入に伴うモニタリング強化を終了いたします。

〈水処理〉本日SMZベッセル1塔を交換しました。フラッシングなしで実施。流量は38t/hで運転しております。淡水化装置は運転を継続しております。明日はHベッセル3塔の交換を予定しております。

(安定化センター小森所長)サリーの最終日は30日を予定しております。8月上旬は残る陸側の繋ぎ込みがあり、繋ぎ込みによる水処理停止などがありますので、その辺の工程がわかり次第報告するようお願いします。

〈冷却PJ〉1～4号機のSFP代替冷却に関する報告徴収の内容で、一部変更しておりますのでプレスを実施しております。変更内容は細かい内容ですので説明は割愛します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店広報班)本日の中央プレスでの説明状況をお知らせします。午前中は11時に東電単体会見を実施し、午後は16時30分から共同会見を実施しました。午前中の会見は30分弱で実施しており、水処理を中心に説明しております。午後の会見は現在も会見中ですが、福島県民の被ばく調査に関する質問があり、当社への質問はこれからのようです。当社では1号機格納容器内のガスサンプリング、3号機現場調査の話、代替冷却の件について説明しております。

本日の読売新聞夕刊の1面トップでは水処置関連記事が掲載され、内容は水処理が進んでいないことが書かれている。一方でサリーの設置。少量の水で冷却できることなどについて書かれている。

(細野大臣)様々なトラブル対応お疲れ様です。8月は過酷な現場状況になると思われま。現場の皆さんの健康管理を徹底して、この夏を全員で乗り切りましょう。政府としても何かあれば協力します。よろしくお願ひします。

(2F)モニタリングポスト点検によるデータ欠測についての連絡です。7/29～8/8まで1台/日で精密点検(校正・警報設定値確認など)を実施します。点検による欠測時は簡易モニタによる監視を実施します。また、データ欠測に関してHP上でお知らせいたします。点検台数は6台です。MPは全部で7台ですが、津波で流されて7/7に新たに設置したMP1台を除いた台数です。

(安定化センター小森所長)4号機のSFP代替冷却を今月中に始められればと考えております。厳しい環境の中での作業となりますので、大臣のお話しでもありましたが、健康管理に注意して作業に進めていきたいと思ひます。他になければ全体会議を終了します。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/29(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化センター) 朝方強い雨が降り、その後断続的に雨が降りましたが、現在は晴れております。建屋の水位は1週間前の台風による影響がなくなってきた。2, 3号機からプロセス建屋、HTI/Bへの移送を停止しております。後ほど建屋の水位状況を報告します。PCVガスサンプリングを実施しておりますので後ほど紹介します。継続作業は1~4号機SFP代替冷却装置設置工事、エバポ式淡水化装置設置、これは来週からの運転を目指しています。ヤードではGエリアではタンク設置を実施しております。総勢約3000名の方が作業に当たられております。

(1F吉田所長) 1Fではちよつと雨が降った程度でした。本日傷病者が1名発生し、診断名は気管支ぜんそくでご本人の持病とのこと。

(1F発電班) 1号機の炉注水量は3.5m³/h、RPV底部ヘッド上部温度は96℃です。2号機も3.5m³/hで注水しております。1, 2号機の炉注水量については低下傾向が見られますので、今後注視してまいります。RPV底部ヘッド上部温度は123℃、SFP温度は34℃、D/W圧力は34.4kPa(gage)で安定しております。3号機は8.9m³/hで、RPV下部ヘッド温度は107℃、SFP温度は32℃、D/W圧力は0.3kPa(gage)で安定しております。今までRPV底部ヘッド上部温度を読み上げておりましたが、同じ温度で安定していること、他号機との整合、HPデータとの整合から、これからは下部ヘッド温度を読み上げます。両方のパラメータに変動がある場合は、両方読み上げることとします。

56号機は冷温停止継続でパラメータに異常はありません。

(1F復旧班) 1, 2号機の炉注水量が低下傾向ですので、今後注視し3.2~3.3m³/hまで低下したら流量調整により流量を増加させます。3号機SFPではヒドラジンを1m³注入しております。明日は2m³注入を予定しております。4号機の方では明日ウェル注水の予定です。本日2, 3号機からプロセス建屋への滞留水移送を停止しております。建屋水位ですが、2号機T/Bは15mm上昇、トレンチは18mm上昇しております。3号機T/Bは18mm上昇、トレンチは3mm上昇しております。4号機は1mm上昇しております。プロセス建屋水位は18mm下降しOP5347、HTI/Bは139mm下降してOP3568となっております。水処理関係では、本日ベッセル3塔を交換しております。明日は4塔交換を予定しております。4号機SFP代替冷却装置ではインターロック試験を実施し終了しております。1号機ではPCV内ガスサンプリングを終了しております。

6号機では10時~17時にT/B滞留水を屋外仮設タンクに移送しております。明日は11時~16時に移送を予定しております。メガフロートへの移送は水切り作業のため移送は中止しております。明日は10時~17時に仮設タンクからメガ

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

フロートへの移送を予定しております。

(1F土木班)G、Hエリアのタンク設置を継続実施しました。降雨の関係で土工事は中止しております。夜間作業も休工とします。ガラ撤去は継続で3号機T/B海側で実施しコンテナ6個分撤去しました。1~4号機透過防止工設置工事でシンプロ開閉作業を2回実施しております。

(1F建築班)カバーリング工事ですが、1号機では小名浜ヤードから鉄骨材の海上輸送を実施しました。メガフロート上に水切りしました。また小名浜ヤードでは鉄骨材の製品検査を保安院によって実施されています。明日はメガフロートから陸上への荷降りを行います。3号機周辺の路盤工事継続実施、4号機SFP下部補強では、本日最後の型枠工事を実施し、明日は無収縮グラウトを注入します。スラッジ貯蔵施設では地盤改良を継続実施します。

(滞留水移送)プロセス建屋水位調整のため、現在2、3号機からの滞留水移送を停止しておりますが、水位を見ながら明日16時頃移送を再開する予定です。

(安定化センター)〈冷却PJ部〉本日、1号機PCVガスサンプリングの結果をお知らせします。10:00~17:26に7名が入域して、最大被ばく線量は5mSvでした。実際のサンプリングは13:10から開始し、サンプリング結果は、Cs137が $1.7E+1$ (Bq/cc)、Cs134は $2.0E+1$ (Bq/cc)でした。ヨウ素は検出限界未満でした(後ほどCs137とCs134の数値が逆であることが発覚、訂正連絡が入る:正しくはCs137が $2.0E+1$ (Bq/cc)、Cs134が $1.7E+1$ (Bq/cc))。本日は速報値であり、今後慎重に評価していく。また、2号機では8/4にサンプリングする予定です。

(安定化センター)〈放出抑制PJ部〉4号機SFP下部補強工事は明日最終グラウトで作業終了となる。(この工事で強度が2割?程度上昇することが確認されています。(良く聞き取れなかった))

(安定化センター)〈水処理PJ部〉今朝5:08にセシウム吸着塔HスキッドNo. 3入口のNo. 2ポンプが停止しているのを確認した。系としては流量に変化は見られなかった。本日ベッセル3塔交換時の切り替えにあわせて現場状況確認を行い、スキッドには異常は見られず、ベッセル切り替え後起動操作を実施しなかったが起動できなかった。No. 1ポンプも起動できなかった。7/25にもNo. 2ポンプで同様な事象が確認されている。そのときは再起動できた。ポンプ点検にあたって系統へのインパクトを考えると、確実な手順を定めて作業にあたらない。そこで、点検手順を定め、明日ポンプ主回路のメガー測定を実施します。明日のベッセル交換にあわせて実施する。現在の処理流量は37t/hで昨日と同じ状況は変わっていない。明日はベッセル4塔を交換する予定。サリーの最後の水切りを明日予定しています。本日18時に小名浜港を出港し、明日7時に1Fで水切りを予定している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店 保安班)本日厚生労働省に6月新規入域者の外部被ばく線量分布と3、4月報告分のその後の状況について報告した。厚生労働省からは線量低減を指示されている。厚生労働省からは、個々の外部被ばく線量をレシートで配るよう指示があったが8/15から1F、JVでレシートを配ることとしている。最後に初期入域の方の教育を充実させていただきたい。JVの方で実施されているとのことなので継続して実施させていただきたい。5月分を8/10に再度報告することになっています。WBCについて未受検の方は来週中にJVまたは2Fで受検していただきたい。

(1F吉田所長)月毎の被ばく線量の推移(比較)に何の意味があるのか?そんなことより、特定の人被ばく線量があがっていき、いずれ作業ができなくなる恐れがある。先を見据えた対策の検討を本店にお願いしたい。1Fからの強いお願いである。

(本店広報班)マスコミへの説明状況について報告します。本日は午前11時、16時、17時30分に会見を実施している。午前中は、やらせ問題の件...〈聞き取れず〉当社ではそのような事実はない旨説明している。具体的には...出席要請はあったが、...第三者...〈聞き取れず〉。16時の会見では中小企業仮払いについて説明、学校法人、医療法人について対象外との報道があった。本日、学校法人、医療法人についても新たに仮払い対象である旨説明した。そのほか作業被ばく線量の報告がなされた。作業環境改善についても報告した。

(安定化センター)1号機PCVガスサンプリング測定結果の訂正。正しい測定結果は、Cs137が $2.0E+1$ (Bq/cc)、Cs134が $1.7E+1$ (Bq/cc)です。

(OFC)被ばく線量を示した表に対して解説を要求。3月と4月と比較し、被ばく線量が下がっており、同時に東電と企業の比率が大きく変わっているのか解説してほしい。

(1F吉田所長)本店ではなかなか回答できないので1Fから回答する。定量的に評価していないが、3月11日から10間程度は直営作業で当所所員が高い被ばく線量となった。その後、少しずつ線量が低下、安定してきた。4月以降は(当社)人数が増えているが、協力企業の作業員に作業をお願いしていること。個々の工事では高線量エリアでの作業などがあり、協力企業の被ばく線量が多くなったものとする。

(1F吉田所長)明日、海江田大臣が来所される予定に変更はないか?

(本部高橋フェロー)予定通りと思われる。そのような(変更となる)情報は入っていない。

(安定化センター)全体会議を終了します。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/30(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化センター小森所長)本日の天候は、曇ったり雨が降ったりという状況。夕方は強い雨が降った。後ほど水処理関係の報告をする。本日は、4号機SFP下部補強の作業が終了し、余震対策ができた節目となる日。また、4号機SFP冷却装置関係では明日試運転を実施し、今月中の冷却運用が期待できる。

(1F吉田所長)現在小雨が降っている状況、夜半まで降るが降雨量はそれほどでもないと思われる。

(1F発電班)1,2号機炉注水関係では、注水量低下により流量調整を実施している。本日11:57に1号機を3.4m³/hから3.6m³/hに調整し、2号機では3.3m³/hから3.6m³/hに調整しております。調整後の流量は安定しております。

1号機では炉注水量が3.6m³/hで、RPV底部ヘッドが96℃となっている。2号機では炉注水量が3.6m³/hで、RPV底部ヘッドで122℃となっている。SFP温度は34℃、D/W圧力は32.7kPa(gage)となっております。3号機では炉注水量が8.9m³/hで、RPV下部ヘッドは106℃、SFP温度は32℃、D/W圧力は0.3kPa(gage)となっております。

4～6号機では特に報告事項はありません。

(1F復旧班)本日3号機SFPにヒドラジンを注入しております。注入量は2トンです。4号機原子炉ウエルへの水張りを実施しております。注水量は45トンです。滞留水移送関係では、2,3号機の滞留水移送を16時頃再開しております。

建屋水位ですが、朝7時からの変化量は、2号機T/Bで18mm上昇、3号機T/Bでは9mm上昇、4号機T/Bでは10mm上昇しております。プロセス建屋では78mm下降して、OP5139となっております。HTI/Bでは8mm上昇してOP3648となっており、管理目安値であるOP3700に近づいておりますので、明日移送を予定しております。

水処理関係ではHベッセル3塔交換しております。明日の交換予定はありません。サリーでは最後の水切りを実施し、据付工事に入っております。

4号機SFP代替冷却装置関係では明日試運転を実施し、異常がなければそのままインサービスします。

56号機では、11時～16時に6号機T/B地下から仮設タンクへの滞留水移送を行っております。また、10時～17時に仮設タンクからメガフロートへの移送を実施しております。

(1F土木班)汚染水タンク設置をG・Hエリアで継続実施しております。夜間作業は本日雨天のため休工します。ガラ撤去は3号機T/Bで実施しております。

1～4号機透過防止工ですが、シルトフェンス開閉を2回実施しております。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F建築班)R/Bカバーリング工事、1号機では周辺のガラ撤去を実施。本日メガフロート上の鉄骨の移動を予定しておりましたが、一部はクレーンの不具合で8/1に延期することになりました。3号機では搬入路の整備。

4号機SFP下部補強では、本日最後の工程であるグラウト注入を実施し、作業を終了しております。来週は片づけに入ります。

スラッジ貯蔵施設は地盤改良を継続実施。飛散防止テント設置では、本日20時から屋根の枠組み、テントの壁の組立作業を実施します。

(安定化センター)〈水処理PJ〉(書画で説明)

本日Hベッセル3塔交換を実施している。処理水量は37トンです。サリーは最後の水切りが終了し、試運転向け組み込みを実施しております。

本日共用プール建屋の滞留水(約200トン~300トン:非常に線量の低い地下水が主体、津波による海水浸入で若干塩分を含む)の移送を開始している。この滞留水は事前に分析しており、ROで直接処理しても問題ないことを確認済みである。本日11時からSPT前段の仮設タンクに移送を開始しており、概ね8/1には移送が完了する予定である。

また、本日、不具合のあるポンプ点検を実施しております。キュリオン・セシウム吸着塔のH3スキッド No. 1, 2ポンプ及びH4スキッド No. 1ポンプの計3台についてメガー測定を実施した。16:50に実施し、3台とも相間のメガーが0MΩでモーター故障の可能性が高いことがわかった。今後ポンプの交換を実施する予定である。(モーターのメーカーはイーコン)

現在ポンプ不具合はあるが、処理流量に変化はなく37t/hで実施しているため、早急に交換対応しなくても問題ないと考えている。交換時期については、システム全体の停止を条件とした各作業(たとえば、8/4に実施する処理流量定格割れに対する調査でのラインフラッシング時やサリー試運転の切り替え時)に合わせて実施する。

(1F吉田所長)モーターの故障率が高い。1.5ヶ月程度の稼働で8台中3台が故障(メガー0MΩ)するのは製品自体が良くない。モーターの仕様変更はできないのか?特殊仕様で簡単にはできないのか?

(安定化センター)〈水処理PJ〉インバータ制御で制御系とセットであるので簡単にはできません。今後、故障メカニズムの解明などを進めていく。

(安定化センター小森所長)交換に向けた対策の検討を進めなければならない。サリーの運用開始である程度処理に余裕ができくるものと思われる。また、ポンプ交換時の被ばく線量の問題等もある。その辺のバランスを考えて対応していく。8/4のシステム全停を一つをターゲットにポンプ交換を検討する。処理流量低下などの事態も考え、交換品の確保等対策を検討しなければならない。

(本店広報班)マスコミ対応状況を報告します。本日の会見ですが、午前中は1

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

1時～11時30分、午後は17時30分から現在も継続中です。主な午前中の会見内容は1号機PCVガスサンプリングに関する質問がありました。サンプリングをして何が分かるのか？PCV内の状況は？・・・など。これに対して、引き続き検討を進めていくが、2号機のPCVガスサンプリングを来月予定しているため、その結果も踏まえて評価していきたいと説明した。

次に「やらせ」の件で、5/31の柏崎刈羽、99年のプルサーマル関係での住民説明会で東電社員が質問していた(ことは事実なのか)との質問に対し、夕方の会見で当社ではそのような事実は把握していないと回答している。

夕方の会見では、SFP下部支持構造物工事の完了ということで、写真を用いてこれまでの工事経緯を説明した。■■■■部長代理は会見で、4号機SFP循環冷却装置が運転できれば安定冷却にもっていけると説明。

(安定化センター小森所長)本日、海江田経済産業大臣が1Fの視察と激励のために来所された。1Fでは1時間程で休憩所や現場の視察、その後激励の言葉をいただいた。対応された方お疲れ様でした。また、その後広野町サッカーグラウンドに設置している寮、WBCなどを10分程度ご視察された。

他になければ本日の全体会議は終了いたします。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<7/31(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化センター小森所長)本日は曇り。今朝方発生した、震度5強の地震について、プラント全体では大きな問題はなかった。

本日、1F-4のSFP代替冷却装置について、インサービスした。後ほど詳細報告する。

水処理関係について、ホースから水漏れが確認されたため交換した。なお、全体の水処理装置の停止にはなっていない。

サイトバンカー内の地下の溜まり水をサンプリングしたところ、放射能のレベルがある程度高かった。進入ルート等について調査をしなければならないと考えている。明日以降もしっかり調査する。

(1F)

4号機SFPの代替冷却装置について、本日インサービスをし、86℃→82℃にまで水温が下がった。

水処理装置のホースの傷は小さかったが、水処理施設そのものは連続運転している。

プラントについて、1、2号機への炉注水流量が下がってきたので3.7m³/hまで上げる調整をしている。

(1F発電班)地震について、6号機の地震計で水平37.2ガル、鉛直32.5ガルであった。現場パトロールの結果、異常なし。

1、2号機炉注水流量が低下傾向であった。地震後のパトロールで確認したときは1号機3.5m³/h、2号機3.2m³/hまで下がっていた。5:01に1、2号機とも3.7m³/hに調整した。

1号機RPV底部ヘッドは96℃である。2号機RPV底部ヘッドは121℃であり、SFP温度は34℃、D/W圧力は32.5kPa(gage)である。3号機では炉注水量が8.9m³/hで、RPV下部ヘッドは106℃、SFP温度は31℃、D/W圧力は0.3kPa(gage)である。

4号機はSFPの代替冷却システムについて、流量100t/hで順調に運転している。温度関係は現在、燃料から上1.7mにあるTEで82℃程度である。

5、6号機については、地震の影響はなかった。また、大きなイベントもなし。

(1F復旧班)

炉注水については、引き続き注視していきたいと考えている。

4号機SFP代替冷却装置試運転の前に、満水をするため25tほど注水を実施した。

2、3号機については、プロセス建屋への移送を継続している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

各建屋の水位について、2号機 T/B は 1mm の下降、トレンチは変化なし。3号機 T/B は 3mm 下降、トレンチは 2mm 上昇。4号機 T/B は 1mm 上昇。プロセス建屋水位は 22mm 上昇で、OP5180mm である。

13:58、HTI 建屋からプロセス建屋へ移送した。その関係で、HTI 建屋水位は 16mm 下降で OP3662mm である。

RO 出口側のホースから漏えいがあった、原因と対策について安定化センターから話しがある予定である。

仮設タンクからメガフロートへの移送は 10 時～17 時に行われた。明日は他作業との干渉があるため実施しない。メガフロートへの移送は 11 時～16 時に行われた。明日は中断する。

(1F 土木班) 汚染水タンク設置を継続実施している。ガラ撤去は 3、4号機 T/B で実施している。1～4号機透過防止工ですが、準備として掃海作業を実施している。本日分については終了し、全完である。明日は〇〇船の搬入を実施する。

(1F 建築班) R/B カバーリング工事について、1号機では R/B 周辺のガラ撤去、3号機では搬入路の整備を実施している。明日朝 8 時よりメガフロート上において、資材搬入のため水切りを行う。滞留水関係では、〇〇を継続実施している。飛散防止テント設置について、昨夜から行う予定は雨天のため中止していたが、作業再開は本日 20 時から予定しており、屋根の枠組み、テントの壁の組立作業を実施する。

(1F 発電班) 8月1日、運転員が 2 交代勤務に復帰する。

(1F 保安班) 7月30日、サイトバンカーへ水処理チームに同行して線量を確認した。地下底部に 20cm 程溜まっている状況であり、水表面で 12mSv/h、サンプリングボトル表面で 700 μ Sv/h であった。水分析の結果、セシウム 137 で 2×10^4 Bq/cm³ であり、過去の分析結果と比較すると、2号機滞留水で 6 乗オーダー、4号機滞留水で 5 乗オーダーであるので若干近い。原因は机上で検討を実施している。

(1F ■■■) 江田環境大臣が本日来て、意見交換した。

(1F ■■■) (書画で説明) 4号機 SFP 循環システムについて報告する。(系統構成について書画資料で説明)。運転の結果、86℃から 83.2℃になった。10 数時間でプール水が入替わるため、明朝あたりで温度変化がある程度現れると思う。

(安定化センター水処理プロジェクト) (書画で説明) RO 装置出口から出ているカナフレックスのホースから漏えいが発生した。汚染水の処理を終えた STPE のタンクからくみ上げて、供給タンクと供給ポンプを経て RO 装置に入ってくる。漏えい量は、50リットル位と予想している。線量は 10^6 オーダーの汚染水が RO 装

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

置を抜けているので、9Bq/cc と、周りのバックグラウンドより低い非常に低レベルな値である。現在は、RO 装置を起動して元の状況に戻っている。明日、他全体に同様の箇所がないかパトロールを実施する。

(安定化センター滞留水処理チーム) サイトバンカーで確認された汚染水について説明する。現在 T/B 地下に溜まっている滞留水をプロセス建屋、THI 建屋へ移送している。さらに、サイトバンカーと焼却工作建屋について移送の準備をしていた。サイトバンカーでサンプリングをした経緯は、地下に溜まり水があったため、地下水の染みこみと考えていたが、念のため確認したものである。汚染の経路については、サイトバンカーとプロセス建屋の移送配管について漏れを確認を行っていたが、ホース内に水が溜まっているとサイフォン効果で流れ込んでしまった可能性がある。明日現場を確認する。今後の活動として、サイトバンカーの水位監視をする。

(安定化センター小森) サイフォンだったらサイフォンブレイクする方法について考えること。調査にあたっては慎重を期す事。

(本店広報班) 本日は日曜日であるため、東電単独の会見である。11時、17時半に記者会見を実施している。本日未明の地震の影響について、2F-4の主排気ダクトからのエア漏れ、ホースからの水漏れについて説明している。水漏れについて地震の影響ではないかという質問を受け、当社からはフレキシブルホースであるので考えにくいと調査すると回答している。

(2F) 2F-1で水平90. 1ガル、鉛直70. 3ガルであり、3月11日以降では一番大きな地震であった。プラントパラメータに異常はなかったが、4号機の R/B、T/B の空気を運んでいる主排気ダクトにエア漏れが確認された。当該箇所は6月7日に確認され応急処置をした箇所である。そのパッチ箇所から漏れていた。本日補修を実施している。7月25日の震度5弱の地震では漏れていなかったため、本日の地震で開いたものと推定している。恒久処置を考える。

(福島地域支援室) 明日11:30~16:00、福島県と大熊町、双葉町の方々が状況確認調査をするとのことで、1F へ訪問するとのこと。現場は対応をお願いしたい。

～全体会議終了～

以上